

第2次あま市総合計画
後期基本計画策定等に関する
アンケート調査
結果報告書

令和8年3月

あ ま 市

目 次

I	アンケート調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	1
II	アンケート調査結果（一般）	2
1	あなたご自身のことについて	2
2	現在のあま市について	12
3	市の現状評価と今後の重視する取組について	17
4	土地利用について	25
5	都市の基盤整備について	36
6	あま市への愛着度・定住意向について	62
7	幸福感に関する意識について	74
8	防災について	79
9	生活環境について	81
10	健康、保健、医療、福祉について	83
11	生涯学習、教育環境について	87
12	産業振興について	95
13	市政（まちづくり）、行財政について	99
14	地域活動の参加希望について	104
15	「デジタル化」の取組について	116
16	自由意見	119
III	アンケート調査結果（中高生）	123
1	あなたご自身のことについて	123
2	あま市の住みごこちについて	127
3	あま市への愛着・魅力について	135
4	あま市のまちづくりに望むことについて	145
5	地域活動について	148
6	自由意見	154

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度を始年度とする「第2次あま市総合計画後期基本計画」の策定等にあたり、市民の意識を再確認し、計画策定の基礎資料と今後のまちづくりの参考とするためアンケート調査を実施しました。

2 調査概要

項目	一般調査	中学・高校生調査
調査対象者	市内在住の18歳以上の方 (無作為抽出)	市内にある中学校、高等学校に通う生徒
調査期間	令和8年1月22日(木) ～2月6日(金)	令和8年1月22日(木) ～2月9日(月)
調査方法	郵送配布・郵送回収または WEB回答による本人記入方式	WEB回答による本人記入方式
配布数	3,000件	—
有効回収数	1,176件	1,737件
有効回収率	39.2%	—

3 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対する割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇令和2年度の比較表を掲載していますが、令和2年度は令和2年10月に実施した調査結果となります。

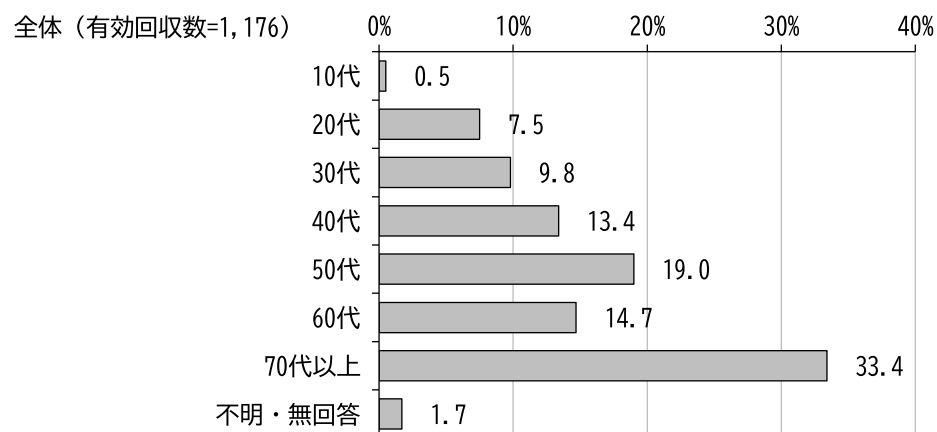
Ⅱ アンケート調査結果（一般）

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの年齢は、次のうちどれですか。（令和8年1月1日時点）（○は1つだけ）

年齢についてみると、「70代以上」が33.4%と最も高く、次いで「50代」が19.0%、「60代」が14.7%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「70代以上」が最も高くなっています。



■ 地区別クロス

単位: %	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	1.0	5.5	5.8	11.7	17.5	13.9	43.4	1.3
美和地区（有効回収数=337）	0.3	6.2	11.6	14.2	14.2	14.5	37.1	1.8
甚目寺地区（有効回収数=523）	0.2	9.6	10.9	14.0	23.1	15.5	25.6	1.1

■ 年代別有効回収数

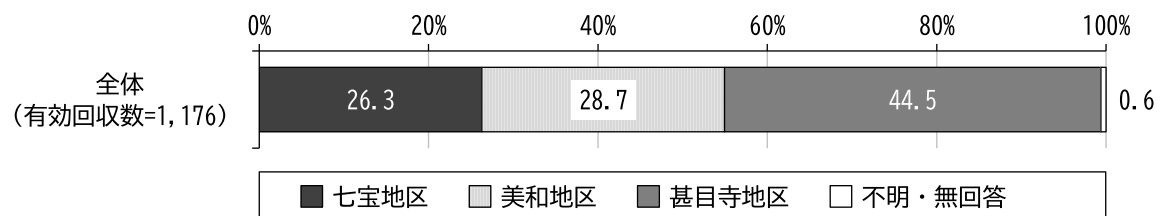
年代	令和 7 年度		令和 2 年度	
	件数	%	件数	%
10 代	6	0.5%	21	1.8%
20 代	88	7.5%	67	5.7%
30 代	115	9.8%	126	10.7%
40 代	157	13.4%	236	20.1%
50 代	224	19.0%	164	13.9%
60 代	173	14.7%	162	13.8%
70 代以上	393	33.4%	390	33.2%
不明・無回答	20	1.7%	10	0.9%
合計	1,176	100.0%	1,176	100.0%
無効票	1			
	発送数	有効回収率	発送数	有効回収率
	3,000	39.2%	3,000	39.2%

問2 あなたはどの地区にお住まいですか。(○は1つだけ)

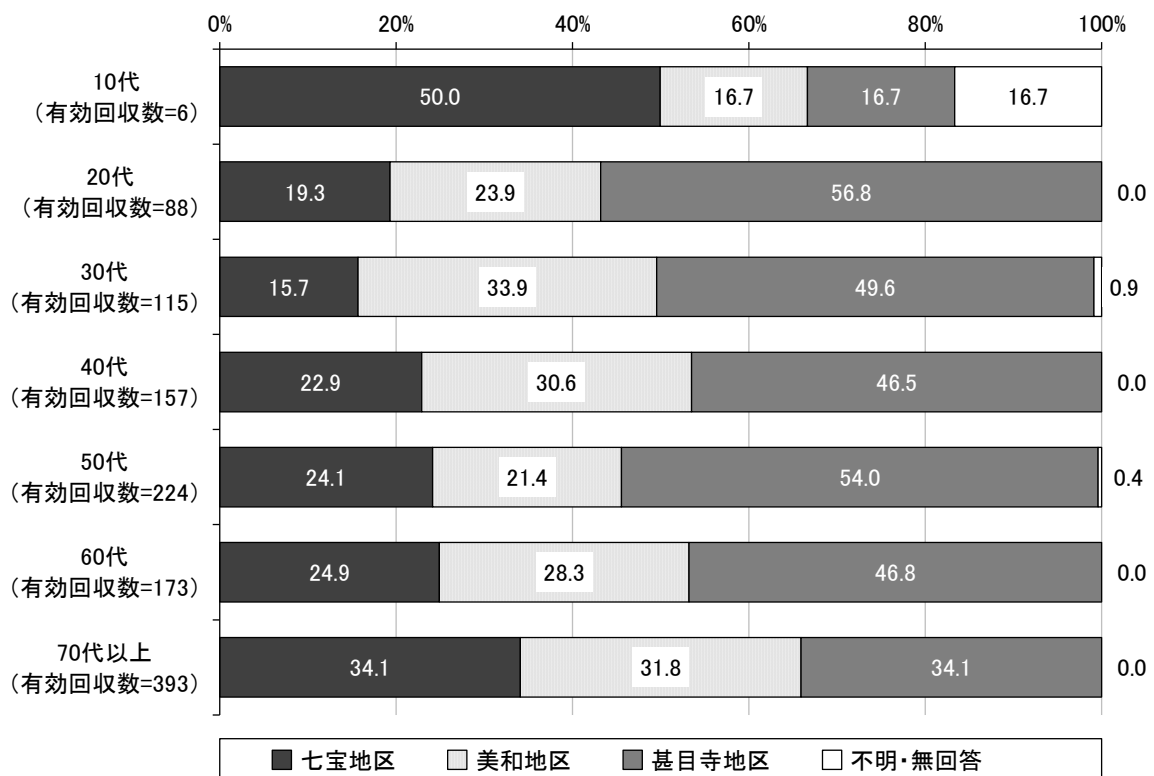
居住地区についてみると、「甚目寺地区」が44.5%と最も高く、次いで「美和地区」が28.7%、「七宝地区」が26.3%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「七宝地区」、〔70代以上〕で「七宝地区」「甚目寺地区」、その他の年代で「甚目寺地区」が最も高くなっています。

42地区別にみると、「甚目寺」が12.0%と最も高く、次いで「篠田」が8.0%、「新居屋」が7.7%となっています。

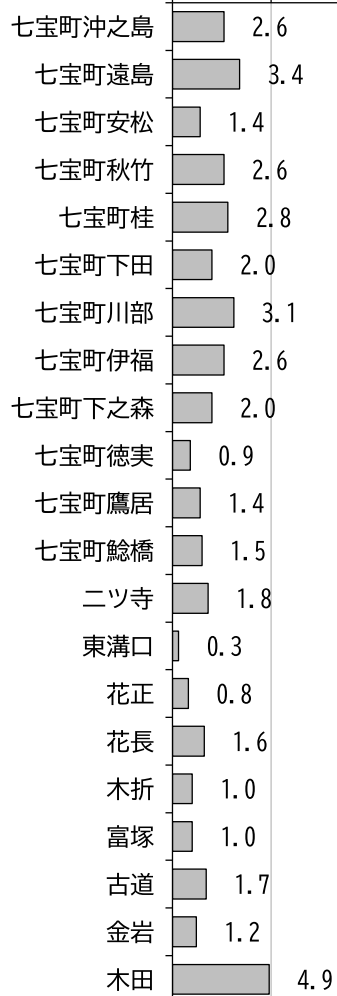


■ 年代別クロス

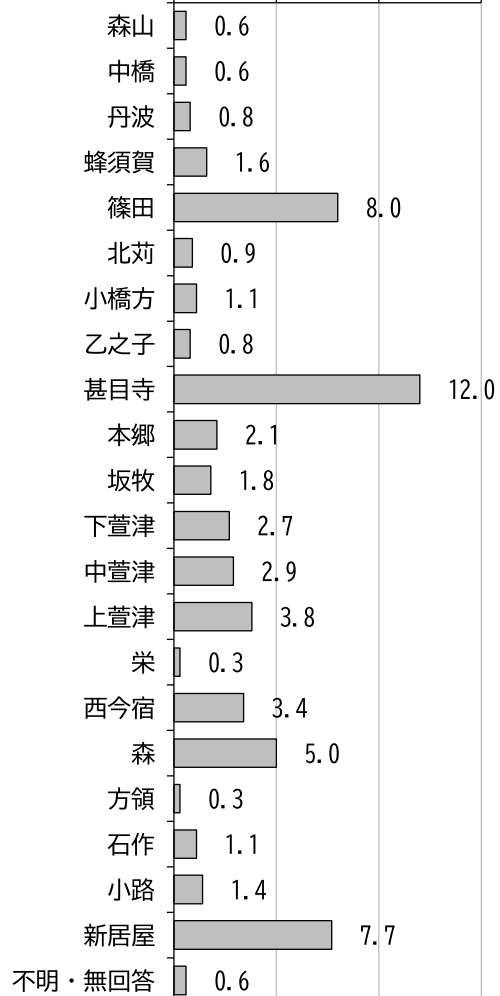


■ 42 地区

全体（有効回収数=1,176） 0% 5% 10% 15%



0% 5% 10% 15%

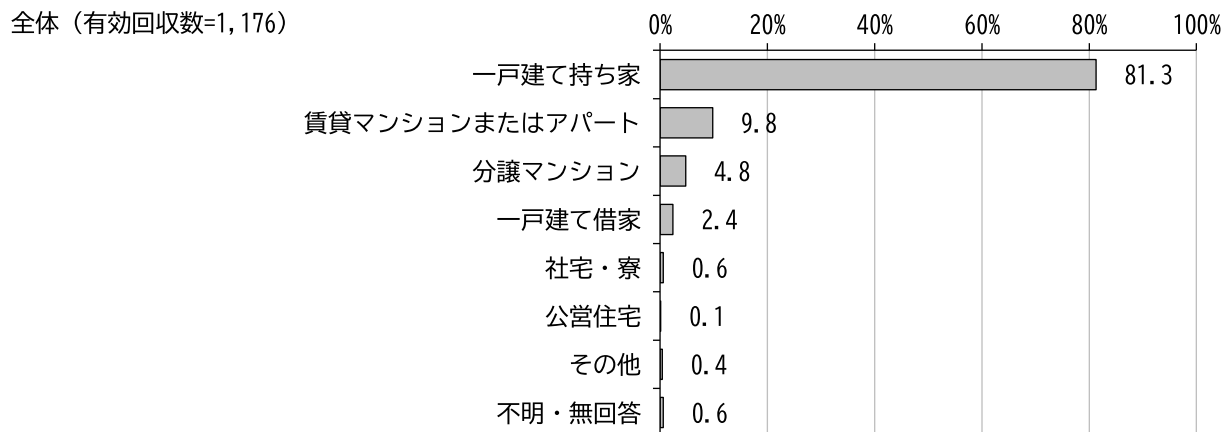


問3 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つだけ)

住まいの形態についてみると、「一戸建て持ち家」が81.3%と最も高く、次いで「賃貸マンションまたはアパート」が9.8%、「分譲マンション」が4.8%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「一戸建て持ち家」が最も高くなっています。「賃貸マンションまたはアパート」は、〔20代〕〔30代〕が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「一戸建て持ち家」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位: %	一戸建て持ち家	一戸建て借家	社宅・寮	分譲マンション	賃貸マンションまたはアパート	公営住宅	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	60.2	4.5	0.0	8.0	26.1	0.0	1.1	0.0
30代(有効回収数=115)	73.0	2.6	1.7	1.7	20.9	0.0	0.0	0.0
40代(有効回収数=157)	82.2	5.1	0.0	2.5	10.2	0.0	0.0	0.0
50代(有効回収数=224)	83.0	2.2	0.4	5.8	8.5	0.0	0.0	0.0
60代(有効回収数=173)	81.5	1.2	0.6	10.4	5.8	0.0	0.0	0.6
70代以上(有効回収数=393)	88.0	1.5	0.3	3.1	5.6	0.3	0.8	0.5

■ 地区別クロス

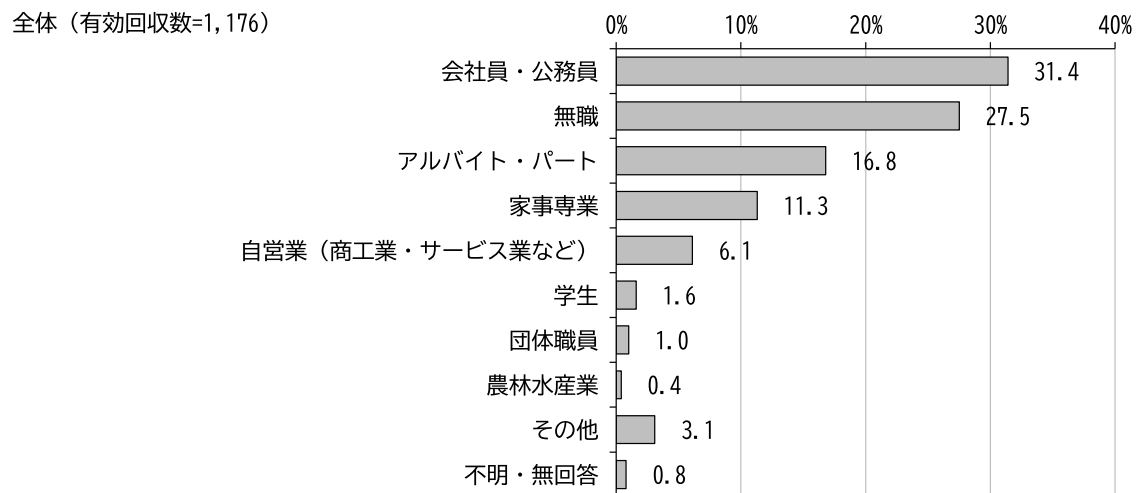
単位：％	一戸建て持ち家	一戸建て借家	社宅・寮	分譲マンション	賃貸マンションまたはアパート	公営住宅	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	87.7	1.6	0.3	3.6	6.5	0.0	0.3	0.0
美和地区(有効回収数=337)	87.8	2.7	0.6	2.4	6.5	0.0	0.0	0.0
甚目寺地区(有効回収数=523)	74.2	2.5	0.6	7.3	14.0	0.2	0.8	0.6

問4 あなたの職業はどれにあたりますか。(兼業の方は主な職業) (○は1つだけ)

職業についてみると、「会社員・公務員」が31.4%と最も高く、次いで「無職」が27.5%、「アルバイト・パート」が16.8%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「学生」、〔20代〕～〔50代〕で「会社員・公務員」、〔60代〕で「アルバイト・パート」、〔70代以上〕で「無職」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔美和地区〕で「無職」、〔甚目寺地区〕で「会社員・公務員」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：%	農林水産業	自営業（商工業・サービス業など）	会社員・公務員	団体職員	学生	アルバイト・パート	家事専業	無職	その他	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	0.0	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（有効回収数=88）	0.0	2.3	51.1	1.1	17.0	9.1	4.5	9.1	5.7	0.0
30代（有効回収数=115）	0.0	7.0	58.3	3.5	0.0	16.5	12.2	0.0	2.6	0.0
40代（有効回収数=157）	0.0	5.7	53.5	1.3	0.0	26.1	6.4	3.2	3.8	0.0
50代（有効回収数=224）	0.0	8.5	48.7	0.9	0.0	25.9	9.4	4.5	2.2	0.0
60代（有効回収数=173）	0.6	11.0	26.6	1.2	0.0	27.7	12.1	17.9	2.3	0.6
70代以上（有効回収数=393）	1.0	3.8	3.6	0.0	0.0	5.6	15.8	65.9	3.3	1.0

■ 地区別クロス

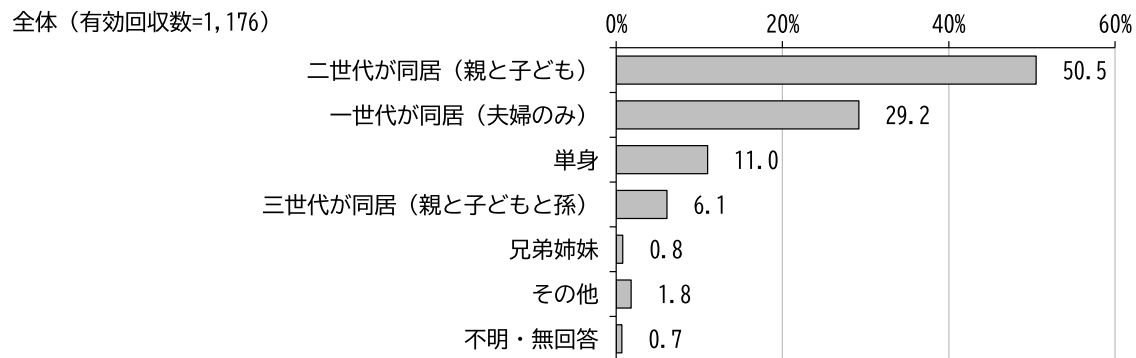
単位：%	農林水産業	自営業（商工業・サービス業など）	会社員・公務員	団体職員	学生	アルバイト・パート	家事専業	無職	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	0.6	7.4	26.5	1.0	2.3	15.5	8.7	34.3	3.2	0.3
美和地区（有効回収数=337）	0.6	7.1	27.6	1.5	0.9	16.0	11.0	31.8	3.6	0.0
甚目寺地区（有効回収数=523）	0.2	4.6	36.9	0.8	1.7	18.4	13.2	21.0	2.5	0.8

問5 家族構成を教えてください。(○は1つだけ)

家族構成についてみると、「二世代が同居（親と子ども）」が50.5%と最も高く、次いで「一世代が同居（夫婦のみ）」が29.2%、「単身」が11.0%となっています。

年代別にみると、〔10代〕～〔50代〕で「二世代が同居（親と子ども）」、〔60代〕以上で「一世代が同居（夫婦のみ）」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「二世代が同居（親と子ども）」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位: %	単身	一世代が同居 (夫婦のみ)	二世代が同居 (親と子ども)	三世代が同居 (親と子どもと孫)	兄弟姉妹	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0
20代(有効回収数=88)	10.2	11.4	71.6	5.7	0.0	1.1	0.0
30代(有効回収数=115)	6.1	13.0	71.3	6.1	0.9	2.6	0.0
40代(有効回収数=157)	4.5	13.4	72.6	7.6	0.6	1.3	0.0
50代(有効回収数=224)	9.4	15.6	66.5	6.7	0.4	1.3	0.0
60代(有効回収数=173)	8.1	48.0	36.4	3.5	1.2	2.9	0.0
70代以上(有効回収数=393)	17.0	44.8	29.0	6.1	0.8	1.5	0.8

■ 地区別クロス

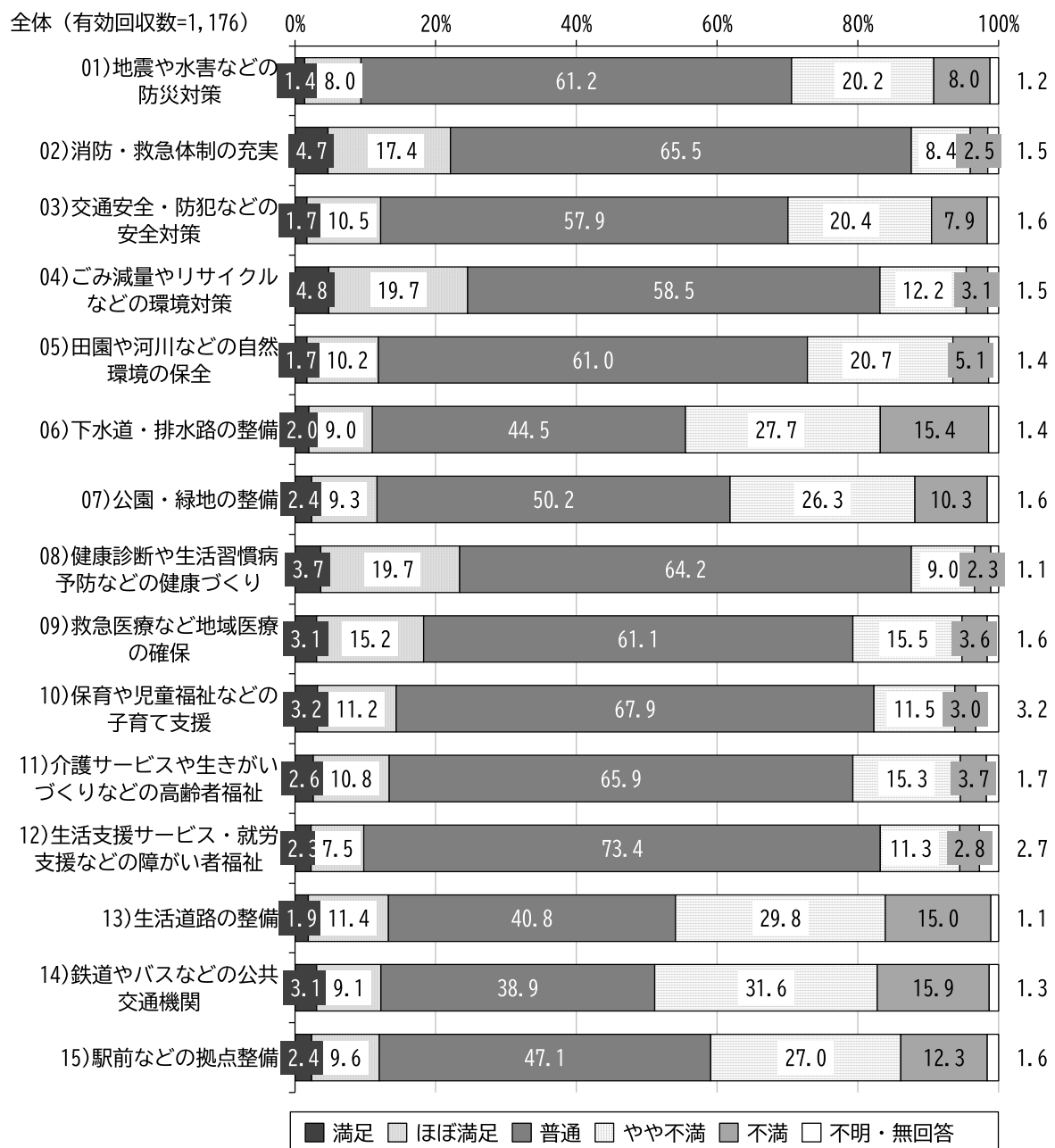
単位: %	単身	一世代が同居 (夫婦のみ)	二世代が同居 (親と子ども)	三世代が同居 (親と子どもと孫)	兄弟姉妹	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	14.9	27.8	46.9	7.4	1.3	1.6	0.0
美和地区(有効回収数=337)	8.0	30.9	52.2	6.2	0.6	1.5	0.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	10.3	29.3	52.0	5.4	0.6	2.1	0.4

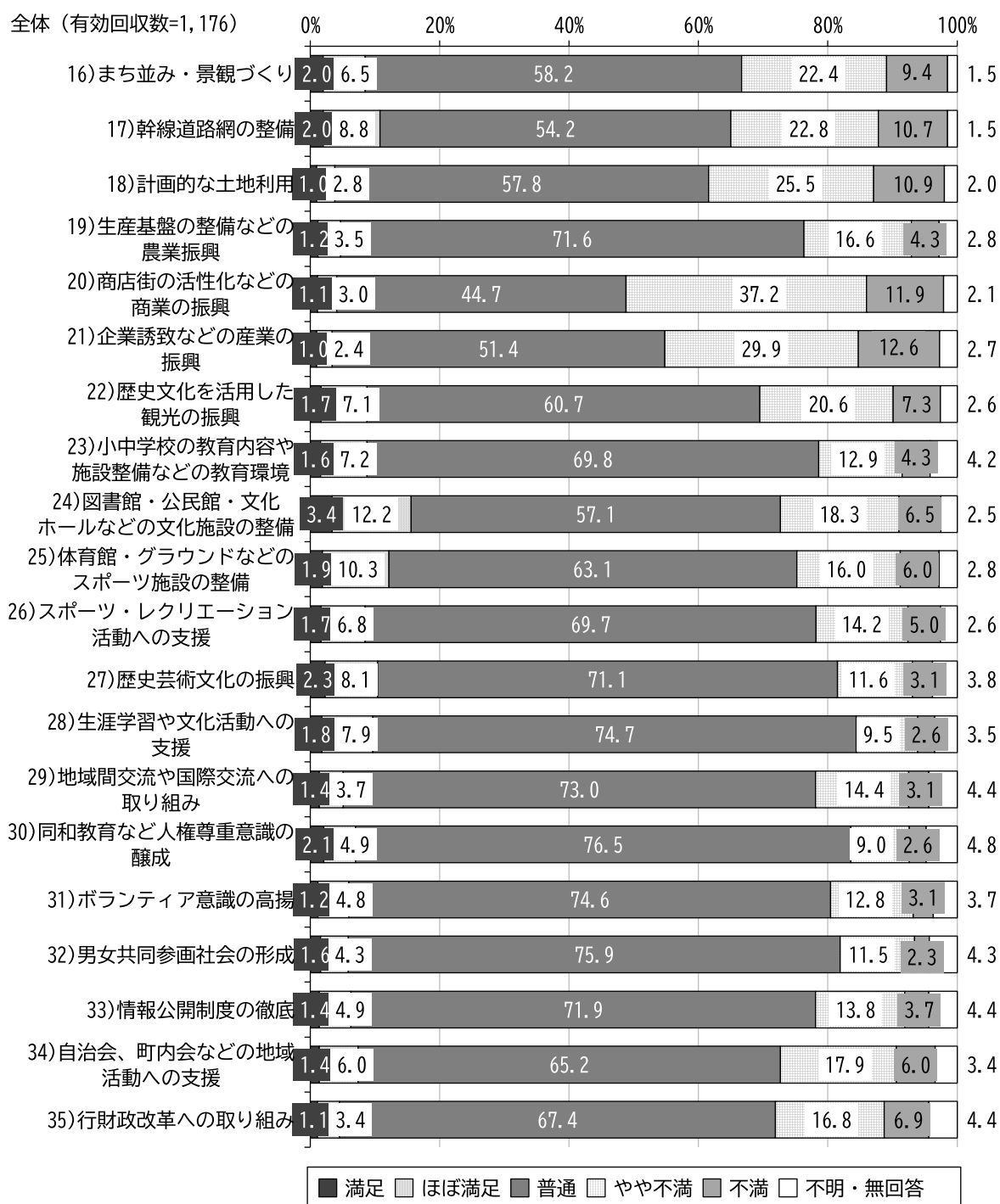
2 現在のあま市について

問6 現在のまちづくりについて、どの程度満足されていますか。(それぞれの項目について○は1つだけ)

まちづくりの満足度についてみると、“満足している”（「満足」＋「ほぼ満足」）は、「04）ごみ減量やリサイクルなどの環境対策」で24.5%と最も高く、次いで「08）健康診断や生活習慣病予防などの健康づくり」が23.4%、「02）消防・救急体制の充実」が22.1%となっています。

一方、“不満である”（「不満」＋「やや不満」）は、「20）商店街の活性化などの商業の振興」で49.1%と最も高く、次いで「14）鉄道やバスなどの公共交通機関」が47.5%、「13）生活道路の整備」が44.8%となっています。





■ 令和2年度調査との比較

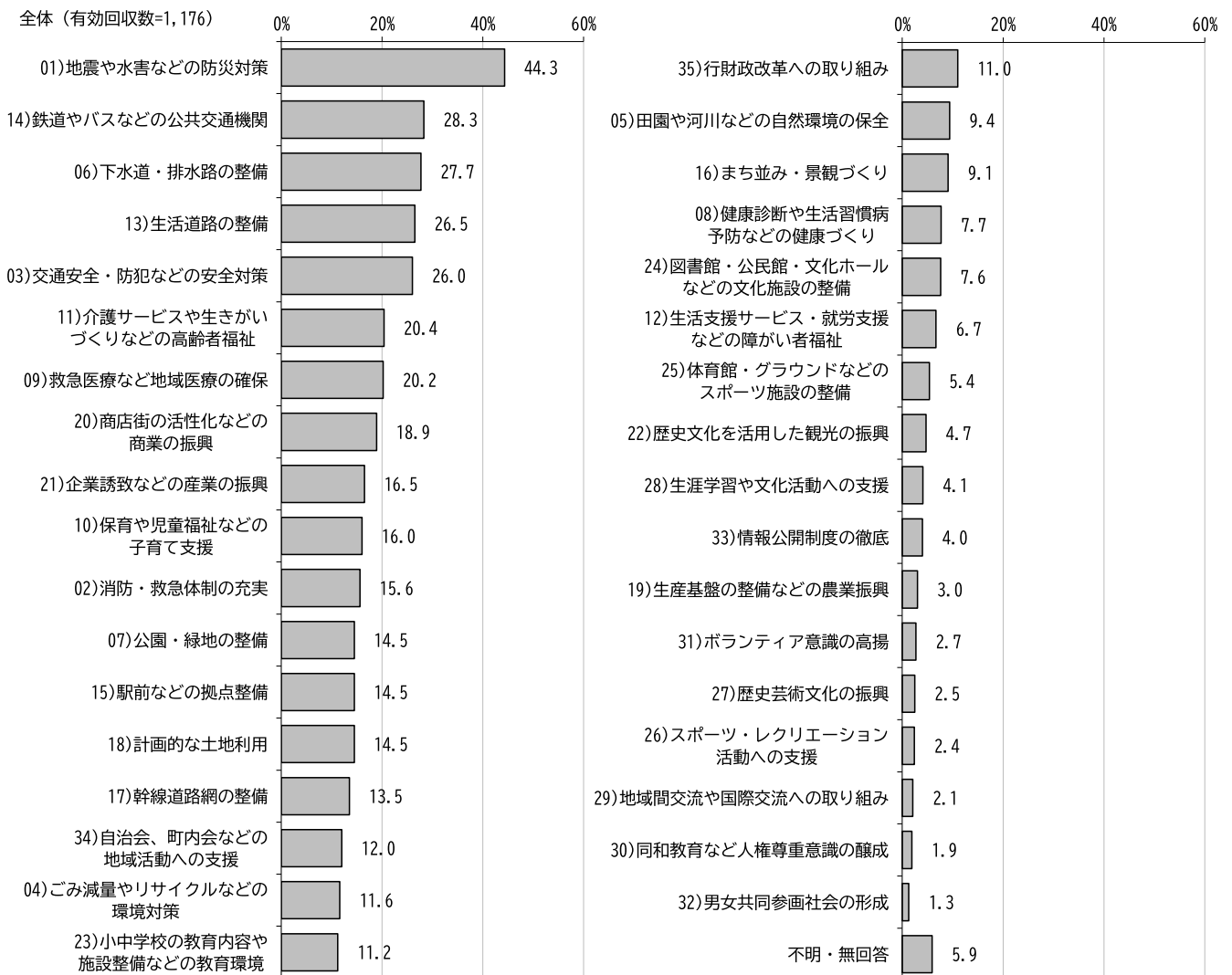
35 項目中 8 項目は令和 2 年度と比べて満足度の平均値が高く、5 項目については変化なしとなっています。また、22 項目は満足度の平均値が低くなっています。

	R7年度	R2 年度	R7ーR2		R7年度	R2 年度	R7ーR2
06)下水道・排水路	2.54	2.45	0.09	03)交通安全・防犯	2.77	2.79	▲ 0.02
01)防災対策	2.74	2.66	0.08	21)産業の振興	2.48	2.50	▲ 0.02
09)地域医療	2.99	2.92	0.07	31)ボランティア	2.88	2.90	▲ 0.02
07)公園・緑地	2.67	2.63	0.04	15)駅前整備	2.62	2.65	▲ 0.03
02)消防・救急体制	3.14	3.11	0.03	19)農業の振興	2.80	2.83	▲ 0.03
05)自然環境	2.83	2.80	0.03	17)幹線道路網	2.68	2.71	▲ 0.03
29)国際交流	2.85	2.84	0.01	18)土地利用	2.57	2.60	▲ 0.03
30)人権尊重	2.95	2.94	0.01	25)スポーツ施設	2.86	2.90	▲ 0.04
32)男女共同参画	2.91	2.91	0.00	22)観光の振興	2.75	2.79	▲ 0.04
20)商業の振興	2.43	2.43	0.00	34)地域活動	2.78	2.83	▲ 0.05
35)行財政改革	2.74	2.74	0.00	11)高齢者福祉	2.93	2.98	▲ 0.05
27)歴史芸術文化	2.95	2.95	0.00	13)生活道路	2.55	2.60	▲ 0.05
28)生涯学習	2.97	2.97	0.00	08)健康づくり	3.14	3.19	▲ 0.05
14)公共交通機関	2.51	2.52	▲ 0.01	23)教育環境	2.89	2.94	▲ 0.05
04)環境対策	3.11	3.12	▲ 0.01	24)文化施設	2.87	2.93	▲ 0.06
12)障がい者福祉	2.95	2.96	▲ 0.01	26)レクリエーション	2.86	2.92	▲ 0.06
33)情報公開	2.86	2.87	▲ 0.01	10)子育て支援	3.00	3.07	▲ 0.07
16)まち並み・景観	2.69	2.70	▲ 0.01				

※1人1項目あたりの満足度のポイント全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標としています。算出された平均ポイントは、5に近いほど満足であることを表し、1に近いほど不満であることを表しています。

問7 今後のまちづくりに関してあなたが重要だと考える項目はどれですか。

今後のまちづくりに関して重要だと考える項目についてみると、「01)地震や水害などの防災対策」が44.3%と最も高く、次いで「14)鉄道やバスなどの公共交通機関」が28.3%、「06)下水道・排水路の整備」が27.7%、「13)生活道路の整備」が26.5%、「03)交通安全・防犯などの安全対策」が26.0%となっています。



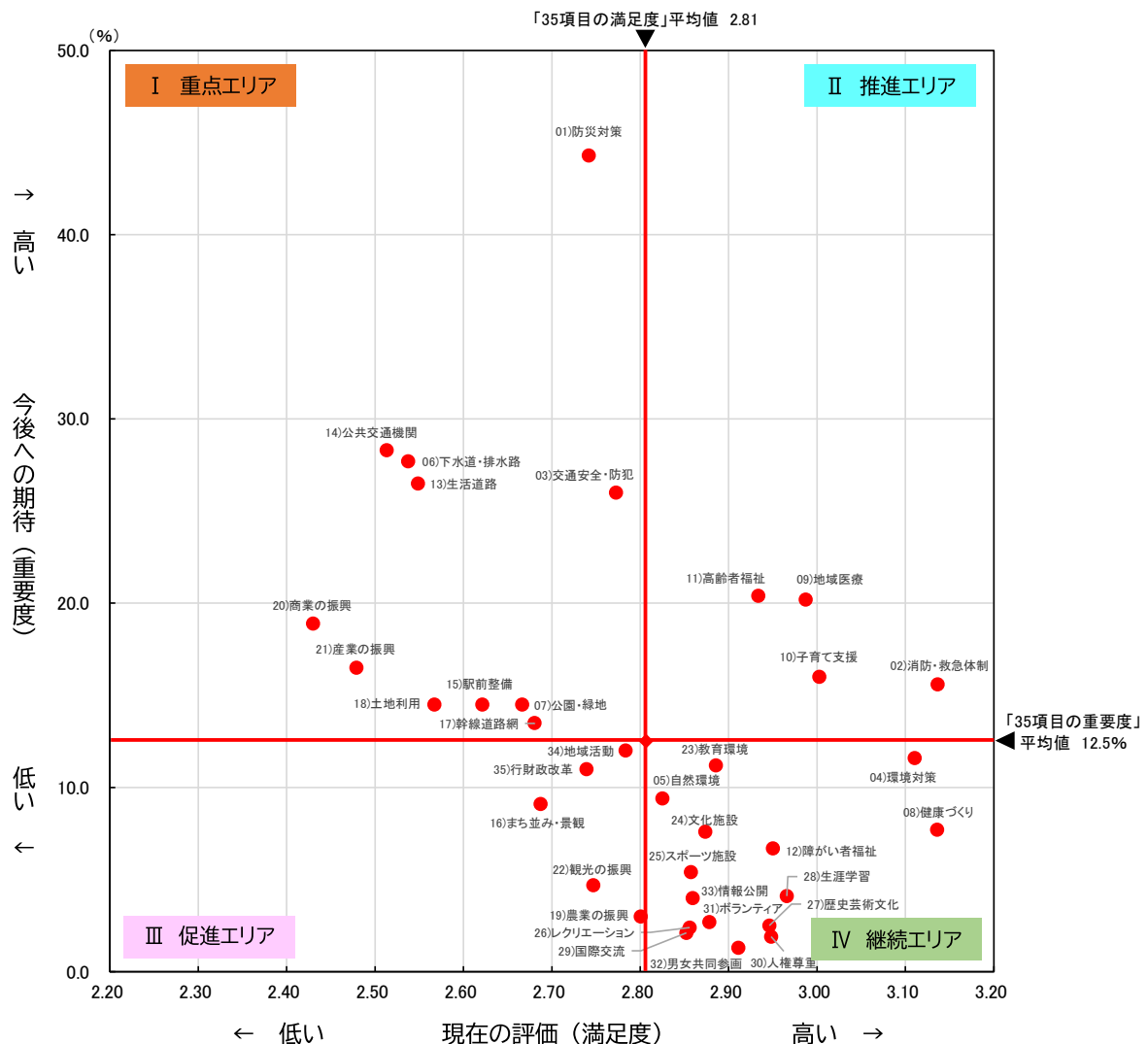
■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比べて大きな差がみられる項目は、「13)生活道路」が26.5%と3.6ポイント増加しています。次いで「15)駅前整備」が2.9ポイント増加、「04)環境対策」が2.4ポイント増加、「18)土地利用」が1.7ポイント増加、「17)幹線道路網」が1.5ポイント増加となるなど、都市基盤や環境対策に関する項目の重要度が上昇しています。

	R7年度	R2 年度	R7－R2		R7年度	R2 年度	R7－R2
13)生活道路	26.5	22.9	3.6	09)地域医療	20.2	20.3	▲ 0.1
15)駅前整備	14.5	11.6	2.9	02)消防・救急体制	15.6	15.8	▲ 0.2
04)環境対策	11.6	9.2	2.4	29)国際交流	2.1	2.5	▲ 0.4
18)土地利用	14.5	12.8	1.7	05)自然環境	9.4	10.0	▲ 0.6
17)幹線道路網	13.5	12.0	1.5	21)産業の振興	16.5	17.3	▲ 0.8
14)公共交通機関	28.3	27.0	1.3	12)障がい者福祉	6.7	7.7	▲ 1.0
22)観光の振興	4.7	3.7	1.0	25)スポーツ施設	5.4	6.5	▲ 1.1
08)健康づくり	7.7	6.9	0.8	11)高齢者福祉	20.4	21.6	▲ 1.2
10)子育て支援	16.0	15.3	0.7	31)ボランティア	2.7	4.0	▲ 1.3
30)人権尊重	1.9	1.4	0.5	35)行財政改革	11.0	12.3	▲ 1.3
20)商業の振興	18.9	18.5	0.4	23)教育環境	11.2	12.7	▲ 1.5
16)まち並み・景観	9.1	8.8	0.3	26)レクリエーション	2.4	4.3	▲ 1.9
03)交通安全・防犯	26.0	25.8	0.2	07)公園・緑地	14.5	16.9	▲ 2.4
34)地域活動	12.0	11.8	0.2	24)文化施設	7.6	10.0	▲ 2.4
32)男女共同参画	1.3	1.4	▲ 0.1	33)情報公開	4.0	6.5	▲ 2.5
19)農業の振興	3.0	3.1	▲ 0.1	01)防災対策	44.3	46.9	▲ 2.6
27)歴史芸術文化	2.5	2.6	▲ 0.1	06)下水道・排水路	27.7	32.5	▲ 4.8
28)生涯学習	4.1	4.2	▲ 0.1				

3 市の現状評価と今後の重視する取組について

現在（令和8年1月の住民意向調査実施時）のまちづくりにおいて、重要度が高いにも関わらず、満足度が低い今後特に取り組むべき施策項目として、「01)防災対策」「03)交通安全・防犯」といった安全・安心に関する項目や、「06)下水道・排水路」「07)公園・緑地」「13)生活道路」「14)公共交通機関」「15)駅前整備」「17)幹線道路網」「18)土地利用」といった生活環境・基盤に関する項目、「20)商業の振興」「21)産業の振興」といったまちの活力に関わる項目があげられています。



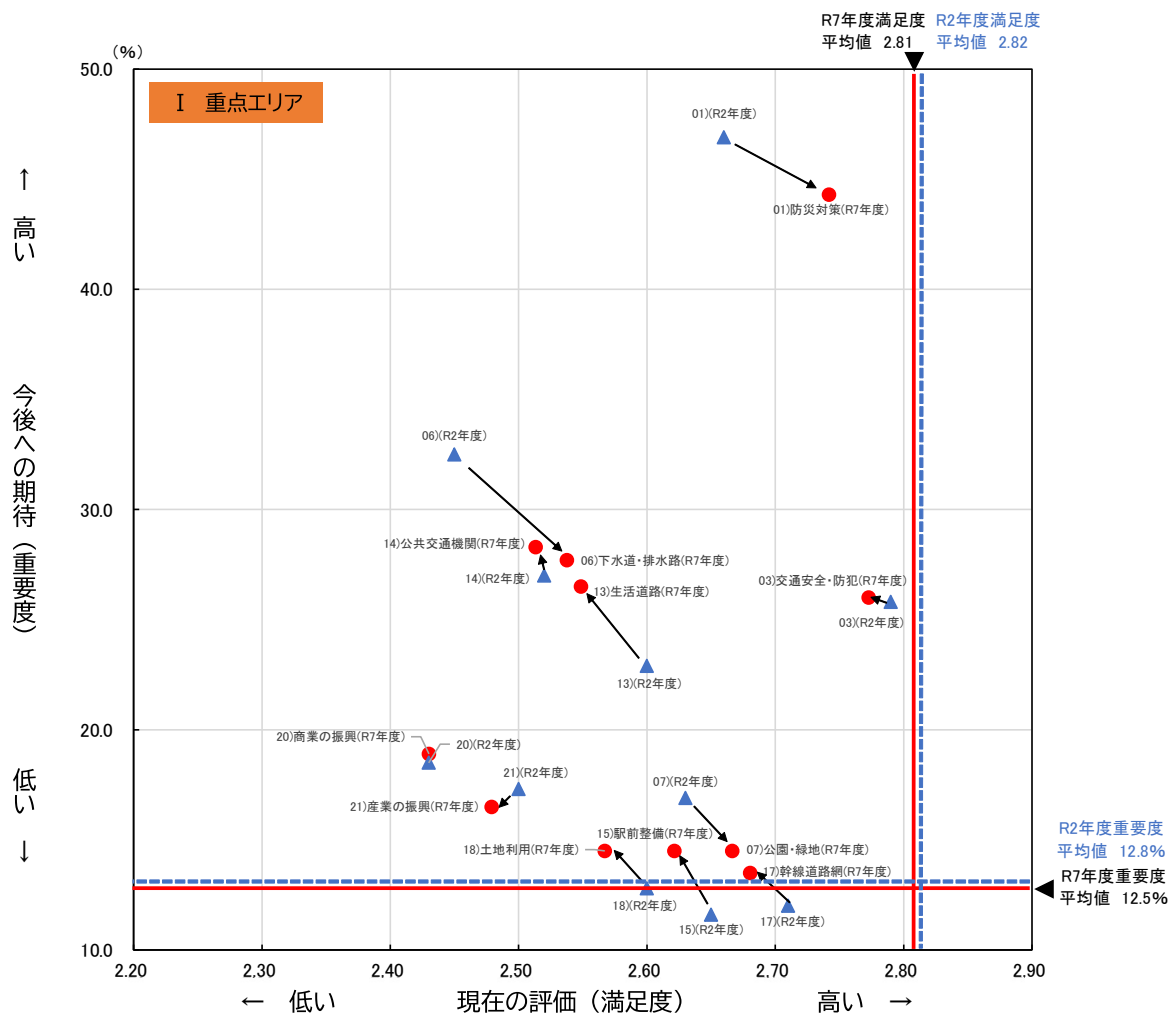
※満足度については、1人1項目あたりの満足度のポイント全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標とします。算出された平均ポイントは、5に近いほど満足であることを表し、1に近いほど不満であることを表しています。重要度については、問7で回答された項目の構成比を指標とします。

満足度ポイント＝「満足」の回答者×（5点）＋「ほぼ満足」の回答者×（4点）＋「普通」の回答者×（3点）＋「やや不満」の回答者×（2点）＋「不満」の回答者×（1点）÷総回答者数

エリア	内 容
I 重点エリア	重要度は高いが、満足度は低い ⇒特に取り組むべき施策の分野
II 推進エリア	重要度が高く、満足度も高い ⇒引き続き推進して取り組む施策の分野
III 促進エリア	重要度が低く、満足度も低い ⇒施策についての理解を促進していく分野
IV 継続エリア	重要度は低く、満足度が高い ⇒現在の施策を継続して取り組む分野

(1) 重点エリアにおける経年比較分析

重点エリアの項目については、重要度が高く、満足度が低いことから、特に重点的に取り組むことが必要です。重点エリアの項目のうち、「01)防災対策」「06)下水道・排水路」「07)公園・緑地」については、令和2年度調査に比べ満足度が高まる一方で、重要度は若干減少しています。また、「03)交通安全・防犯」「13)生活道路」「15)駅前整備」「17)幹線道路網」「18)土地利用」については、満足度が減少し、重要度がさらに高まっています。中でも「15)駅前整備」「17)幹線道路網」「18)土地利用」については、前回調査は「促進エリア」に位置していたものの、「重点エリア」に移行してきています。その他の項目についても重要度が平均値よりも高く、満足度が平均値よりも低い重点エリアにある項目であることから改善の必要性が高い項目と考えられます。

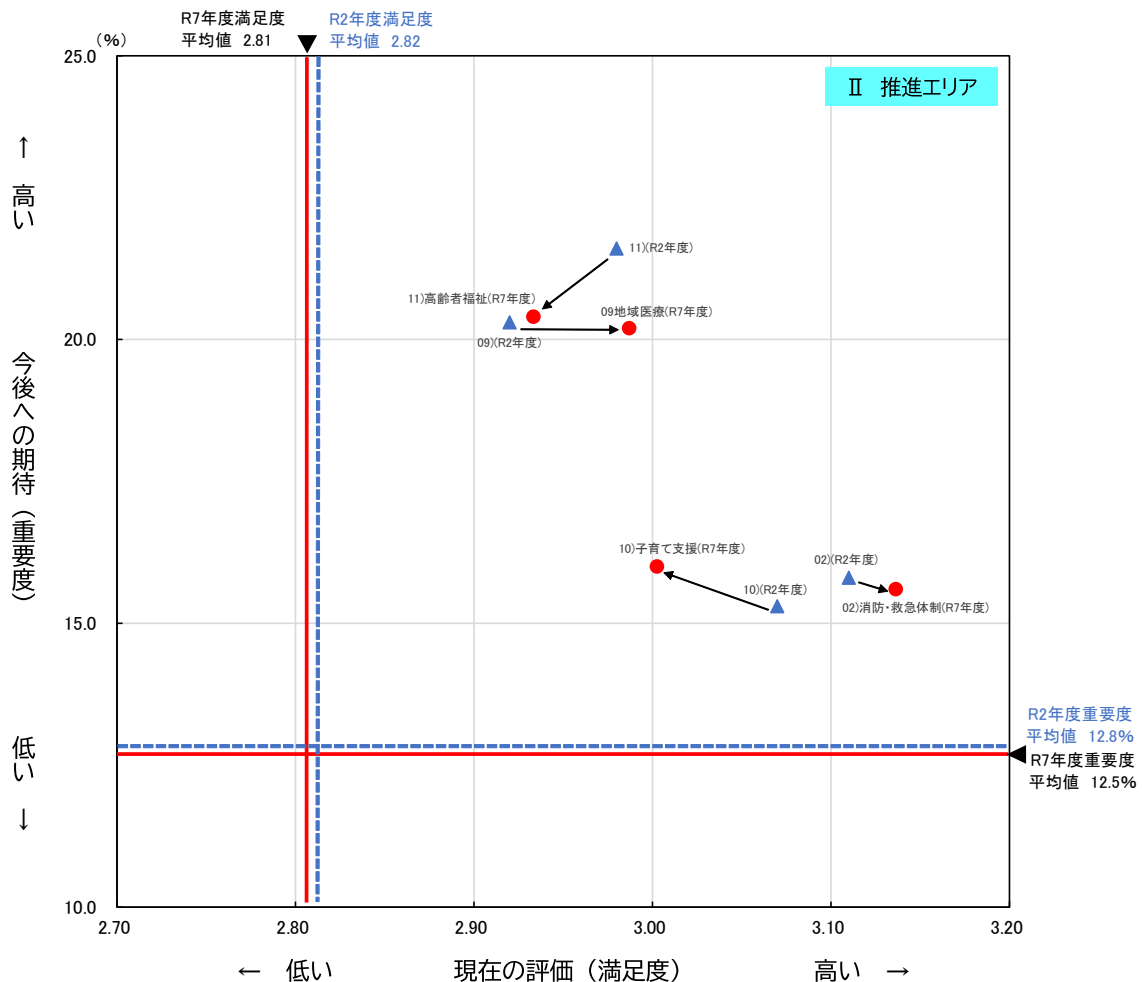


【重点エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	R7		R2	R7	
01)地震や水害などの防災対策	2.66	2.74	0.08	46.9	44.3	-2.6
03)交通安全・防犯などの安全対策	2.79	2.77	-0.02	25.8	26.0	0.2
06)下水道・排水路の整備	2.45	2.54	0.09	32.5	27.7	-4.8
07)公園・緑地の整備	2.63	2.67	0.04	16.9	14.5	-2.4
13)生活道路の整備	2.60	2.55	-0.05	22.9	26.5	3.6
14)鉄道やバスなどの公共交通機関	2.52	2.51	-0.01	27.0	28.3	1.3
15)駅前などの拠点整備	2.65	2.62	-0.03	11.6	14.5	2.9
17)幹線道路網の整備	2.71	2.68	-0.03	12.0	13.5	1.5
18)計画的な土地利用	2.60	2.57	-0.03	12.8	14.5	1.7
20)商店街の活性化などの商業の振興	2.43	2.43	0.00	18.5	18.9	0.4
21)企業誘致などの産業の振興	2.50	2.48	-0.02	17.3	16.5	-0.8

(2) 推進エリアにおける経年比較分析

推進エリアの項目については、重要度・満足度ともに高いことから、市の施策の強みとして引き続き推進して取り組む必要があります。「10)子育て支援」については前回調査時に比べて満足度が減少し、重要度が増加したことから、優先的に取り組むべき施策と考えられます。「02) 消防・救急体制」「09)地域医療」については満足度が上昇し、重要度はほぼ一定であることから、引き続き市民ニーズに応えながら取組を推進していく必要があります。「11)高齢者福祉」は満足度・重要度ともに減少していますが、重要度は当エリア内で最も高く、引き続き推進が必要です。

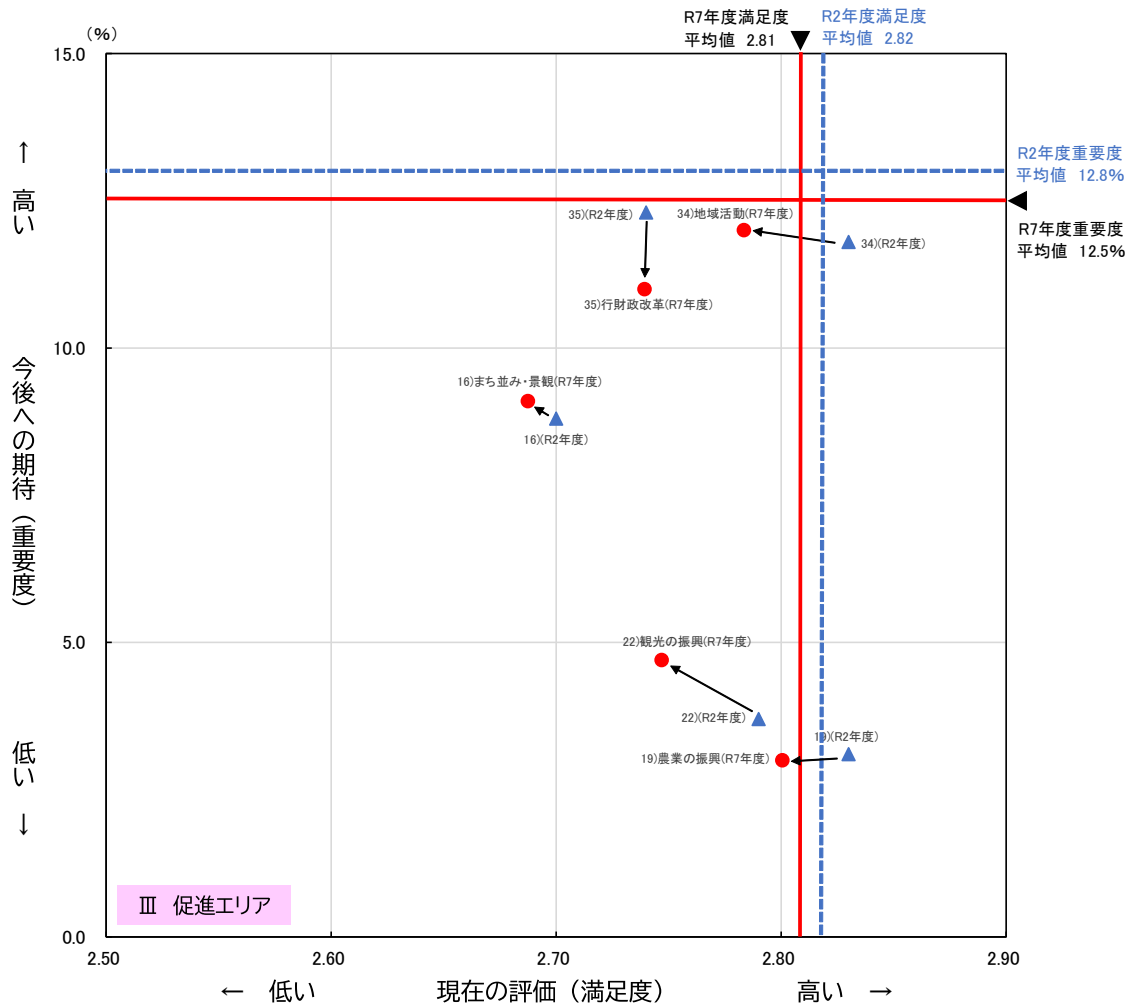


【推進エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	R7		R2	R7	
02)消防・救急体制の充実	3.11	3.14	0.03	15.8	15.6	-0.2
09)救急医療など地域医療の確保	2.92	2.99	0.07	20.3	20.2	-0.1
10)保育や児童福祉などの子育て支援	3.07	3.00	-0.07	15.3	16.0	0.7
11)介護サービスや生きがいづくりなどの高齢者福祉	2.98	2.93	-0.05	21.6	20.4	-1.2

(3) 促進エリアにおける経年比較分析

促進エリアの項目については、重要度が低く、満足度も低いことから、施策の重要性について市民の理解を促進していくことが必要です。「16)まち並み・景観」「22)観光の振興」「34)地域活動」については、前回調査から満足度が減少し、重要度が増加しています。「19)農業の振興」「35)行財政改革」については、前回調査から重要度の減少がみられます。

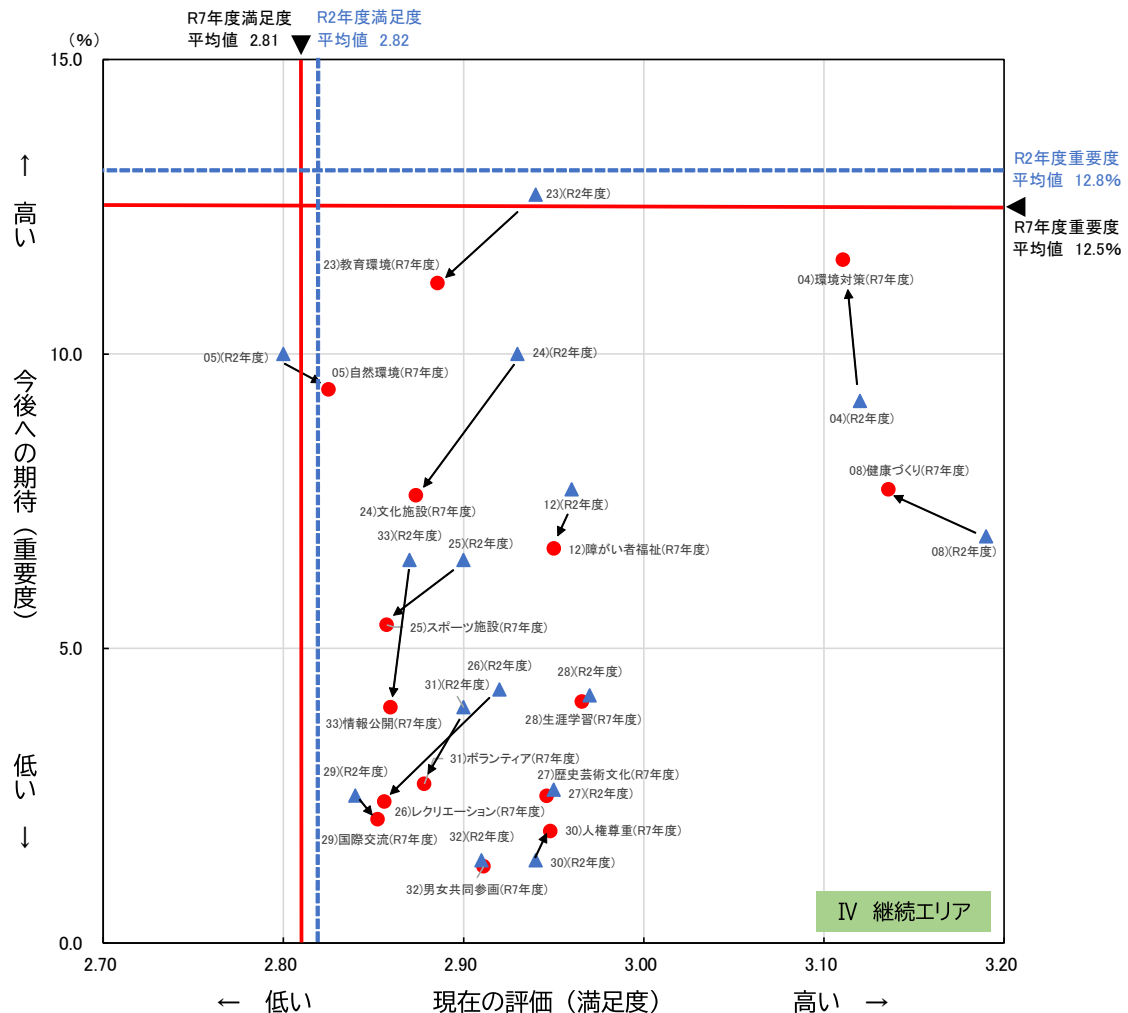


【促進エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	R7		R2	R7	
16)まち並み・景観づくり	2.70	2.69	-0.01	8.8	9.1	0.3
19)生産基盤の整備などの農業振興	2.83	2.80	-0.03	3.1	3.0	-0.1
22)歴史文化を活用した観光の振興	2.79	2.75	-0.04	3.7	4.7	1.0
34)自治会、町内会などの地域活動への支援	2.83	2.78	-0.05	11.8	12.0	0.2
35)行財政改革への取り組み	2.74	2.74	0.00	12.3	11.0	-1.3

(4) 継続エリアにおける経年比較分析

継続エリアの項目については、重要度が低いものの、満足度は高いことから、現在の施策を継続して取り組む必要があります。継続エリアに位置する 15 項目のうち、満足度は9項目が減少し、重要度は12項目が減少しており、市民満足度や施策に対する市民の理解・協力を維持していけるよう、取組を充実させていく必要があります。「04)環境対策」「08)健康づくり」については、他の項目に比べ高い満足度を維持しながら、重要度が上昇しており市民の関心が高まってきていることが伺えます。



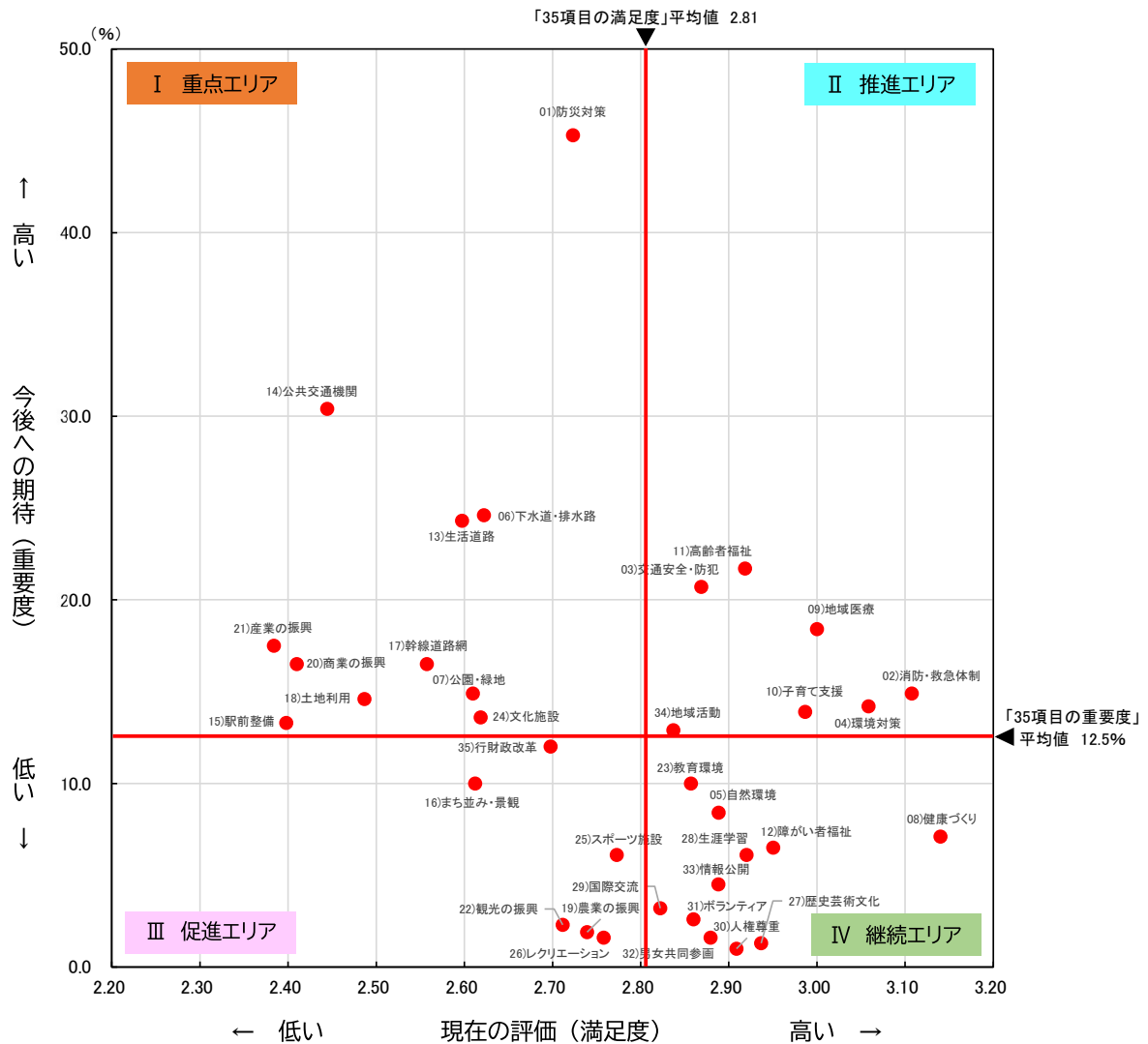
【継続エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	R7		R2	R7	
04)ごみ減量やリサイクルなどの環境対策	3.12	3.11	-0.01	9.2	11.6	2.4
05)田園や河川などの自然環境の保全	2.80	2.83	0.03	10.0	9.4	-0.6
08)健康診断や生活習慣病予防などの健康づくり	3.19	3.14	-0.05	6.9	7.7	0.8
12)生活支援サービス・就労支援などの障がい者福祉	2.96	2.95	-0.01	7.7	6.7	-1.0
23)小中学校の教育内容や施設整備などの教育環境	2.94	2.89	-0.05	12.7	11.2	-1.5
24)図書館・公民館・文化ホールなどの文化施設の整備	2.93	2.87	-0.06	10.0	7.6	-2.4
25)体育館・グラウンドなどのスポーツ施設の整備	2.90	2.86	-0.04	6.5	5.4	-1.1
26)スポーツ・レクリエーション活動への支援	2.92	2.86	-0.06	4.3	2.4	-1.9
27)歴史芸術文化の振興	2.95	2.95	0.00	2.6	2.5	-0.1
28)生涯学習や文化活動への支援	2.97	2.97	0.00	4.2	4.1	-0.1
29)地域間交流や国際交流への取り組み	2.84	2.85	0.01	2.5	2.1	-0.4
30)同和教育など人権尊重意識の醸成	2.94	2.95	0.01	1.4	1.9	0.5
31)ボランティア意識の高揚	2.90	2.88	-0.02	4.0	2.7	-1.3
32)男女共同参画社会の形成	2.91	2.91	0.00	1.4	1.3	-0.1
33)情報公開制度の徹底	2.87	2.86	-0.01	6.5	4.0	-2.5

(5) 満足度・重要度の分布図（地区別）

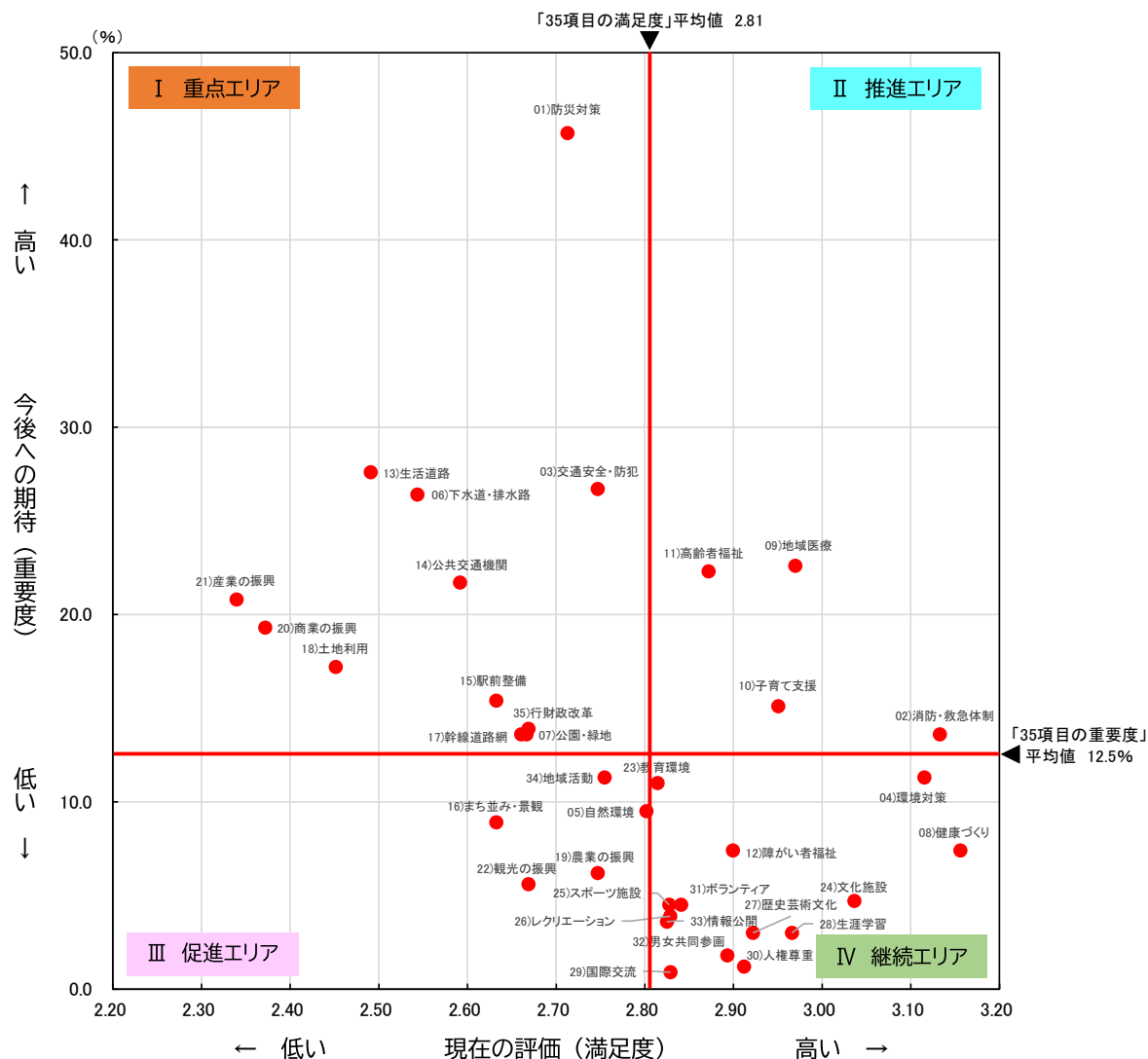
【七宝地区】

満足度・重要度の分布図を地区別でみると、七宝地区では、重点エリアに該当する項目として、「01) 防災対策」「06) 下水道・排水路」「07) 公園・緑地」「13) 生活道路」「14) 公共交通機関」「15) 駅前整備」「17) 幹線道路網」「18) 土地利用」「20) 商業の振興」「21) 産業の振興」「24) 文化施設」が該当しています。



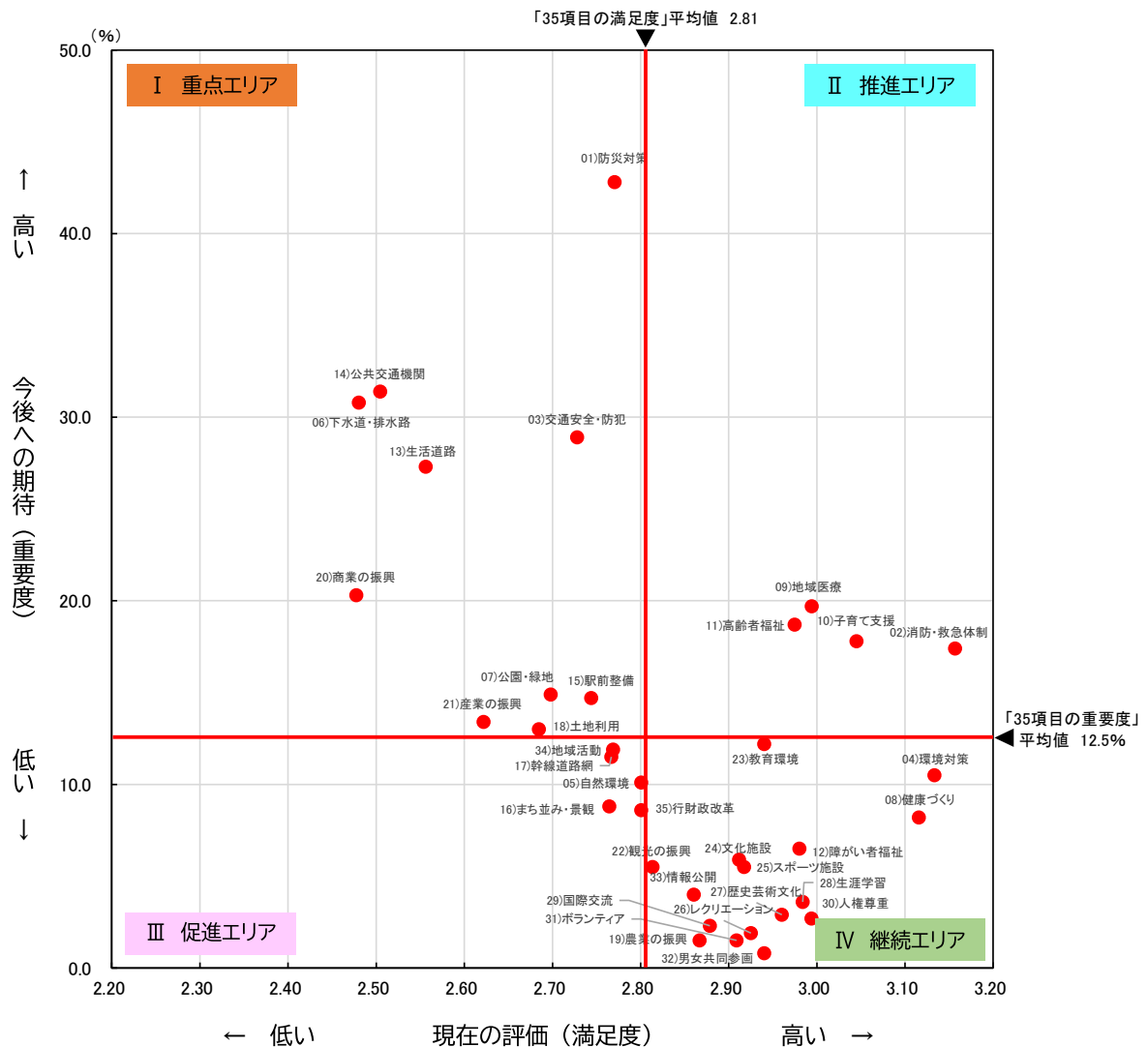
【美和地区】

満足度・重要度の分布図を地区別でみると、美和地区では、重点エリアに該当する項目として、「01) 防災対策」「03) 交通安全・防犯」「06) 下水道・排水路」「07) 公園・緑地」「13) 生活道路」「14) 公共交通機関」「15) 駅前整備」「17) 幹線道路網」「18) 土地利用」「20) 商業の振興」「21) 産業の振興」「35) 行財政改革」が該当しています。



【甚目寺地区】

満足度・重要度の分布図を地区別で見ると、甚目寺地区では、重点エリアに該当する項目として、「01) 防災対策」「03) 交通安全・防犯」「06) 下水道・排水路」「07) 公園・緑地」「13) 生活道路」「14) 公共交通機関」「15) 駅前整備」「18) 土地利用」「20) 商業の振興」「21) 産業の振興」が該当しています。



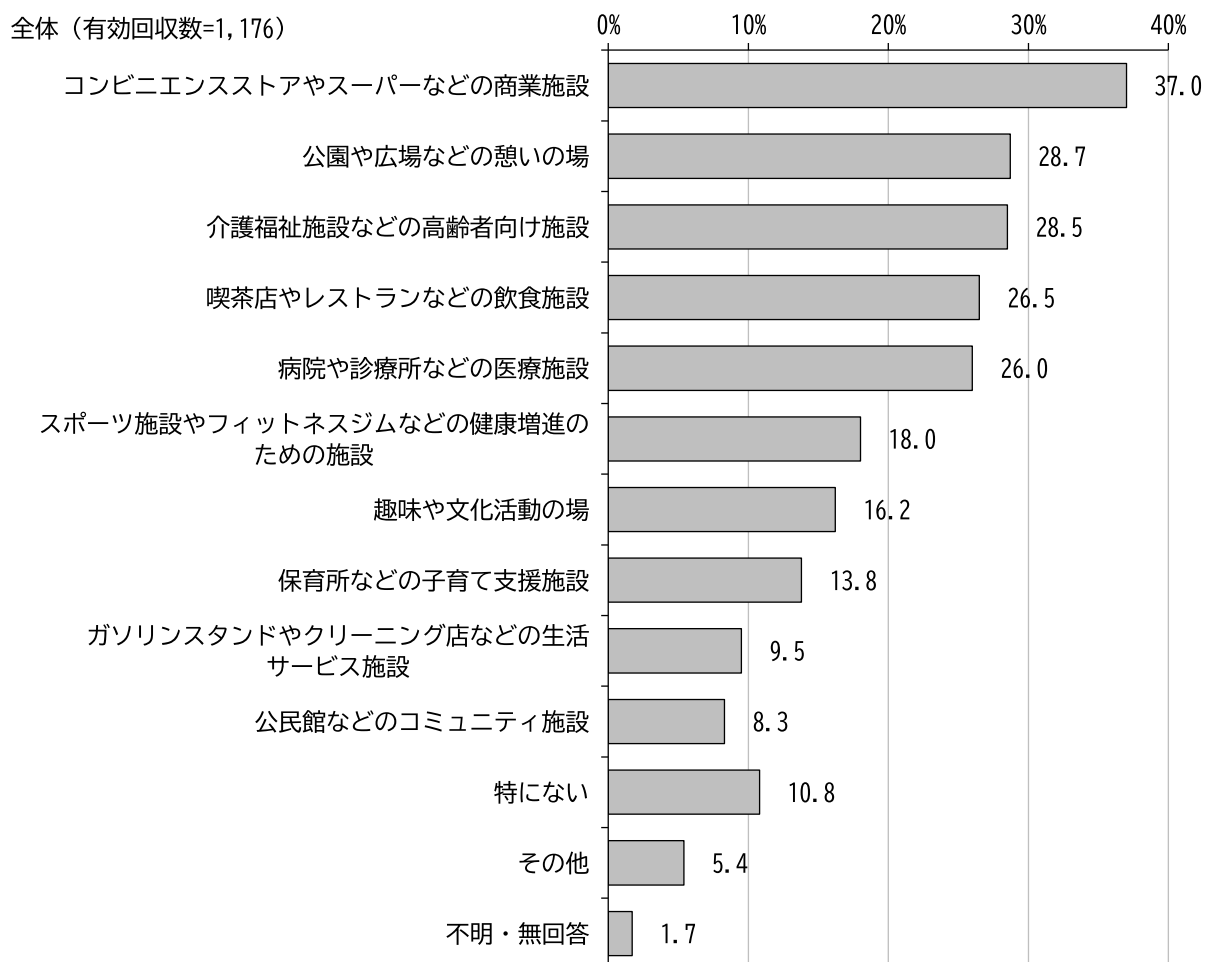
4 土地利用について

問8 お住まいの地域には、どのような施設が必要だと思いますか。(主なものを3つまで○)

必要な施設についてみると、「コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設」が 37.0%と最も高く、次いで「公園や広場などの憩いの場」が 28.7%、「介護福祉施設などの高齢者向け施設」が 28.5%となっています。

年代別にみると、〔10代〕～〔20代〕及び〔40代〕～〔50代〕で「コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設」が最も高く、〔30代〕で「公園や広場などの憩いの場」が最も高くなっています。〔60代〕以上では「介護福祉施設などの高齢者向け施設」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：％	コンビニエンスストアやスーパーなどの商業施設や	飲食施設やレストランなどの	喫茶店やサービス施設	ガソリンスタンドやクリーニング店などの生活	医療施設や診療所などの	介護福祉施設などの高齢者向け施設	保育所などの子育て支援施設	趣味や文化活動の場
10代(有効回収数=6)	83.3	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	
20代(有効回収数=88)	46.6	36.4	11.4	20.5	9.1	21.6	15.9	
30代(有効回収数=115)	36.5	33.0	8.7	27.0	5.2	30.4	11.3	
40代(有効回収数=157)	41.4	32.5	7.6	19.1	11.5	14.6	24.2	
50代(有効回収数=224)	43.3	28.6	14.3	26.8	28.1	8.0	10.3	
60代(有効回収数=173)	32.9	16.8	11.0	28.3	34.7	17.3	17.3	
70代以上(有効回収数=393)	31.0	22.9	6.9	28.5	44.0	9.2	17.0	

単位：％	公園や広場などの憩いの場	スポーツ施設や健康増進のための施設	公民館などのコミュニティ施設	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
10代(有効回収数=6)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	27.3	21.6	4.5	6.8	8.0	0.0
30代(有効回収数=115)	47.8	20.0	3.5	8.7	7.8	0.0
40代(有効回収数=157)	35.7	22.3	8.3	7.6	6.4	1.3
50代(有効回収数=224)	22.3	17.9	4.9	14.3	5.8	0.9
60代(有効回収数=173)	24.9	24.3	8.1	10.4	4.0	3.5
70代以上(有効回収数=393)	27.5	11.7	12.7	11.7	4.3	2.3

■ 地区別クロス

単位: %	スーパーなどの商業施設やコンビニエンスストアや	喫茶店やレストランなどの飲食施設	クリーニング店などの生活サービス施設	ガソリンスタンドや	病院や診療所などの医療施設	介護福祉施設などの高齢者向け施設	施設 保育所などの子育て支援	趣味や文化活動の場
七宝地区(有効回収数=309)	39.5	22.3	11.7	33.3	29.1	13.6	17.8	
美和地区(有効回収数=337)	39.2	24.3	6.5	25.5	34.7	13.1	16.6	
甚目寺地区(有効回収数=523)	33.8	30.6	10.1	21.6	24.5	14.5	15.3	

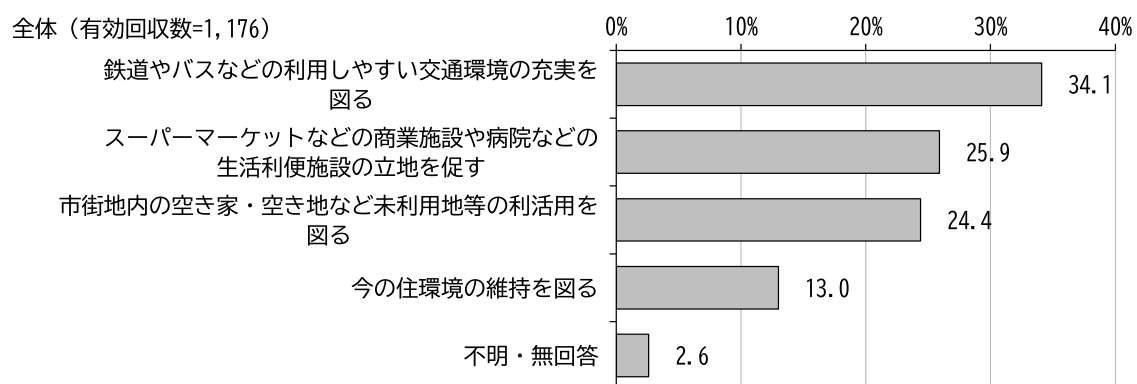
単位: %	公園や広場などの憩いの場	スポーツ施設やフィットネスジムなどの健康増進のための施設	公民館などのコミュニティ施設	特にな	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	33.3	15.2	10.4	8.7	5.5	1.0
美和地区(有効回収数=337)	28.5	22.3	8.0	8.6	6.2	1.8
甚目寺地区(有効回収数=523)	26.2	16.8	7.5	13.4	4.8	2.1

問9 あま市全体の土地の利用について、何を重点的に進めていくことが望ましいと思いますか。
【1 住宅地の土地利用について】（○は1つだけ）

住宅地の土地利用についてみると、「鉄道やバスなどの利用しやすい交通環境の充実を図る」が34.1%と最も高く、次いで「スーパーマーケットなどの商業施設や病院などの生活利便施設の立地を促す」が25.9%、「市街地内の空き家・空き地など未利用地等の利活用を図る」が24.4%となっています。

年代別にみると、〔30代〕で「スーパーマーケットなどの商業施設や病院などの生活利便施設の立地を促す」、その他の年代で「鉄道やバスなどの利用しやすい交通環境の充実を図る」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔甚目寺地区〕で「鉄道やバスなどの利用しやすい交通環境の充実を図る」、〔美和地区〕で「スーパーマーケットなどの商業施設や病院などの生活利便施設の立地を促す」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

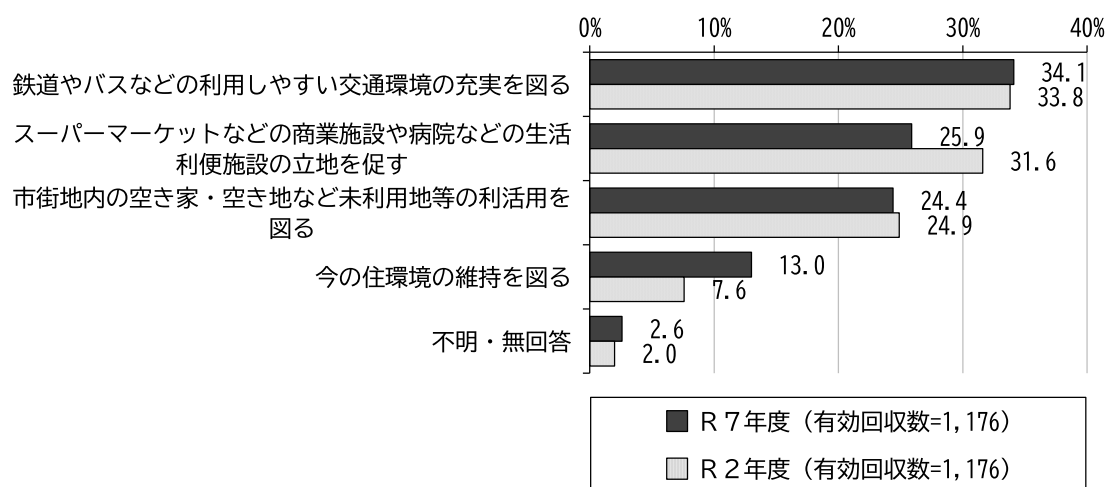
単位: %	図る るや す い バ ス な ど の 利 充 実 を	利 便 施 設 の 立 地 を 促 す の 生 活 の	今 の 住 環 境 の 維 持 を 図 る	図 る な ど 未 利 用 の 地 等 の 家 利 ・ 活 用 を 地	不 明 ・ 無 回 答
10代(有効回収数=6)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	35.2	26.1	5.7	31.8	1.1
30代(有効回収数=115)	27.8	33.9	15.7	22.6	0.0
40代(有効回収数=157)	30.6	26.1	12.1	29.9	1.3
50代(有効回収数=224)	34.4	26.8	14.3	23.2	1.3
60代(有効回収数=173)	42.8	23.1	10.4	22.5	1.2
70代以上(有効回収数=393)	32.8	24.2	15.0	23.2	4.8

■ 地区別クロス

単位：％	図る しやす い交通 環境の 充実を 図る	鉄道や バスな どの利 用	利便施 設の立 地を促 す	スーパ ーマー ケット などの 生活	今の住 環境の 維持を 図る	図る など未 利用地 等の利 活用を 図る	不明・ 無回答
七宝地区（有効回収数=309）	37.5	29.4	9.7	21.4	1.9		
美和地区（有効回収数=337）	24.9	30.9	12.5	27.3	4.5		
甚目寺地区（有効回収数=523）	37.7	20.8	15.5	24.3	1.7		

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「スーパーマーケットなどの商業施設や病院などの生活利便施設の立地を促す」が5.7ポイント減少し、「今の住環境の維持を図る」が5.4ポイント増加しています。

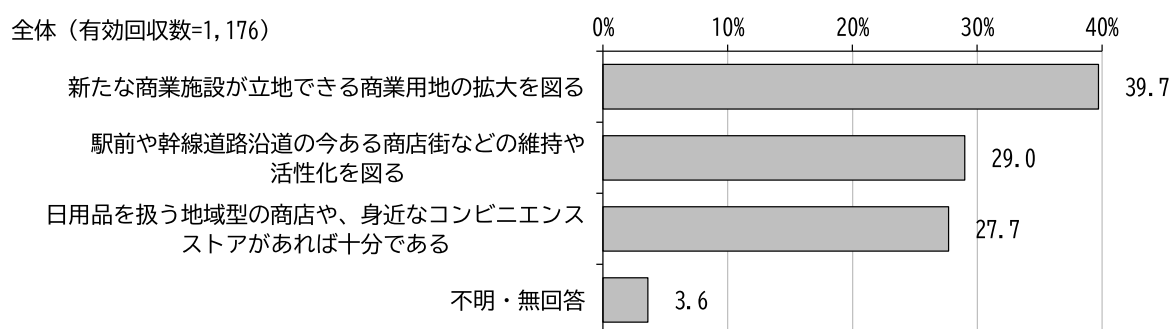


【2商業地の土地利用について】（○は1つだけ）

商業地の土地利用についてみると、「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」が 39.7%と最も高く、次いで「駅前や幹線道路沿道の今ある商店街などの維持や活性化を図る」が 29.0%、「日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である」が 27.7%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」「日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である」、〔70代以上〕で「日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である」、他の年代で「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

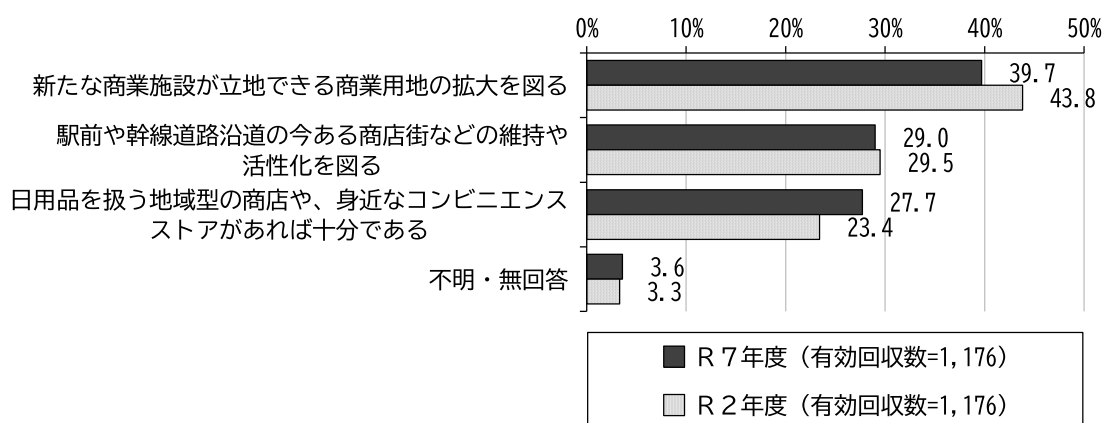
単位: %	や今駅 活あ前 性るや 化商幹 を店線 図街道 るな沿 の道の 維持	図で新 るきた るな商 商業業 用地施 の設が 拡大地 を	十エ商日 分ン店用 でスや品 あストを るア身扱 うがな地 あコ域 れン型 ばビの ニ	不明・無 回答
10代（有効回収数=6）	0.0	50.0	50.0	0.0
20代（有効回収数=88）	33.0	35.2	31.8	0.0
30代（有効回収数=115）	28.7	48.7	22.6	0.0
40代（有効回収数=157）	33.8	44.6	19.1	2.5
50代（有効回収数=224）	34.8	43.8	19.6	1.8
60代（有効回収数=173）	32.9	43.4	23.1	0.6
70代以上（有効回収数=393）	22.9	32.1	37.7	7.4

■ 地区別クロス

単位：％	駅前や幹線道路沿道の今ある商店街などの維持や活性化を図る	図ることができる新たな商業用地の拡大を図る	十分である	日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	23.9	38.2	34.3	3.6	
美和地区（有効回収数=337）	27.3	42.1	25.8	4.7	
甚目寺地区（有効回収数=523）	33.3	39.4	24.7	2.7	

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である」が4.3ポイント増加し、「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」が4.1ポイント減少しています。

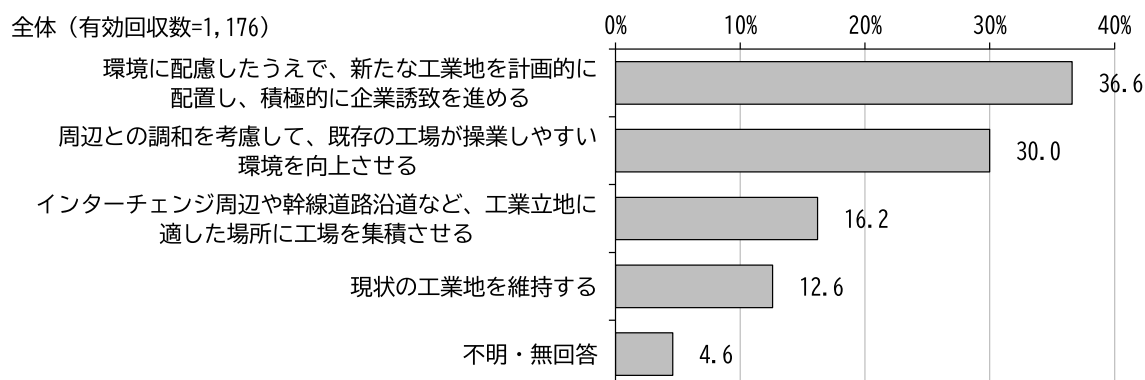


【3工業地の土地利用について】（○は1つだけ）

工業地の土地利用についてみると、「環境に配慮したうえで、新たな工業地を計画的に配置し、積極的に企業誘致を進める」が36.6%と最も高く、次いで「周辺との調和を考慮して、既存の工場が操業しやすい環境を向上させる」が30.0%、「インターチェンジ周辺や幹線道路沿道など、工業立地に適した場所に工場を集積させる」が16.2%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「インターチェンジ周辺や幹線道路沿道など、工業立地に適した場所に工場を集積させる」「現状の工業地を維持する」「周辺との調和を考慮して、既存の工場が操業しやすい環境を向上させる」が同率で高く、〔20代〕で「周辺との調和を考慮して、既存の工場が操業しやすい環境を向上させる」、〔30代〕以上で「環境に配慮したうえで、新たな工業地を計画的に配置し、積極的に企業誘致を進める」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「環境に配慮したうえで、新たな工業地を計画的に配置し、積極的に企業誘致を進める」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

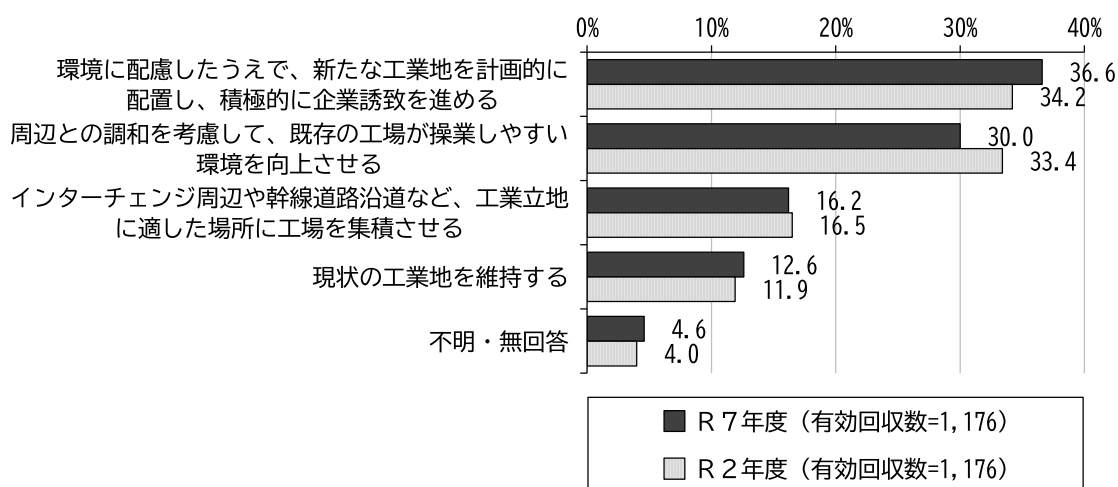
単位: %	進められた環境に配慮したうえで、企業誘致を配	集積地に適した場所を	立地道路沿道など、工業地を	幹線道路沿道など、工業地を維持する	現状の工業地を維持する	環境を向上させる	既存の工場が操業しやすい	周辺との調和を考慮して、	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0		33.3	33.3	33.3	0.0			
20代(有効回収数=88)	26.1		14.8	18.2	39.8	1.1			
30代(有効回収数=115)	33.0		24.3	18.3	23.5	0.9			
40代(有効回収数=157)	35.7		22.3	17.2	22.9	1.9			
50代(有効回収数=224)	34.4		18.8	14.3	31.7	0.9			
60代(有効回収数=173)	43.9		15.6	8.7	31.2	0.6			
70代以上(有効回収数=393)	39.7		10.4	8.4	30.5	10.9			

■ 地区別クロス

単位: %	進める し、積 極的に 企業誘 致を配 置する	環境に 配慮し たうえ で、新 たな工 業地を 計画的 に配置 し、積 極的に 企業誘 致を進 める	環境に 配慮し たうえ で、新 たな工 業地を 計画的 に配置 し、積 極的に 企業誘 致を進 める	立地適 した場 所に工 場を集 積させ る	幹線道 路沿道 など、 工業立 地に適 した場 所に工 場を集 積させ る	インタ ーチェ ンジ周 辺や幹 線道路 沿道な ど、工 業立地 に適し た場所 に工場 を集積 させる	現状の 工業地 を維持 する	環境を 向上さ せる	既存の 工場が 操業し やすい 環境を 向上さ せる	周辺と の調和 を考慮 して、 既存の 工場が 操業し やすい 環境を 向上さ せる	不明・ 無回答
七宝地区(有効回収数=309)		36.9			12.3		12.3		33.0		5.5
美和地区(有効回収数=337)		40.4			15.1		10.7		29.1		4.7
甚目寺地区(有効回収数=523)		34.0			19.3		14.0		28.7		4.0

■ 令和2年度調査との比較

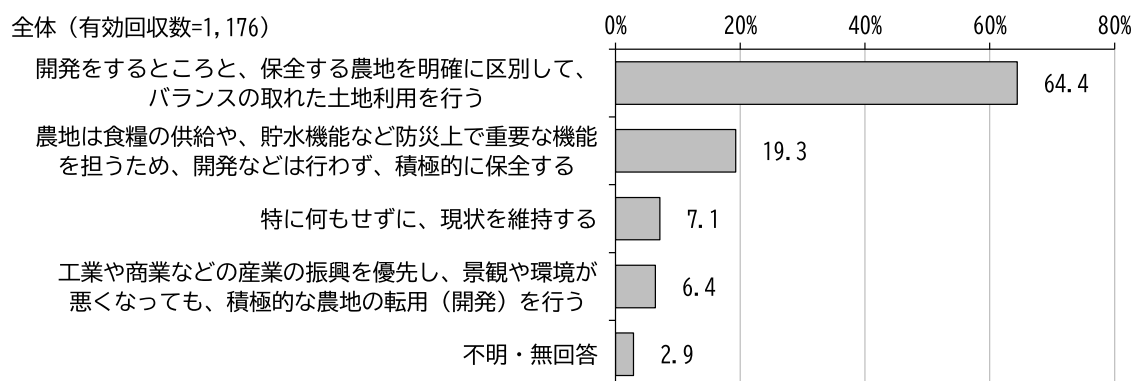
令和2年度調査と比較すると、「周辺との調和を考慮して、既存の工場が操業しやすい環境を向上させる」が3.4ポイント減少し、「環境に配慮したうえで、新たな工業地を計画的に配置し、積極的に企業誘致を進める」が2.4ポイント増加しています。



【4 農地などについて】（〇は1つだけ）

農地などについてみると、「開発をするところと、保全する農地を明確に区別して、バランスの取れた土地利用を行う」が64.4%と最も高く、次いで「農地は食糧の供給や、貯水機能など防災上で重要な機能を担うため、開発などは行わず、積極的に保全する」が19.3%、「特に何もせずに、現状を維持する」が7.1%となっています。

年代別・地区別ともにすべての区分で、「開発をするところと、保全する農地を明確に区別して、バランスの取れた土地利用を行う」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

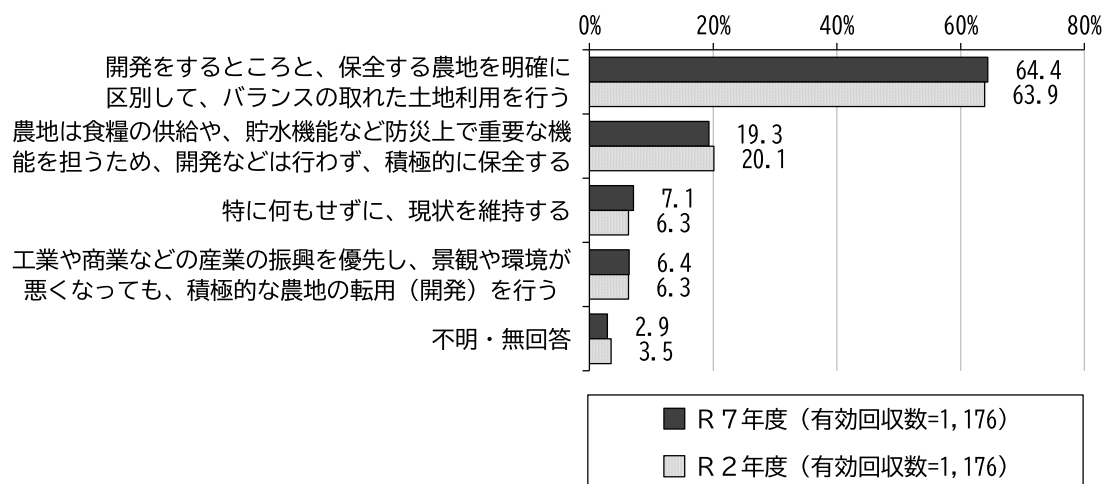
単位: %	農地は食糧の供給や、貯水機能を担うため、積極的に保全する	転用（開発）を行う	工業や商業などの産業の振興を優先し、景観や環境が悪くなっても、積極的な農地の転用（開発）を行う	開発をするところと、保全する農地を明確に区別して、バランスの取れた土地利用を行う	特に何もせずに、現状を維持する	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	
20代（有効回収数=88）	22.7	9.1	58.0	9.1	1.1	
30代（有効回収数=115）	31.3	9.6	49.6	9.6	0.0	
40代（有効回収数=157）	19.1	7.6	65.0	7.0	1.3	
50代（有効回収数=224）	19.2	4.9	67.4	7.1	1.3	
60代（有効回収数=173）	15.6	4.6	75.7	3.5	0.6	
70代以上（有効回収数=393）	17.0	6.4	63.4	6.9	6.4	

■ 地区別クロス

単位: %	農地は食糧の供給や、貯水機能を担うため、防災上で重要な機能を担うため、開発などは行わず、積極的に保全する	工業や商業などの産業の振興を優先し、景観や環境が悪くなつても、積極的な農地の転用（開発）を行う	開発をすところと、保全する農地を明確に区別して、バランスの取れた土地利用を行う	特に何もせずに、現状を維持する	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	24.3	6.5	58.3	8.4	2.6
美和地区(有効回収数=337)	17.5	7.4	66.2	5.3	3.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	17.4	5.7	67.1	7.3	2.5

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、特に大きな違いはみられませんでした。



5 都市の基盤整備について

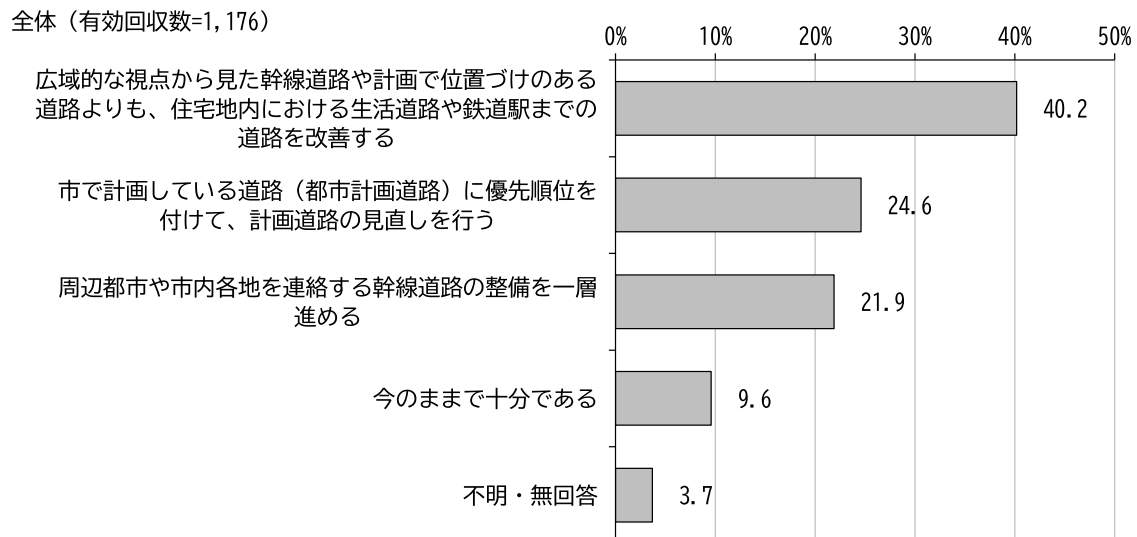
問 10 これからのあま市のまちづくりについて、何が重要だと思いますか。

【1 道路などの整備について】（○は1 つだけ）

道路などの整備についてみると、「広域的な視点から見た幹線道路や計画で位置づけのある道路よりも、住宅地内における生活道路や鉄道駅までの道路を改善する」が 40.2%と最も高く、次いで「市で計画している道路(都市計画道路)に優先順位を付けて、計画道路の見直しを行う」が 24.6%、「周辺都市や市内各地を連絡する幹線道路の整備を一層進める」が 21.9%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「市で計画している道路(都市計画道路)に優先順位を付けて、計画道路の見直しを行う」が最も高く、〔20 代〕以上で「広域的な視点から見た幹線道路や計画で位置づけのある道路よりも、住宅地内における生活道路や鉄道駅までの道路を改善する」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「広域的な視点から見た幹線道路や計画で位置づけのある道路よりも、住宅地内における生活道路や鉄道駅までの道路を改善する」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

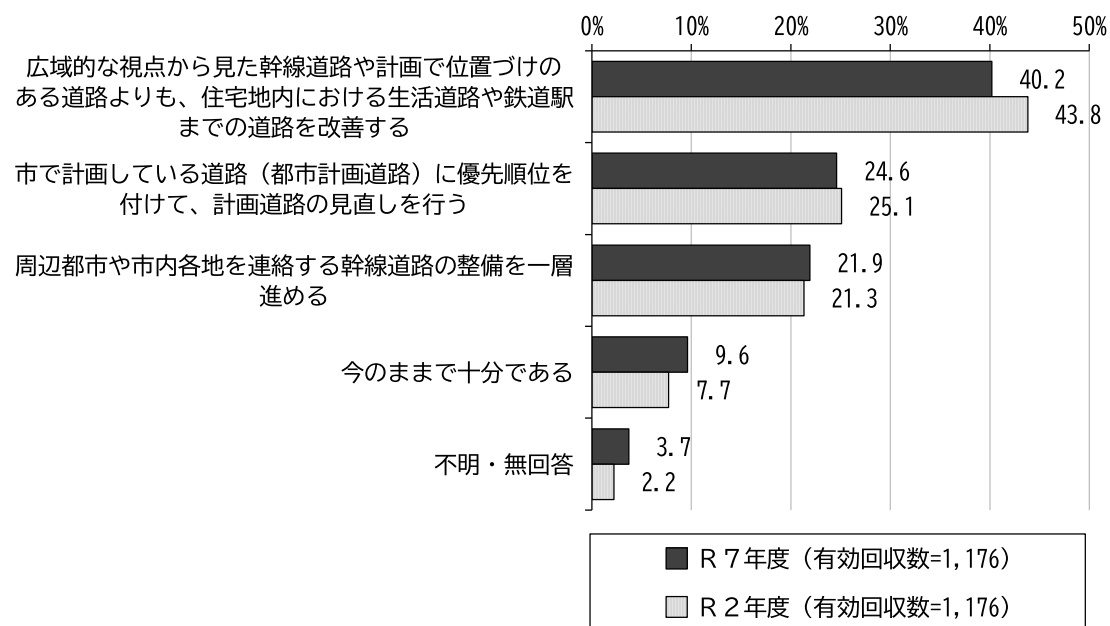
単位：%	幹線道路の整備を一層進める	周辺都市や市内各地を連絡する	道路の優先順位を付けて、都市計画	道路の優先順位を付けて、都市計画	市で計画している道路（都市計画	道路の優先順位を付けて、都市計画	住宅地の道路を改善する	計画地内における生活道路や鉄道駅	広域的な視点から見た幹線道路や、	今のままで十分である	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	50.0	16.7	33.3	0.0						
20代(有効回収数=88)	23.9	23.9	39.8	11.4	1.1						
30代(有効回収数=115)	21.7	23.5	42.6	11.3	0.9						
40代(有効回収数=157)	20.4	21.0	49.0	8.3	1.3						
50代(有効回収数=224)	22.3	20.1	42.9	13.8	0.9						
60代(有効回収数=173)	26.0	32.4	35.8	3.5	2.3						
70代以上(有効回収数=393)	20.6	26.0	36.9	9.2	7.4						

■ 地区別クロス

単位：%	幹線道路の整備を一層進める	周辺都市や市内各地を連絡する	道路の優先順位を付けて、都市計画	道路の優先順位を付けて、都市計画	市で計画している道路（都市計画	道路の優先順位を付けて、都市計画	住宅地の道路を改善する	計画地内における生活道路や鉄道駅	広域的な視点から見た幹線道路や、	今のままで十分である	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	26.5	26.9	34.0	8.4	4.2						
美和地区(有効回収数=337)	19.9	29.1	38.0	8.6	4.5						
菟目寺地区(有効回収数=523)	20.5	20.7	45.3	10.9	2.7						

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「広域的な視点から見た幹線道路や計画で位置づけのある道路よりも、住宅地内における生活道路や鉄道駅までの道路を改善する」が3.6ポイント減少しています。

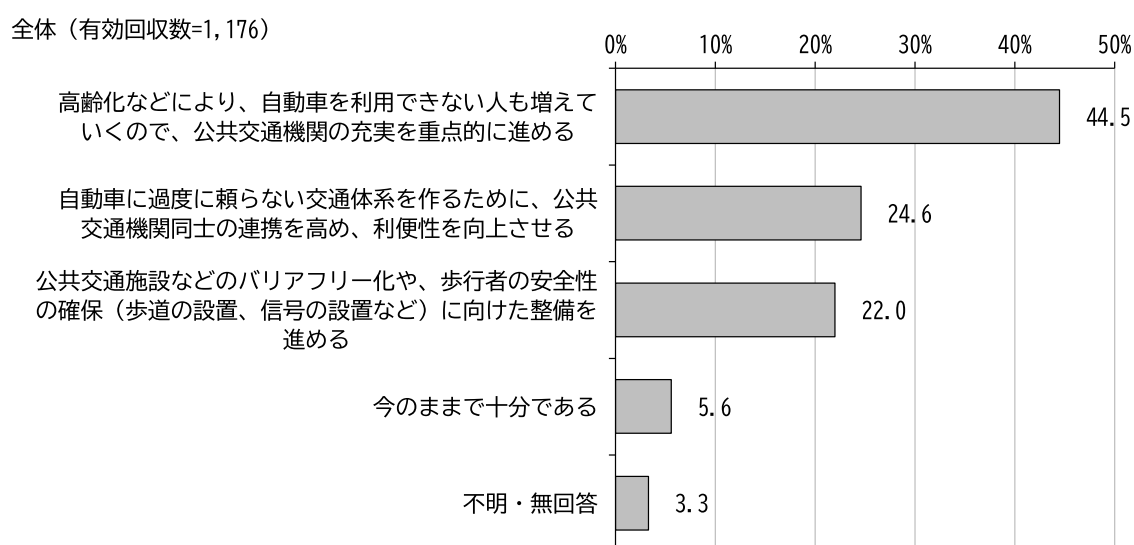


【2交通施設の整備について】（○は1つだけ）

交通施設の整備についてみると、「高齢化などにより、自動車を利用できない人も増えていくので、公共交通機関の充実を重点的に進める」が44.5%と最も高く、次いで「自動車に過度に頼らない交通体系を作るために、公共交通機関同士の連携を高め、利便性を向上させる」が24.6%、「公共交通施設などのバリアフリー化や、歩行者の安全性の確保（歩道の設置、信号の設置など）に向けた整備を進める」が22.0%となっています。

年代別にみると、〔10代〕〔30代〕で「公共交通施設などのバリアフリー化や、歩行者の安全性の確保（歩道の設置、信号の設置など）に向けた整備を進める」、その他の年代で「高齢化などにより、自動車を利用できない人も増えていくので、公共交通機関の充実を重点的に進める」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「高齢化などにより、自動車を利用できない人も増えていくので、公共交通機関の充実を重点的に進める」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

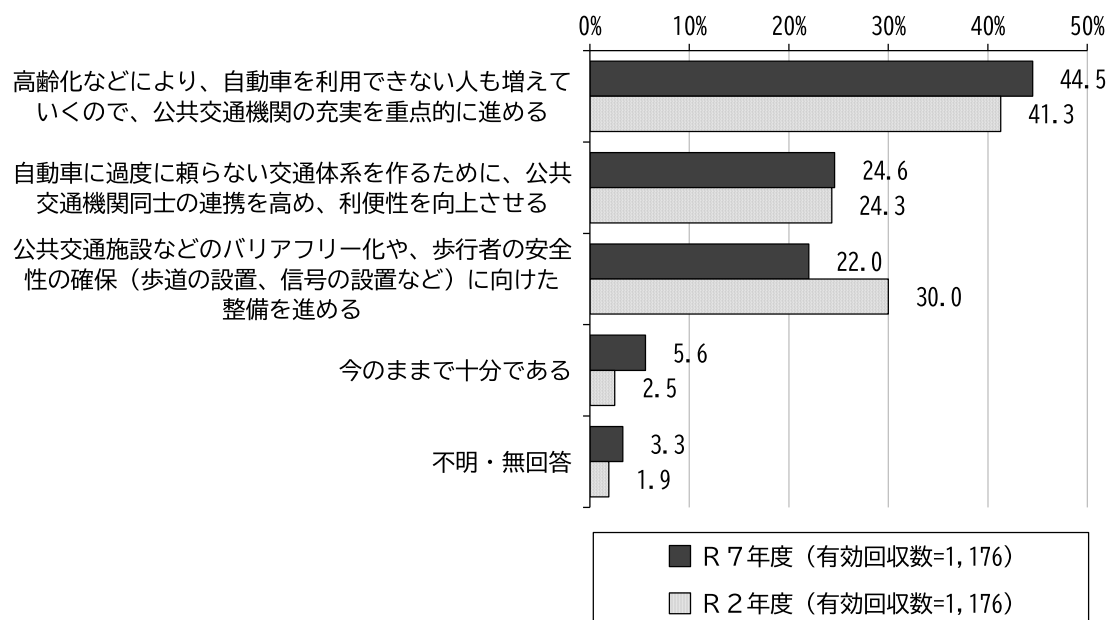
単位: %	重点的・高齢化などにより、関係者の増加を促す	公共交通施設の整備、歩行者の安全性の確保	公共交通機関の連携を高め、利便性を向上させる	今のままで十分である	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
20代(有効回収数=88)	30.7	23.9	29.5	13.6	2.3
30代(有効回収数=115)	33.0	33.9	23.5	7.8	1.7
40代(有効回収数=157)	46.5	21.0	24.2	7.0	1.3
50代(有効回収数=224)	44.2	21.4	29.9	4.0	0.4
60代(有効回収数=173)	47.4	21.4	28.3	1.7	1.2
70代以上(有効回収数=393)	49.4	18.8	20.4	4.8	6.6

■ 地区別クロス

単位: %	高齢化などにより、自動車を 利用できない人も増えていく ので、公共交通機関の充実を 重点的に進める	確保（歩道の設置、信号の設置 など）に向けた整備を進める	公共交通施設などのバリア フリー化や、歩行者の安全性の 確保	自動車を過度に頼らない交通 体系を作るために、公共交通 機関同士の連携を高め、利便性 を向上させる	今のままで十分である	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	46.9	18.8	22.7	6.8	4.9	
美和地区(有効回収数=337)	41.8	24.3	26.4	4.7	2.7	
甚目寺地区(有効回収数=523)	44.7	22.6	24.7	5.4	2.7	

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「公共交通施設などのバリアフリー化や、歩行者の安全性の確保（歩道の設置、信号の設置など）に向けた整備を進める」が8.0ポイント減少し、「高齢化などにより、自動車を利用できない人も増えていくので、公共交通機関の充実を重点的に進める」が3.2ポイント増加しています。

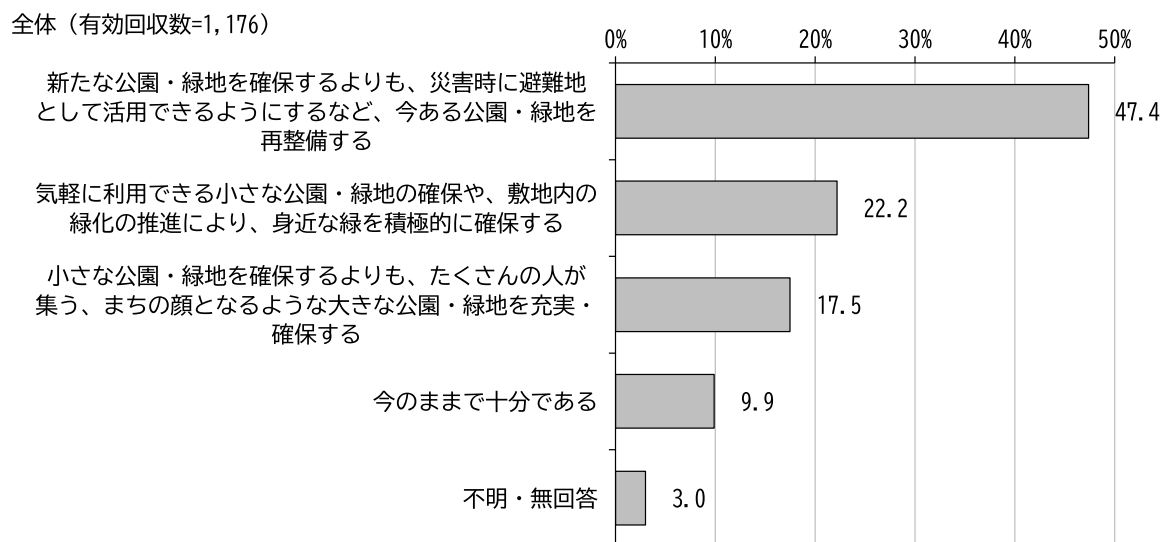


【3公園・緑地などの整備について】（○は1つだけ）

公園・緑地などの整備についてみると、「新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する」が47.4%と最も高く、次いで「気軽に利用できる小さな公園・緑地の確保や、敷地内の緑化の推進により、身近な緑を積極的に確保する」が22.2%、「小さな公園・緑地を確保するよりも、たくさんの人が集う、まちの顔となるような大きな公園・緑地を充実・確保する」が17.5%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「気軽に利用できる小さな公園・緑地の確保や、敷地内の緑化の推進により、身近な緑を積極的に確保する」「今のままで十分である」が同率で高く、〔20代〕以上で「新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する」が最も高く、特に〔50代〕以上ではこの回答が半数を超えています。

地区別にみると、すべての地区で「新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

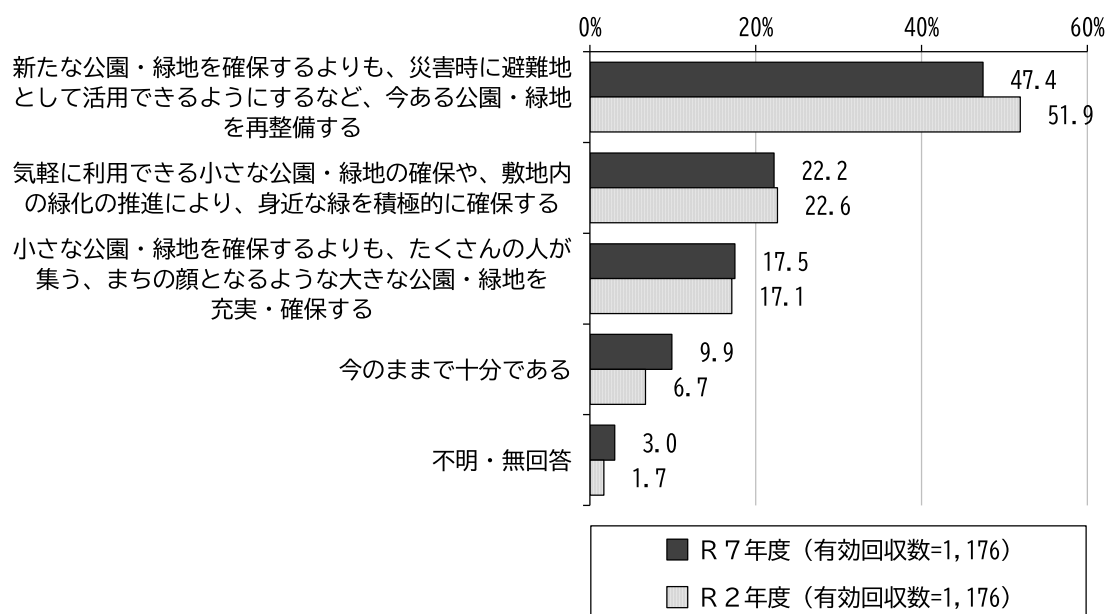
単位: %	身近な緑を敷地内に緑化の推進により、緑地の確保を積極的に行う	新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する	小さな公園・緑地の確保や、敷地内の緑化の推進により、身近な緑を積極的に確保する	今のままで十分である	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0
20代(有効回収数=88)	22.7	36.4	19.3	20.5	1.1
30代(有効回収数=115)	33.0	33.9	22.6	9.6	0.9
40代(有効回収数=157)	27.4	34.4	26.8	8.9	2.5
50代(有効回収数=224)	20.5	53.1	14.3	11.6	0.4
60代(有効回収数=173)	21.4	55.5	18.5	3.5	1.2
70代以上(有効回収数=393)	18.6	53.4	13.2	9.2	5.6

■ 地区別クロス

単位: %	身近な緑を積極的に確保する 気軽に利用できる小さな公園・緑地の確保や、敷地内の緑化の推進により、身近な緑を積極的に確保する	新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する	小さな公園・緑地を確保するよりも、たくさんの人が集う、まちの顔となるような大きな公園・緑地を充実・確保する	今のままで十分である	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	20.7	48.9	20.4	7.1	2.9
美和地区(有効回収数=337)	20.5	48.1	19.0	9.2	3.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	24.3	46.1	14.9	12.0	2.7

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「新たな公園・緑地を確保するよりも、災害時に避難地として活用できるようにするなど、今ある公園・緑地を再整備する」が4.5ポイント減少し、「今のままで十分である」が3.2ポイント増加しています。

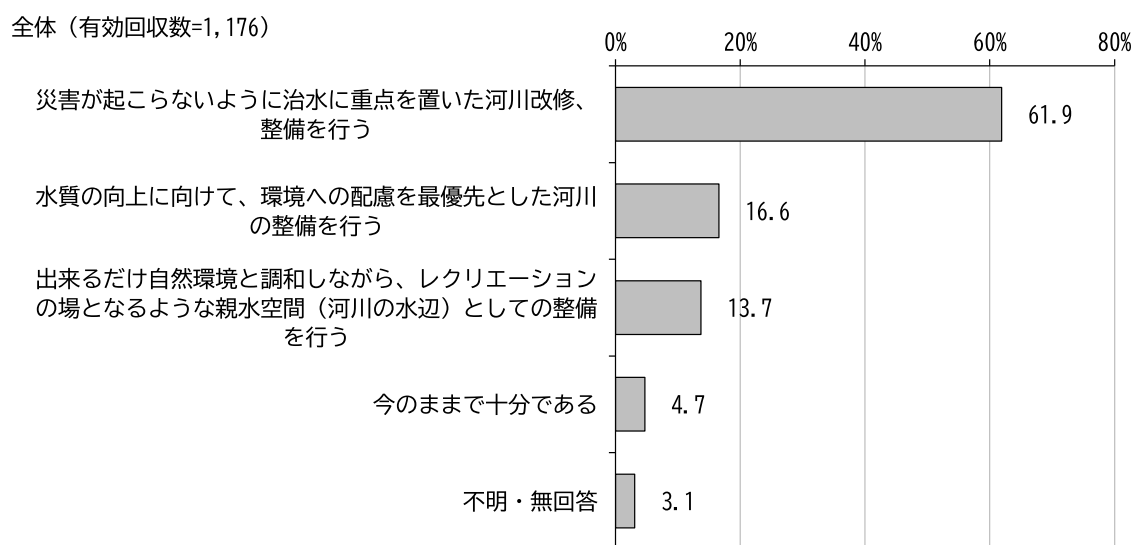


【4 河川などの整備について】（○は1 つだけ）

河川などの整備についてみると、「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」が 61.9%と最も高く、次いで「水質の向上に向けて、環境への配慮を最優先とした河川の整備を行う」が 16.6%、「出来るだけ自然環境と調和しながら、レクリエーションの場となるような親水空間（河川の水辺）としての整備を行う」が 13.7%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」「出来るだけ自然環境と調和しながら、レクリエーションの場となるような親水空間（河川の水辺）としての整備を行う」が同率で高く、〔20 代〕以上で「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」が最も高く、特に〔60 代〕で他の年代に比べて 10 ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

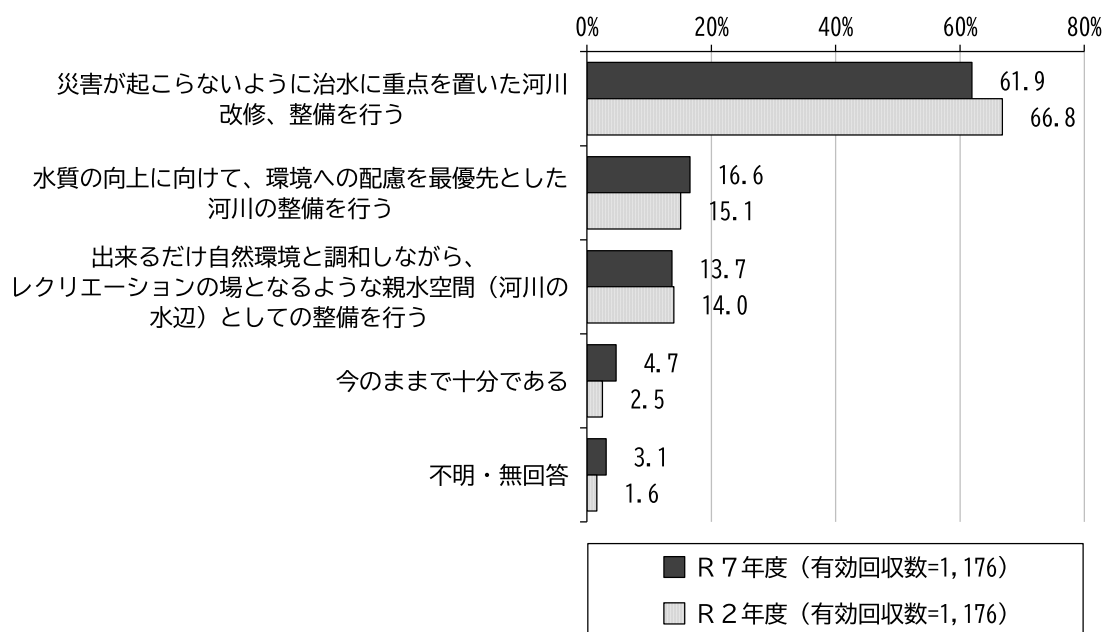
単位: %	災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う	出来るだけ自然環境と調和しながら、レクリエーションの場となるような親水空間（河川の水辺）としての整備を行う	水質の向上に向けて、環境への配慮を最優先とした河川の整備を行う	今のままで十分である	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0
20代（有効回収数=88）	61.4	9.1	22.7	5.7	1.1
30代（有効回収数=115）	63.5	16.5	13.9	5.2	0.9
40代（有効回収数=157）	61.1	18.5	13.4	5.7	1.3
50代（有効回収数=224）	59.8	15.2	18.8	5.8	0.4
60代（有効回収数=173）	75.1	12.7	10.4	0.6	1.2
70代以上（有効回収数=393）	57.8	11.5	19.3	4.8	6.6

■ 地区別クロス

単位: %	災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う	出来るだけ自然環境と調和しながら、レクリエーションの場となるような親水空間（河川の水辺）としての整備を行う	水質の向上に向けて、環境への配慮を最優先とした河川の整備を行う	今のままで十分である	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	59.9	13.6	17.8	5.2	3.6
美和地区（有効回収数=337）	64.7	11.9	15.4	5.0	3.0
甚目寺地区（有効回収数=523）	61.2	14.9	16.8	4.2	2.9

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」が4.9ポイント減少し、「今のままで十分である」が2.2ポイント増加しています。

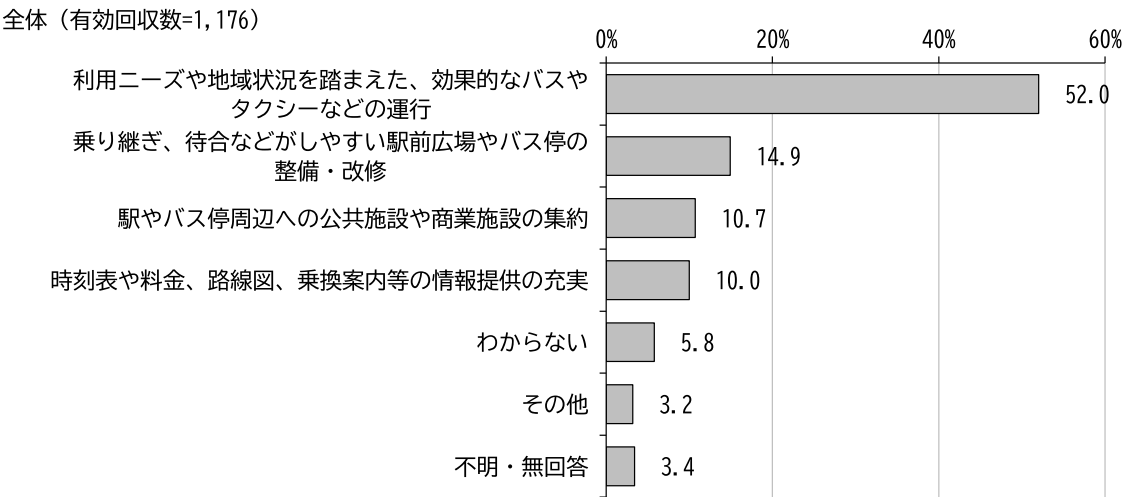


問 11 自動車を運転できない方の移動手段として、鉄道やバスなどの公共交通の確保が重要と考えられています。今後、誰もが円滑に公共交通を利用できるようにするためには、どのような取り組みが必要だと考えますか。(〇は1つだけ)

円滑な公共交通の利用に必要な取組についてみると、「利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行」が52.0%と最も高く、次いで「乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修」が14.9%、「駅やバス停周辺への公共施設や商業施設の集約」が10.7%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修」、〔20代〕以上で「利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行」が最も高く、特に〔60代〕で他の年代に比べて10ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行」が最も高くなっています。



年代別クロス

単位：%	利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的なバスやタクシーなどの運行	乗換案内や料金、路線図、時刻表等の情報提供の充実	乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修	駅やバス停周辺への公共施設や商業施設の集約	その他	わからない	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20代（有効回収数=88）	42.0	10.2	25.0	14.8	2.3	4.5	1.1
30代（有効回収数=115）	46.1	12.2	17.4	11.3	5.2	6.1	1.7
40代（有効回収数=157）	47.8	7.6	16.6	17.8	4.5	4.5	1.3
50代（有効回収数=224）	53.6	8.9	17.4	11.2	2.7	5.8	0.4
60代（有効回収数=173）	65.9	6.4	13.3	8.1	1.7	3.5	1.2
70代以上（有効回収数=393）	52.4	13.0	9.9	7.4	3.3	7.1	6.9

■ 地区別クロス

単位: %	運行バスやタクシーなどの効果的な利用ニーズや地域状況を踏まえた、効果的な	乗換案内等の情報提供の充実	時刻表や料金、路線図、乗換案内等の提供	乗り継ぎ、待合などがしやすい駅前広場やバス停の整備・改修	駅やバス停周辺の公共施設や商業施設の集約	その他	わからない	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	48.9	13.9	16.2	10.0	2.9	3.6	4.5	
美和地区(有効回収数=337)	53.1	7.1	15.4	12.2	3.0	5.9	3.3	
甚目寺地区(有効回収数=523)	53.2	9.6	13.8	10.1	3.6	7.1	2.7	

問 12 普段買い物や通院している場所に向かうまでの主な交通手段は何ですか。

【1 毎日の食料品などの日用品について】（それぞれ○は1つだけ）

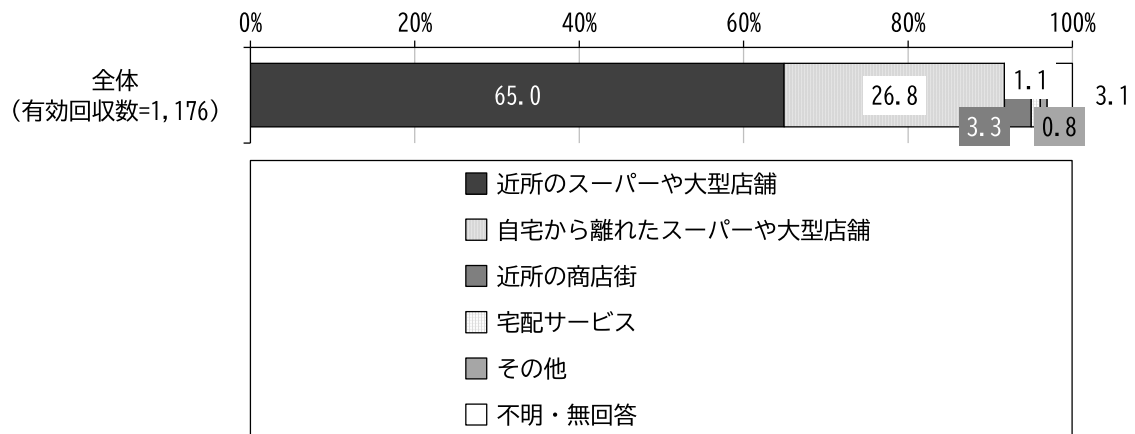
買い物先についてみると、「近所のスーパーや大型店舗」が 65.0%と最も高く、次いで「自宅から離れたスーパーや大型店舗」が 26.8%、「近所の商店街」が 3.3%となっています。

交通手段についてみると、「自家用車（自分が運転）」が 62.8%と最も高く、次いで「自転車」が 13.1%、「自家用車（他の人が運転）」が 11.3%となっています。

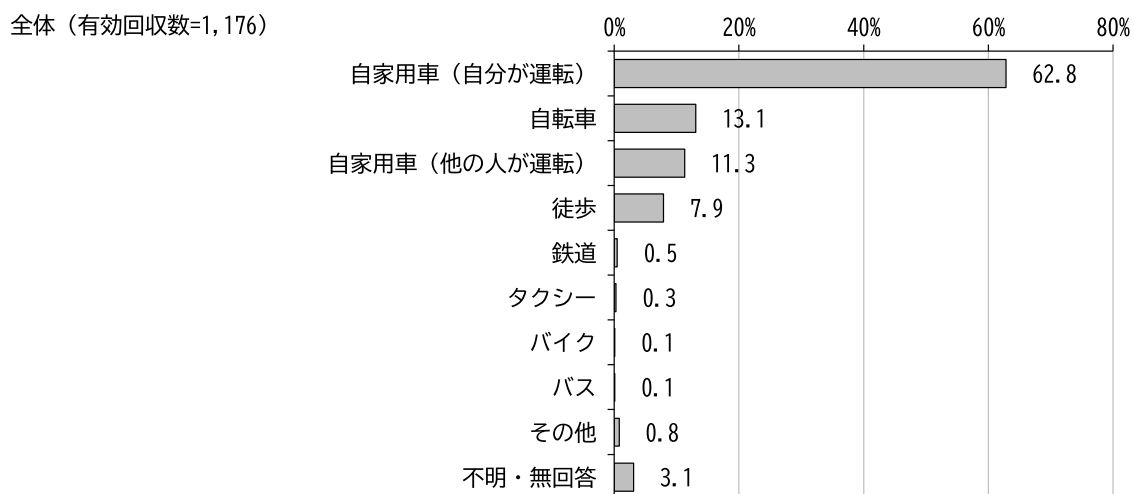
年代別にみると、買い物先ではすべての年代で「近所のスーパーや大型店舗」が最も高くなっています。交通手段では、〔10 代〕で「自家用車（自分が運転）」「自家用車（他の人が運転）」が同率で高くなっています。〔20 代〕以上で「自家用車（自分が運転）」が最も高く、〔50 代〕では8割近くとなっています。

地区別にみると、買い物先ではすべての地区で「近所のスーパーや大型店舗」が最も高く、特に〔甚目寺地区〕で他の地区に比べて 10 ポイント以上高くなっています。交通手段ではすべての地区で「自家用車（自分が運転）」が最も高くなっています。

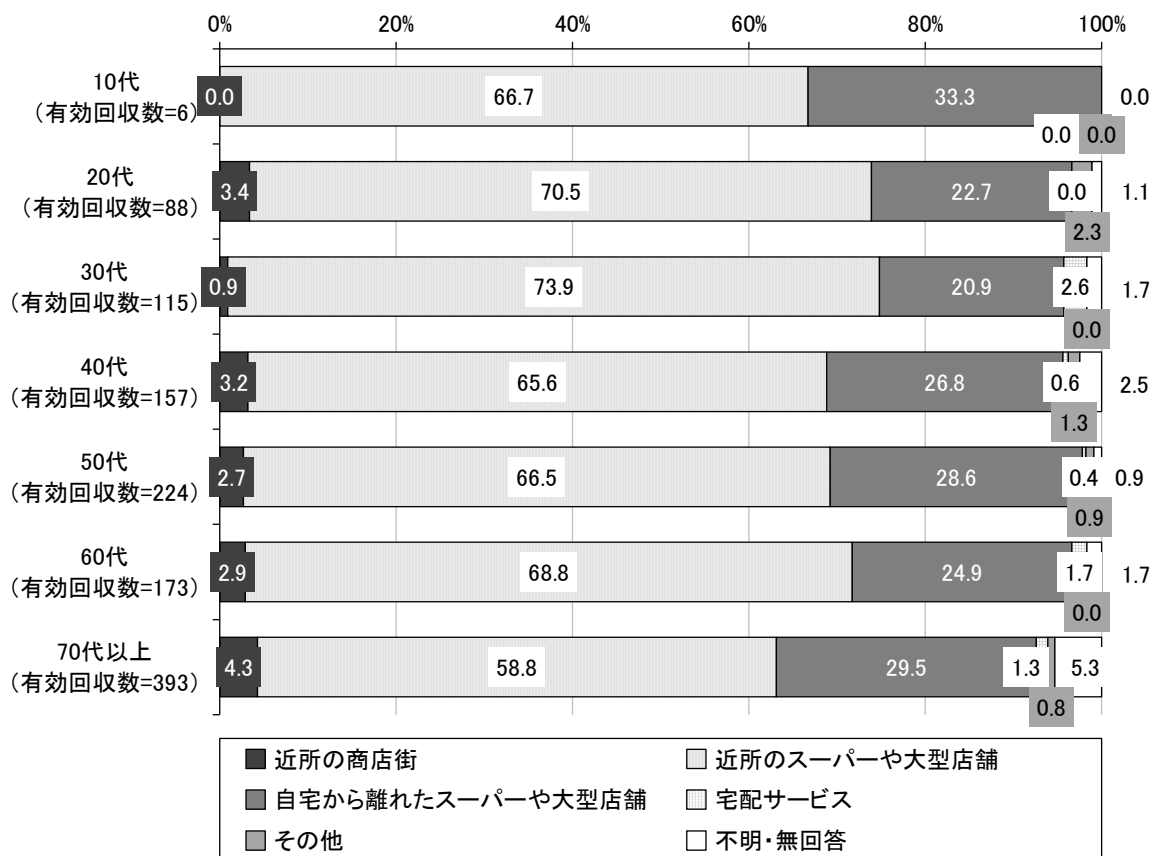
◎買い物先



◎交通手段

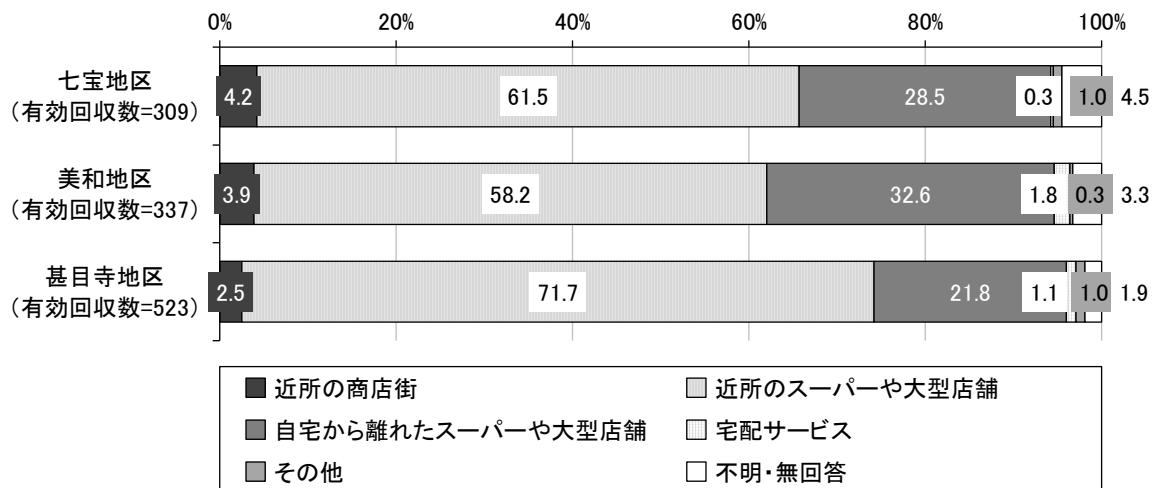


年代別クロス



単位: %	徒歩	自転車	バイク	(自家用車 自分が運転)	(自家用車 他人が運転)	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	6.8	22.7	0.0	50.0	18.2	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1
30代(有効回収数=115)	6.1	9.6	0.0	68.7	13.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.9
40代(有効回収数=157)	6.4	5.7	0.6	76.4	7.6	0.0	0.0	0.0	0.6	2.5
50代(有効回収数=224)	4.0	8.5	0.0	79.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
60代(有効回収数=173)	5.2	10.4	0.0	73.4	8.7	0.0	0.6	0.0	0.6	1.2
70代以上(有効回収数=393)	12.2	19.1	0.0	45.3	14.8	0.3	0.5	1.0	1.5	5.3

地区別クロス



単位: %	徒歩	自転車	バイク	自家用車 (自分が運転)	自家用車 (他の人が運転)	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	8.4	15.5	0.0	58.3	13.6	0.3	0.0	0.3	0.6	2.9
美和地区(有効回収数=337)	8.3	11.6	0.3	62.3	11.6	0.0	0.9	0.3	1.2	3.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	7.5	12.4	0.0	65.8	9.9	0.0	0.6	0.4	0.6	2.9

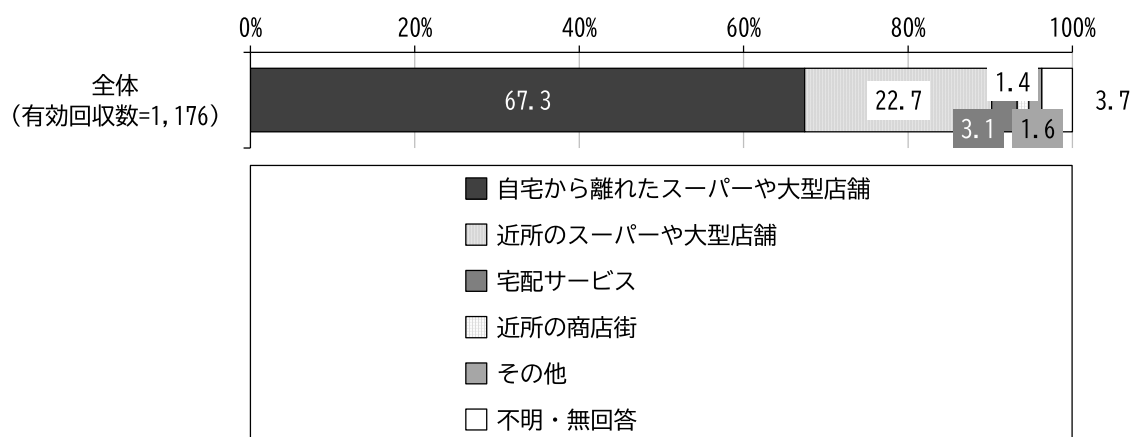
【2衣料・家電・家具などの日用品以外について】（それぞれ〇は1つだけ）

買い物先についてみると、「自宅から離れたスーパーや大型店舗」が67.3%と最も高く、次いで「近所のスーパーや大型店舗」が22.7%、「宅配サービス」が3.1%となっています。

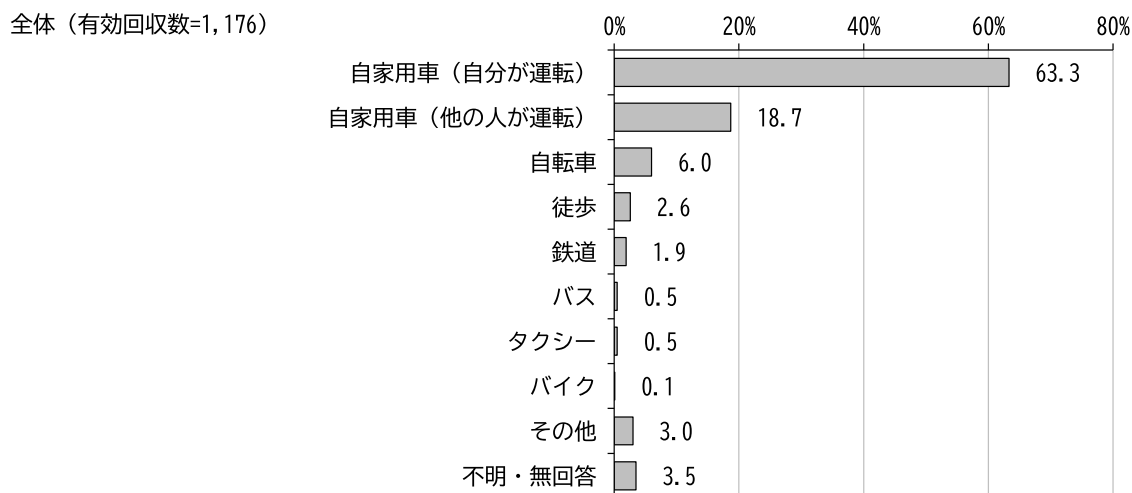
交通手段についてみると、「自家用車（自分が運転）」が63.3%と最も高く、次いで「自家用車（他の人が運転）」が18.7%、「自転車」が6.0%となっています。

年代別・地区別ともに、買い物先ではすべての区分で「自宅から離れたスーパーや大型店舗」が最も高くなっています。交通手段では、年代別において〔10代〕で「自家用車（他の人が運転）」が最も高くなっています。〔20代〕以上では「自家用車（自分が運転）」が最も高く、このうち〔30代〕～〔60代〕で「自家用車（自分が運転）」が約7割から8割となっています。地区別にみると、すべての地区で「自家用車（自分が運転）」が最も高くなっています。

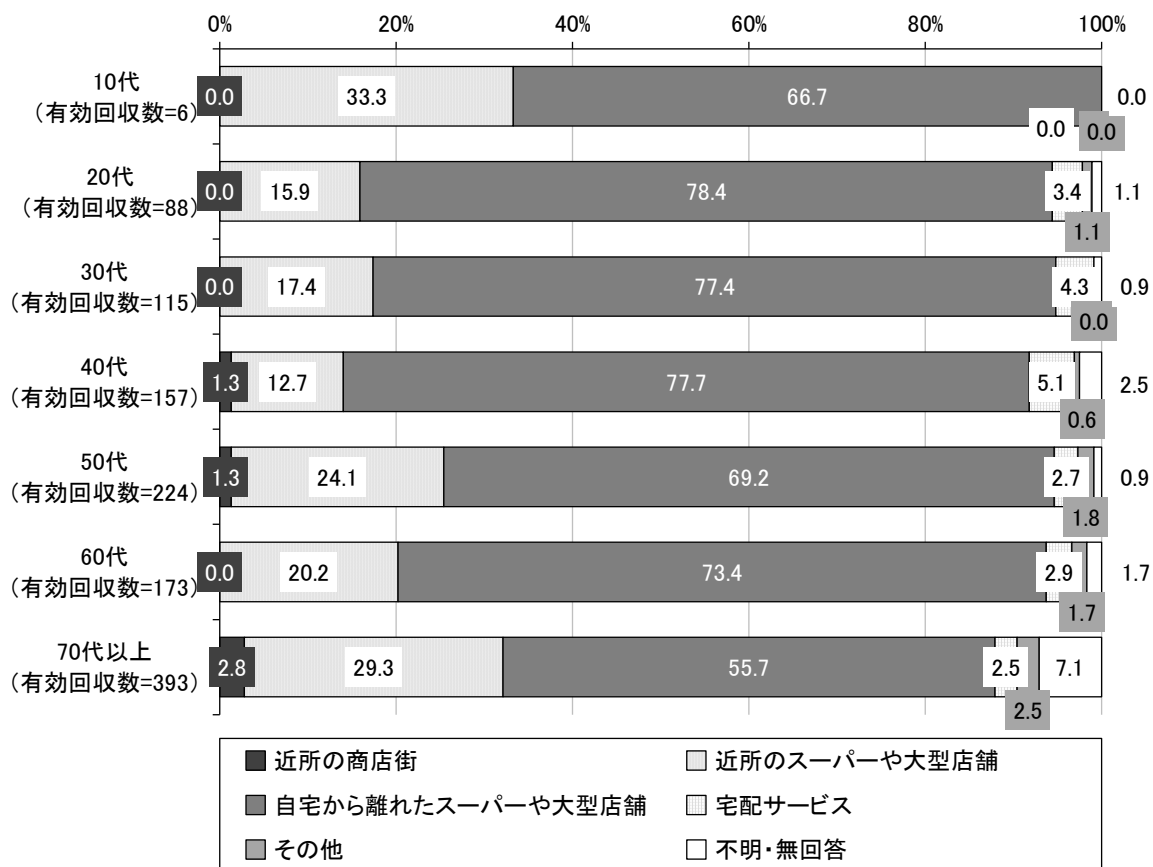
◎買い物先



◎交通手段

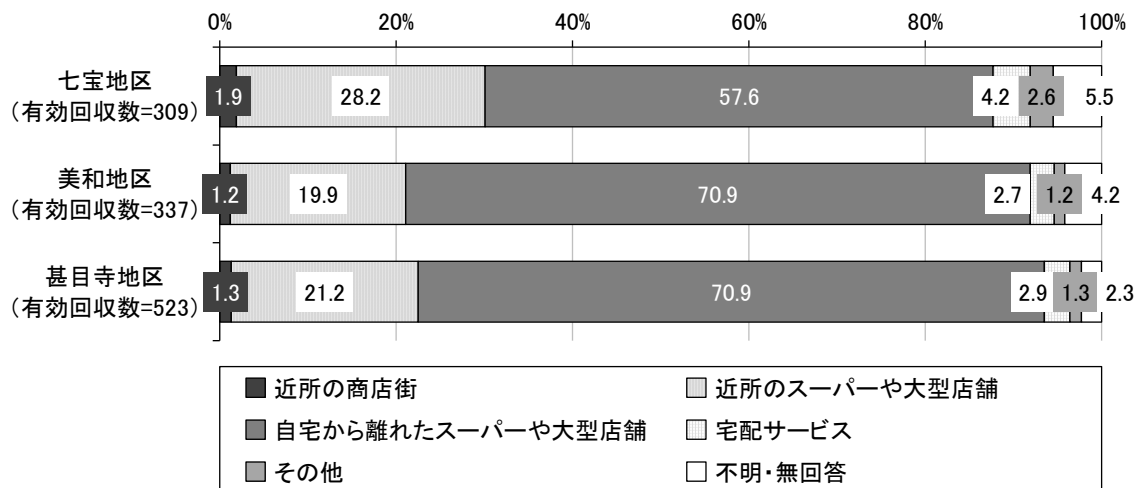


年代別クロス



単位: %	徒歩	自転車	バイク	(自家用車 自分が運転)	(自家用車 他人が運転)	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	2.3	9.1	0.0	46.6	23.9	0.0	11.4	0.0	3.4	3.4
30代(有効回収数=115)	1.7	5.2	0.0	67.8	20.0	0.9	1.7	0.0	0.9	1.7
40代(有効回収数=157)	2.5	2.5	0.6	75.8	12.7	0.0	0.6	0.0	3.2	1.9
50代(有効回収数=224)	0.9	3.1	0.0	79.0	12.1	0.0	1.3	0.0	2.7	0.9
60代(有効回収数=173)	1.2	3.5	0.0	76.3	13.9	0.0	0.0	0.0	4.0	1.2
70代以上(有効回収数=393)	3.8	9.9	0.0	47.6	25.2	1.0	1.3	1.5	3.3	6.4

地区別クロス



単位: %	徒歩	自転車	バイク	（自家用車 自分が運転）	（自家用車 他の人が運転）	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	2.9	8.1	0.0	58.9	19.1	1.9	0.0	0.3	4.9	3.9
美和地区（有効回収数=337）	3.0	5.3	0.3	62.6	19.0	0.0	3.0	1.2	1.5	4.2
甚目寺地区（有効回収数=523）	2.1	5.2	0.0	66.3	18.4	0.0	2.3	0.2	2.9	2.7

【3通院先について】（それぞれ〇は1つだけ）

通院先についてみると、「開業医」が64.5%と最も高く、次いで「市外の総合病院」が12.3%、「市民病院」が6.2%となっています。

通院頻度〔開業医〕についてみると、「1回」が60.6%と最も高く、次いで「2回」が9.6%、「1回未満」が7.9%となっています。

通院頻度〔市外の総合病院〕についてみると、「1回」が44.1%と最も高く、次いで「1回未満」が21.4%、「2回」が11.7%となっています。

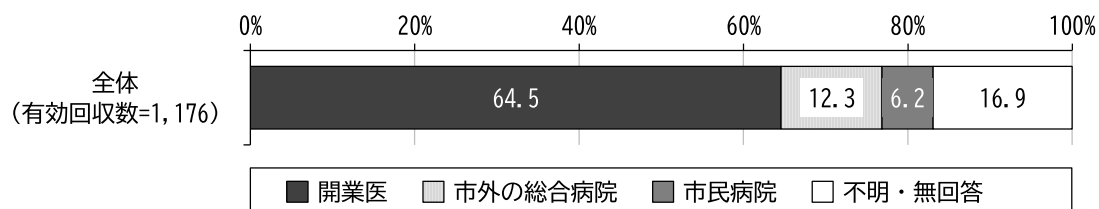
通院頻度〔市民病院〕についてみると、「1回」が39.7%と最も高く、次いで「1回未満」が17.8%、「2回」が8.2%となっています。

交通手段についてみると、「自家用車（自分が運転）」が59.9%と最も高く、次いで「自転車」が10.5%、「自家用車（他の人が運転）」が9.0%となっています。

年代別にみると、通院先は〔10代〕で「市民病院」、〔20代〕以上で「開業医」が最も高くなっています。通院頻度では、〔開業医〕はすべての年代で「1回」、〔市外の総合病院〕は〔10代〕〔30代〕を除いた全ての年代で「1回」、〔30代〕では「1回未満」「1回」が同率で高くなっています。〔市民病院〕は〔10代〕〔50代〕を除いた年代で「1回」が最も高く、〔50代〕は「1回未満」が最も高くなっています。交通手段は〔10代〕で「自転車」「自家用車（他の人が運転）」が同率で高くなっています。〔20代〕以上で「自家用車（自分が運転）」がそれぞれ最も高くなっています。

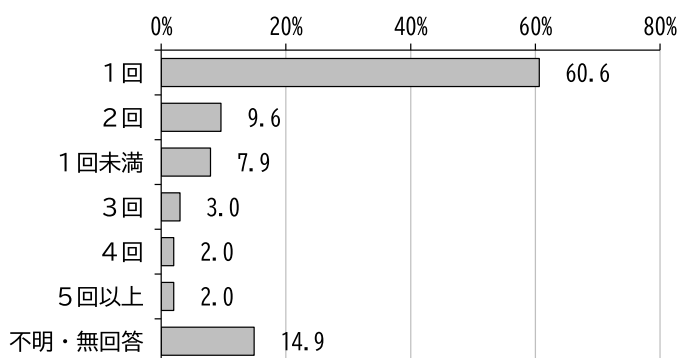
地区別にみると、通院先はすべての地区で「開業医」、通院頻度は〔開業医〕〔市外の総合病院〕〔市民病院〕ともにすべての地区で「1回」、交通手段はすべての地区で「自家用車（自分が運転）」が最も高くなっています。

◎通院先



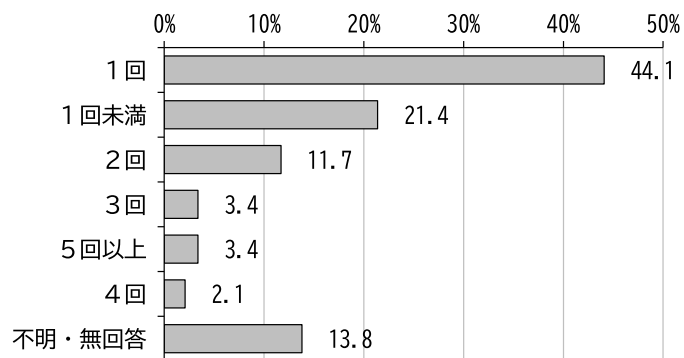
◎通院頻度〔開業医〕（月あたり）

全体（有効回収数=759）



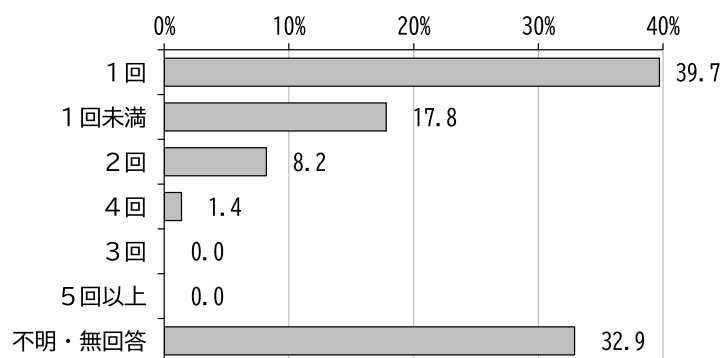
◎通院頻度〔市外の総合病院〕（月あたり）

全体（有効回収数=145）



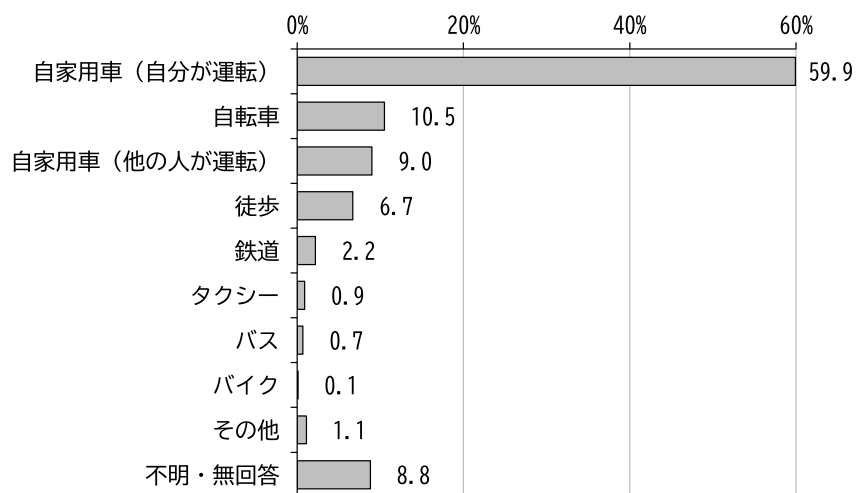
◎通院頻度〔市民病院〕（月あたり）

全体（有効回収数=73）



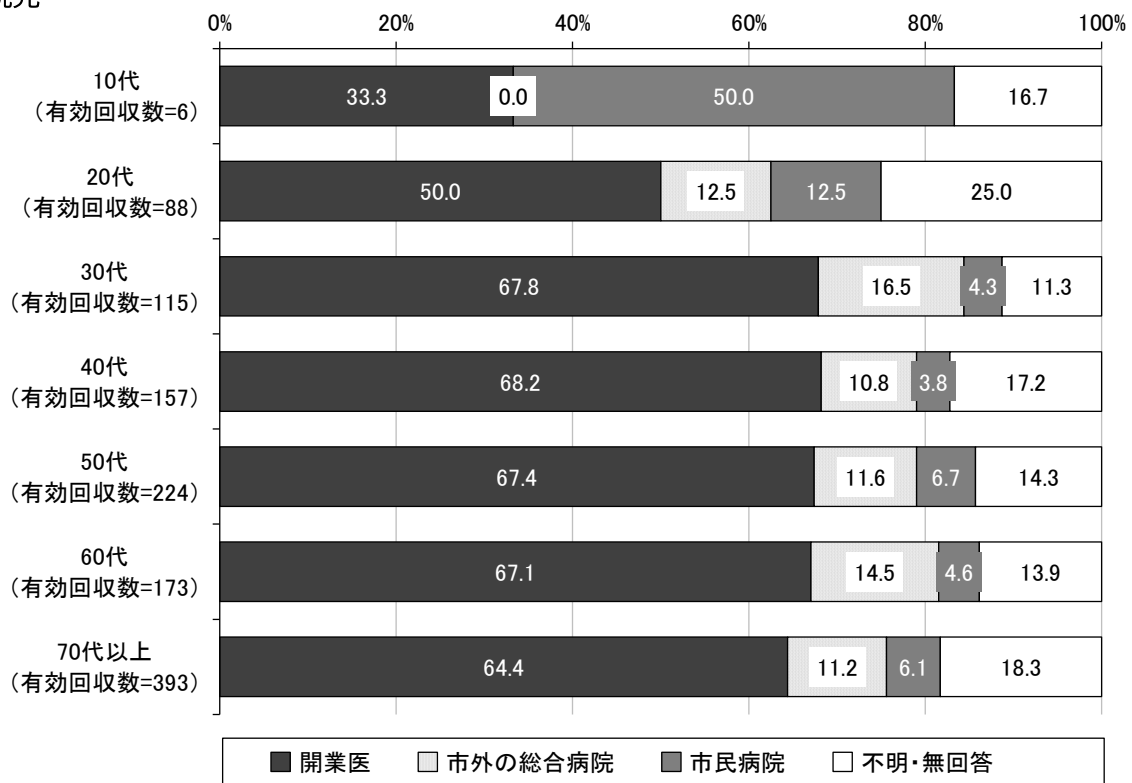
◎交通手段

全体（有効回収数=1,176）



■ 年代別クロス

◎通院先



◎通院頻度〔開業医〕（月あたり）

単位：%	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以 上	不 明 ・ 無 回 答
10代(有効回収数=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=44)	9.1	61.4	6.8	4.5	2.3	2.3	13.6
30代(有効回収数=78)	7.7	53.8	9.0	7.7	2.6	0.0	19.2
40代(有効回収数=107)	8.4	58.9	13.1	1.9	0.9	0.9	15.9
50代(有効回収数=151)	11.9	58.9	3.3	1.3	0.7	2.0	21.9
60代(有効回収数=116)	9.5	60.3	11.2	0.9	1.7	0.9	15.5
70代以上(有効回収数=253)	4.7	65.2	11.5	3.2	2.8	3.6	9.1

◎通院頻度〔市外の総合病院〕（月あたり）

単位：％	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	不 明 ・ 無 回 答
10代（有効回収数=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（有効回収数=11）	18.2	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
30代（有効回収数=19）	31.6	31.6	21.1	0.0	0.0	5.3	10.5
40代（有効回収数=17）	11.8	52.9	11.8	0.0	0.0	5.9	17.6
50代（有効回収数=26）	26.9	42.3	3.8	7.7	7.7	0.0	11.5
60代（有効回収数=25）	12.0	36.0	12.0	0.0	0.0	8.0	32.0
70代以上（有効回収数=44）	25.0	47.7	11.4	4.5	2.3	2.3	6.8

◎通院頻度〔市民病院〕（月あたり）

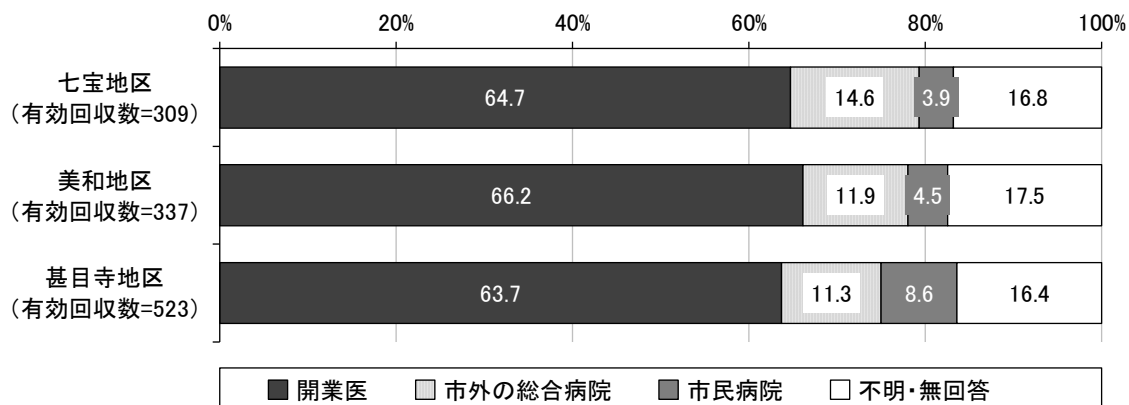
単位：％	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	不 明 ・ 無 回 答
10代（有効回収数=3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20代（有効回収数=11）	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4
30代（有効回収数=5）	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
40代（有効回収数=6）	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
50代（有効回収数=15）	26.7	20.0	13.3	0.0	0.0	0.0	40.0
60代（有効回収数=8）	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
70代以上（有効回収数=24）	25.0	45.8	8.3	0.0	4.2	0.0	16.7

◎交通手段

単位：%	徒歩	自転車	バイク	（自家用車 （自分が運転）	（自家用車 （他の人が運転）	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（有効回収数=88）	3.4	13.6	0.0	48.9	15.9	0.0	2.3	0.0	2.3	13.6
30代（有効回収数=115）	7.0	7.0	0.0	65.2	7.8	0.9	4.3	0.0	0.0	7.8
40代（有効回収数=157）	3.8	4.5	0.6	77.1	2.5	0.6	1.3	0.0	1.9	7.6
50代（有効回収数=224）	4.5	7.6	0.0	74.1	4.0	0.0	1.8	0.0	0.4	7.6
60代（有効回収数=173）	5.8	9.2	0.0	72.8	2.9	1.2	2.3	0.0	0.6	5.2
70代以上（有効回収数=393）	9.9	15.8	0.0	42.0	15.5	1.0	2.3	2.3	1.5	9.7

■ 地区別クロス

◎通院先



◎通院頻度〔開業医〕（月あたり）

単位：％	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以 上	不 明 ・ 無 回 答
七宝地区（有効回収数=200）	6.0	64.0	8.5	2.0	2.0	2.5	15.0
美和地区（有効回収数=223）	8.1	61.9	10.3	3.6	2.7	1.8	11.7
甚目寺地区（有効回収数=333）	9.0	57.7	9.6	3.3	1.5	1.8	17.1

◎通院頻度〔市外の総合病院〕（月あたり）

単位：％	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以 上	不 明 ・ 無 回 答
七宝地区（有効回収数=45）	15.6	51.1	13.3	2.2	0.0	2.2	15.6
美和地区（有効回収数=40）	22.5	32.5	15.0	5.0	2.5	7.5	15.0
甚目寺地区（有効回収数=59）	25.4	45.8	8.5	3.4	3.4	1.7	11.9

◎通院頻度〔市民病院〕（月あたり）

単位：％	1 回 未 満	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以 上	不 明 ・ 無 回 答
七宝地区（有効回収数=12）	8.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	41.7
美和地区（有効回収数=15）	6.7	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7
甚目寺地区（有効回収数=45）	24.4	37.8	11.1	0.0	2.2	0.0	24.4

◎交通手段

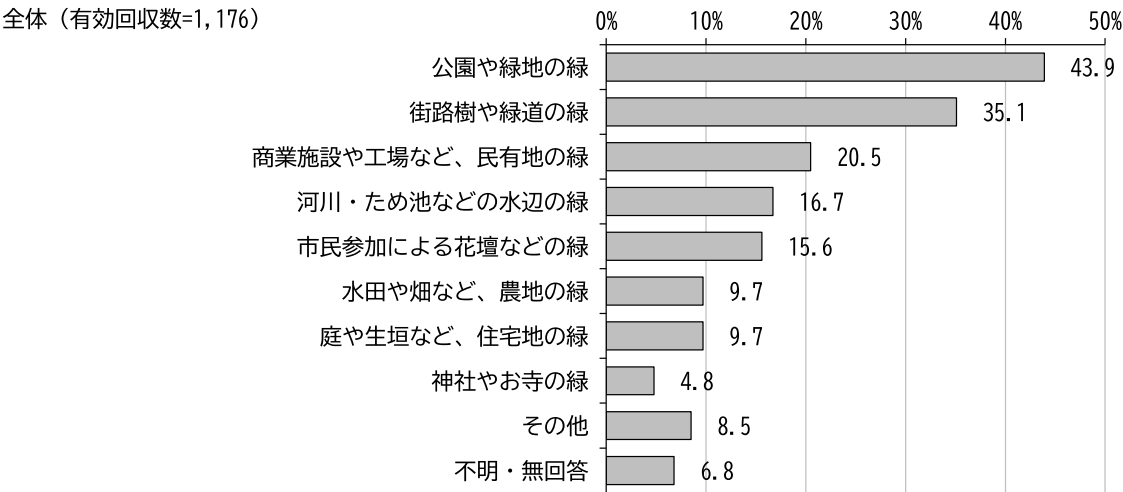
単位：％	徒歩	自転車	バイク	（自家用車 （自分が運転）	（自家用車 （他の人が運転）	バス	鉄道	タクシー	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	6.8	12.6	0.0	54.7	12.9	2.6	0.0	1.0	1.3	8.1
美和地区（有効回収数=337）	5.6	10.4	0.3	61.7	8.3	0.0	2.7	1.2	0.9	8.9
甚目寺地区（有効回収数=523）	7.3	9.4	0.0	62.1	7.3	0.0	3.3	0.6	1.1	9.0

問 13 あなたのお住まいの地域で不足していると思う緑は何ですか。(主なものを3つまで○)

不足している緑についてみると、「公園や緑地の緑」が 43.9%と最も高く、次いで「街路樹や緑道の緑」が 35.1%、「商業施設や工場など、民有地の緑」が 20.5%となっています。

年代別にみると、〔10代〕では「公園や緑地の緑」「商業施設や工場など、民有地の緑」が同率で高く、〔20代〕以上では「公園や緑地の緑」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「公園や緑地の緑」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位: %	公園 や緑地 の緑	河川・ ため池 などの 緑	街路 樹や 緑道 の緑	水田 や畑 など、 農地 の緑	神社 やお寺 の緑	庭や 生垣 など、 住宅 地の 緑	商業 施設 や工 場な ど、 民有 地の 緑	市民 参加 によ る花 壇な どの 緑	その他	不明・ 無回 答
10代(有効回収数=6)	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	48.9	21.6	36.4	10.2	8.0	8.0	27.3	9.1	8.0	1.1
30代(有効回収数=115)	56.5	11.3	32.2	13.9	5.2	3.5	27.8	11.3	7.0	2.6
40代(有効回収数=157)	48.4	17.2	31.2	10.2	5.7	9.6	21.7	12.7	7.6	4.5
50代(有効回収数=224)	45.5	14.7	38.4	9.4	4.9	8.0	21.4	12.1	9.8	4.5
60代(有効回収数=173)	47.4	20.8	45.7	6.4	2.9	8.1	19.7	11.0	6.9	4.6
70代以上(有効回収数=393)	35.6	16.8	31.3	8.9	4.6	13.2	16.0	23.4	9.9	11.5

■ 地区別クロス

単位：％	公園や緑地の緑	水河川・ため池などの緑	街路樹や緑道の緑	緑水田や畑など、農地の緑	神社やお寺の緑	庭や生垣など、住宅地の緑	商業施設や工場など、民有地の緑	市民参加による花壇などの緑	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	48.2	16.5	35.6	5.8	6.1	7.4	18.8	17.5	7.1	5.8
美和地区(有効回収数=337)	40.9	15.4	34.4	12.5	5.3	10.1	18.1	18.1	9.5	7.7
甚目寺地区(有効回収数=523)	43.4	17.8	35.2	10.3	3.8	10.9	23.3	12.6	8.8	6.7

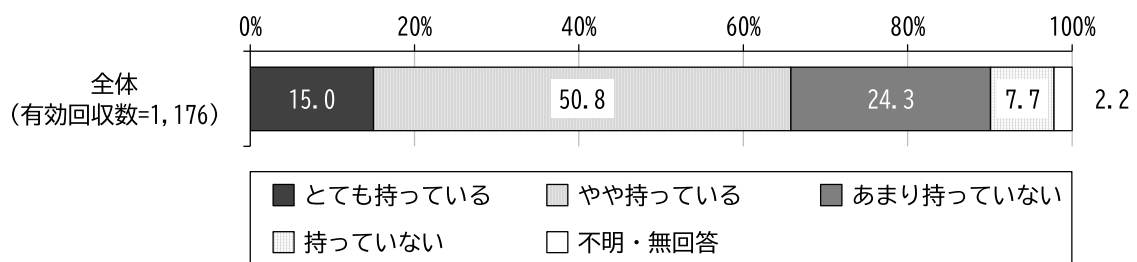
6 あま市への愛着度・定住意向について

問 14 あま市に誇りや愛着を持っていますか。(○は1つだけ)

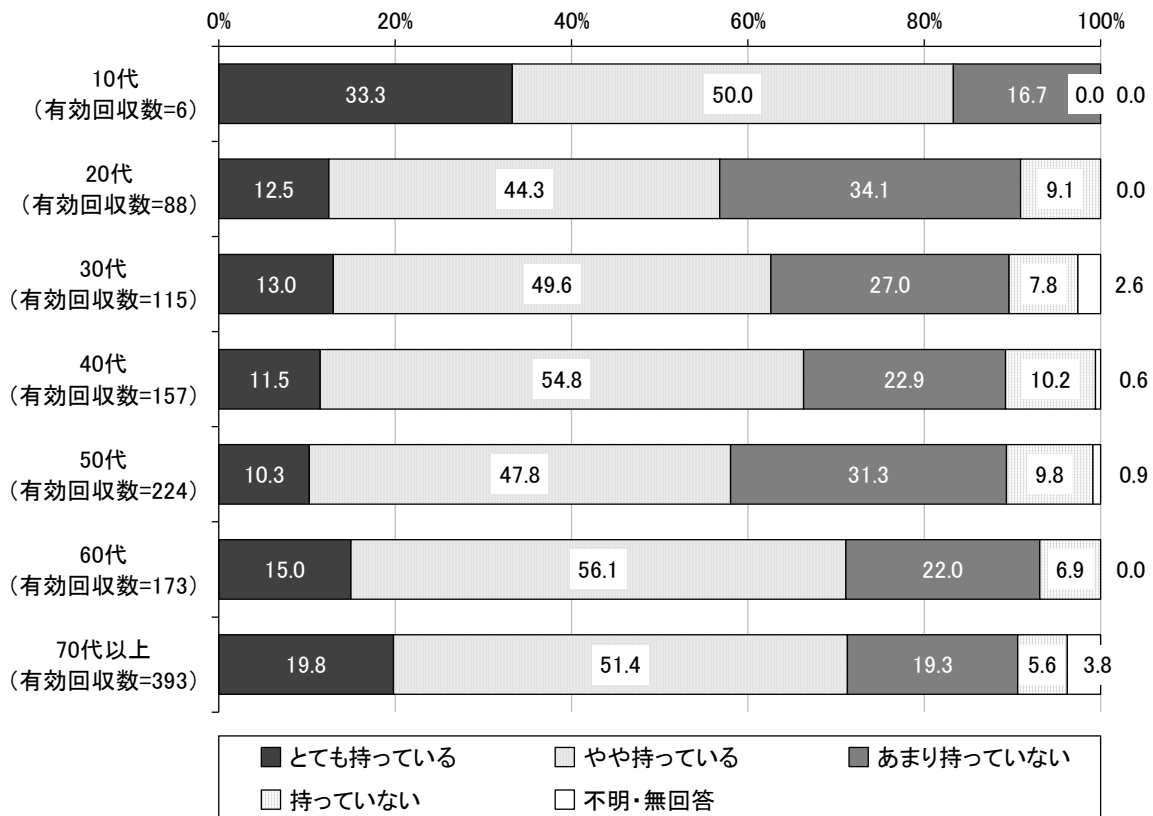
あま市への誇りや愛着についてみると、「やや持っている」が 50.8%と最も高く、次いで「あまり持っていない」が 24.3%、「とても持っている」が 15.0%となっています。「愛着を持っている人」（「とても持っている」＋「やや持っている」）は 65.8%となっています。一方、「愛着を持っていない人」（「持っていない」＋「あまり持っていない」）は 32.0%となっています。

年代別にみると、「愛着を持っている人」は〔10代〕及び〔60代〕以上で7割を超え、〔20代〕～〔50代〕では5割台半ばから6割台半ばとなっています。

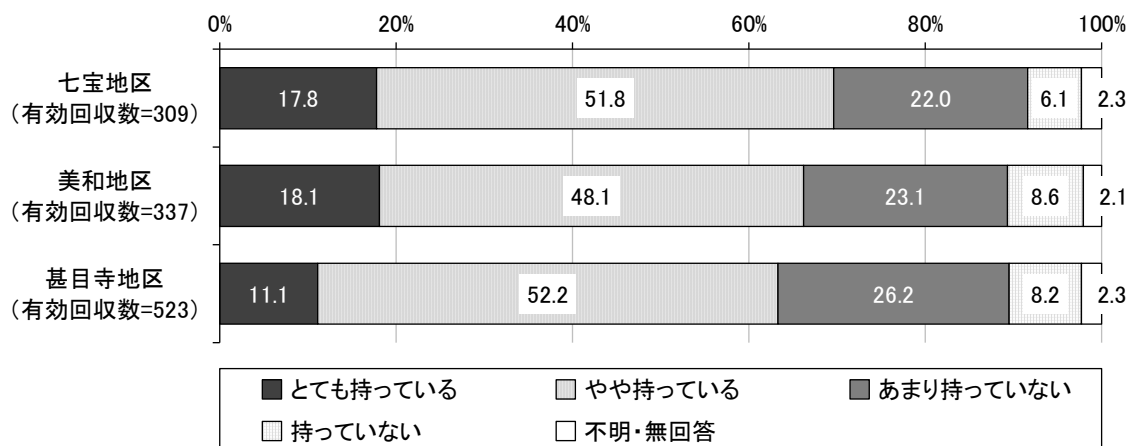
地区別にみると、「愛着を持っている人」は〔七宝地区〕が 69.6%と他の地区に比べ高くなっています。



■ 年代別クロス

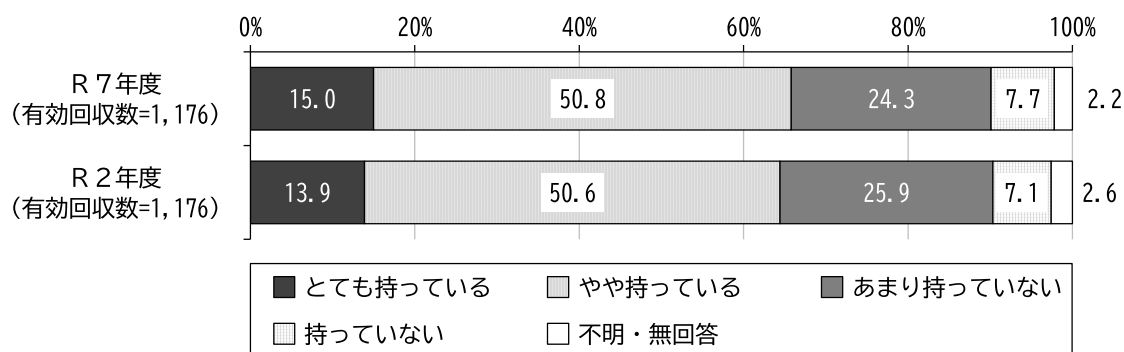


■ 地区別クロス



■ 令和2年度調査との比較

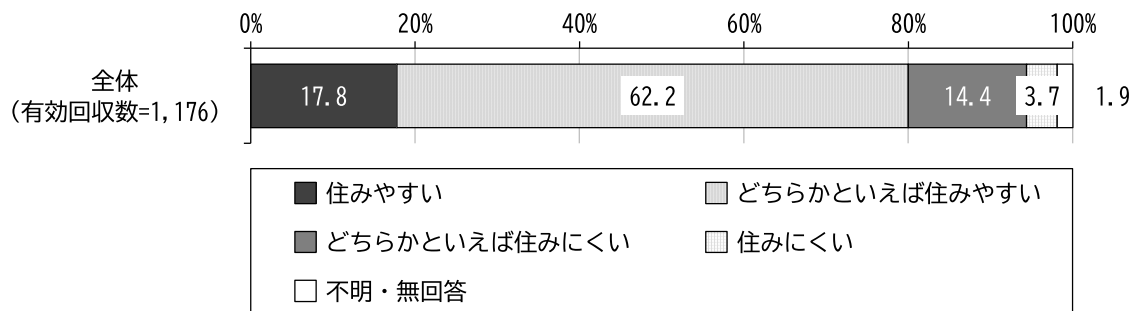
令和2年度調査と比較すると、特に大きな違いはみられませんでした。



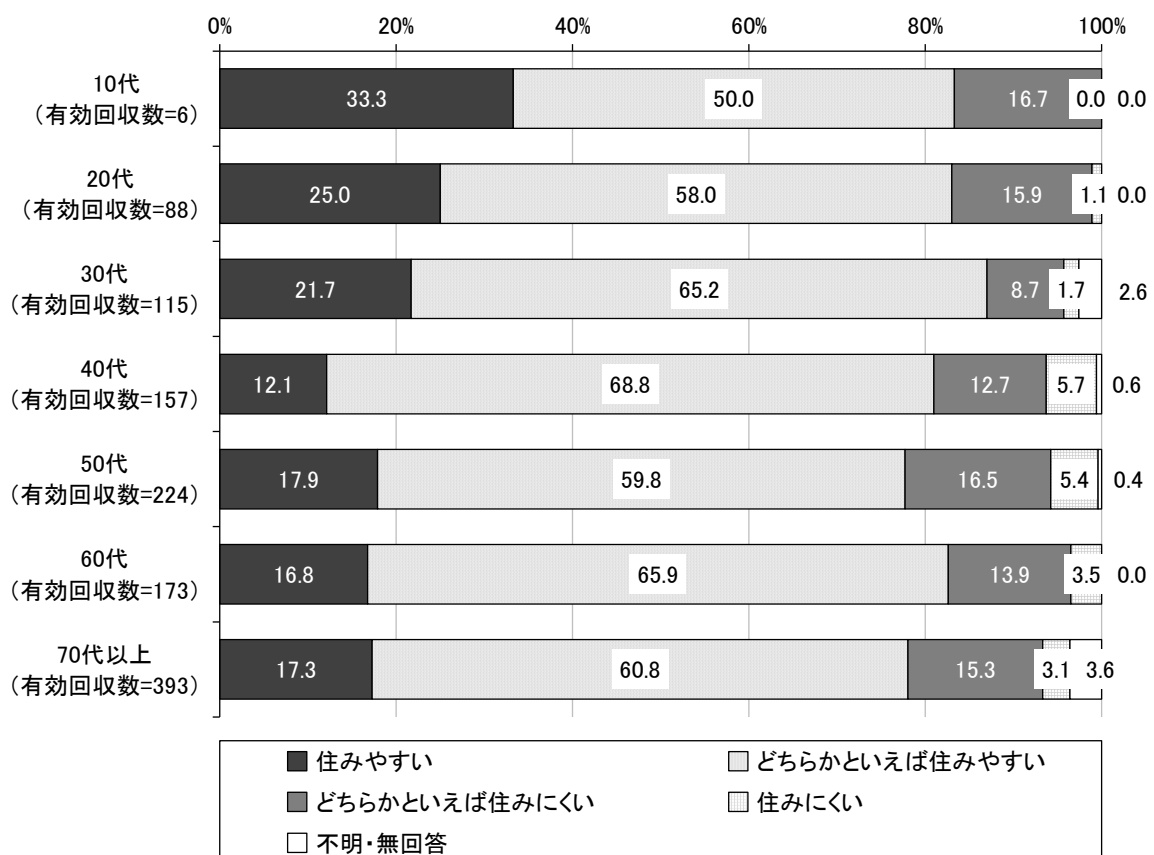
問 15 あなたは、あま市が住みやすい市だと思いますか。(○は1つだけ)

住みやすさについてみると、「どちらかといえば住みやすい」が 62.2%と最も高く、次いで「住みやすい」が 17.8%、「どちらかといえば住みにくい」が 14.4%となっています。「住みやすいと思う人」（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）は 80.0%となっています。一方、「住みにくいと思う人」（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）は 18.1%となっています。

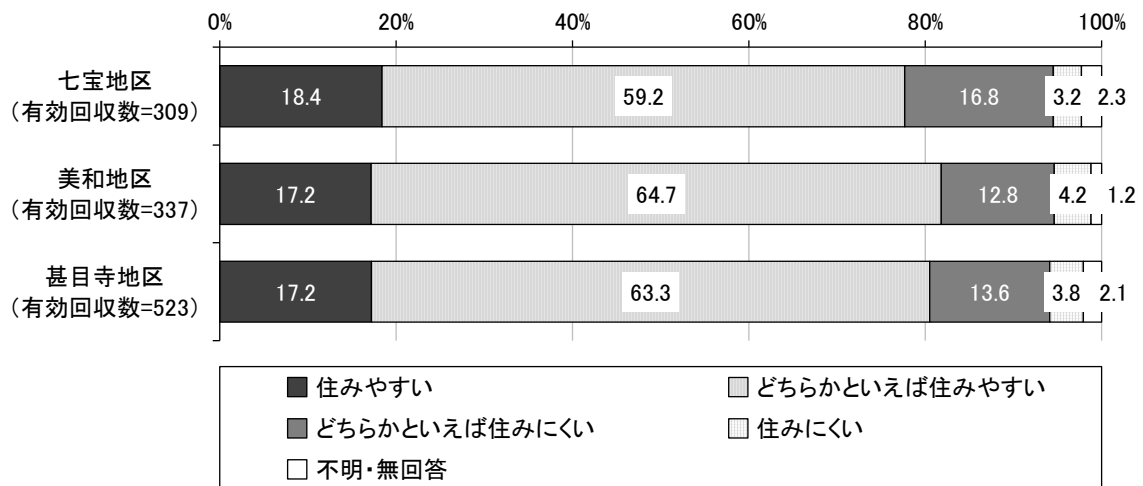
年代別にみると、〔30 代〕は「住みやすいと思う人」が 86.9%と他の年代に比べ高くなっています。地区別にみると、〔美和地区〕は「住みやすいと思う人」が 81.9%と他の地区に比べ高くなっています。



■ 年代別クロス



地区別クロス

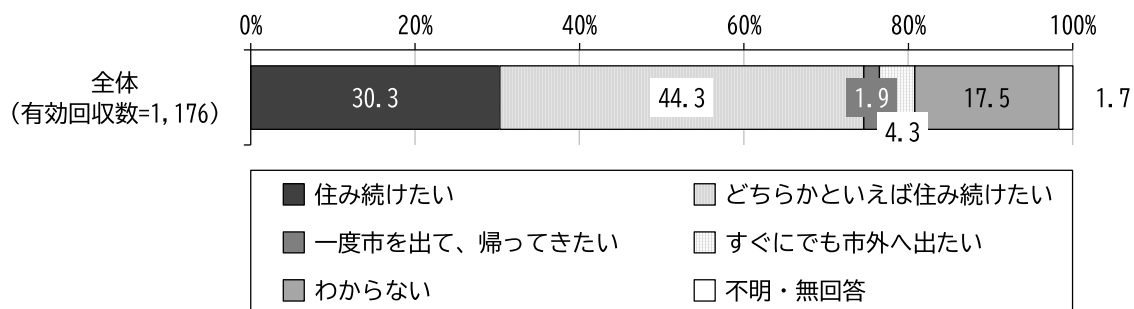


問 16 あなたは、今後もあま市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

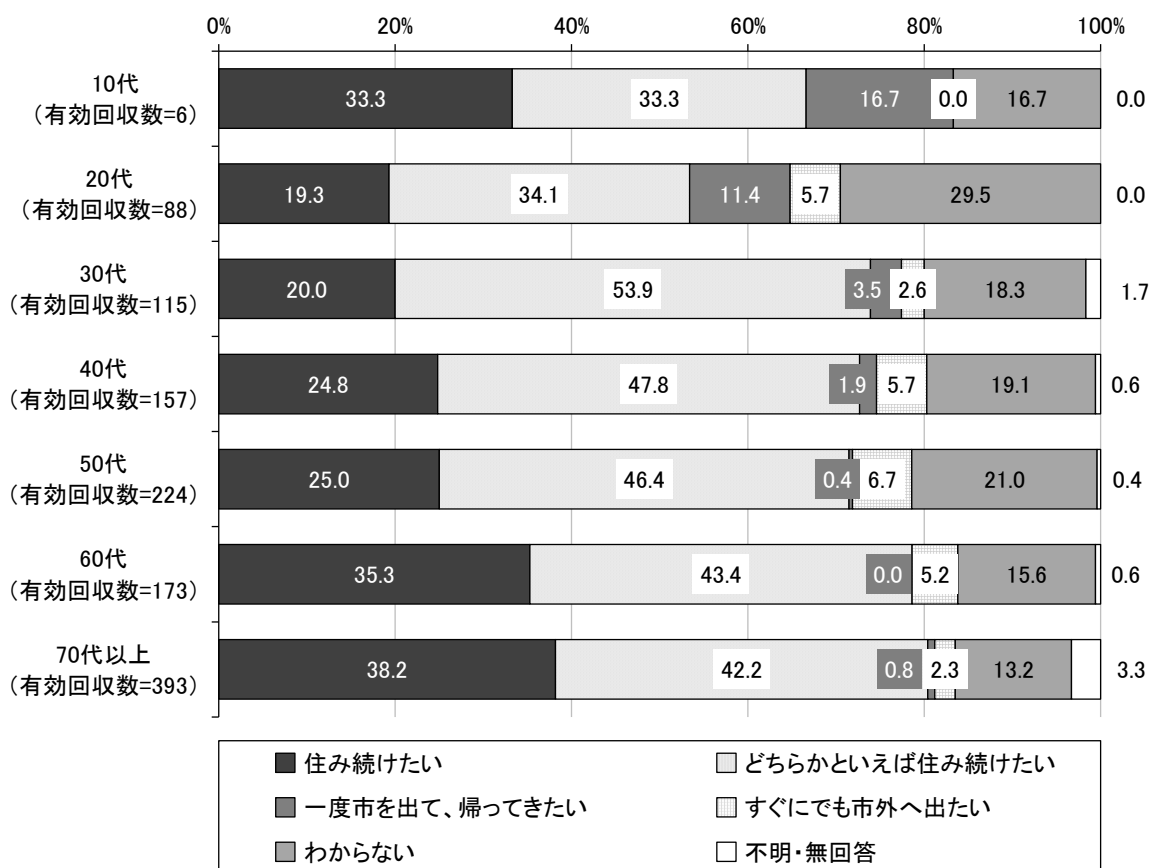
今後の居住意向についてみると、「どちらかといえば住み続けたい」が44.3%と最も高く、次いで「住み続けたい」が30.3%、「わからない」が17.5%となっています。“住み続けたいと思う人”(「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)は、74.6%となっています。

年代別にみると、“住み続けたいと思う人”は〔70代〕以上で80.4%と8割を超え他の年代と比較して最も高くなっています。

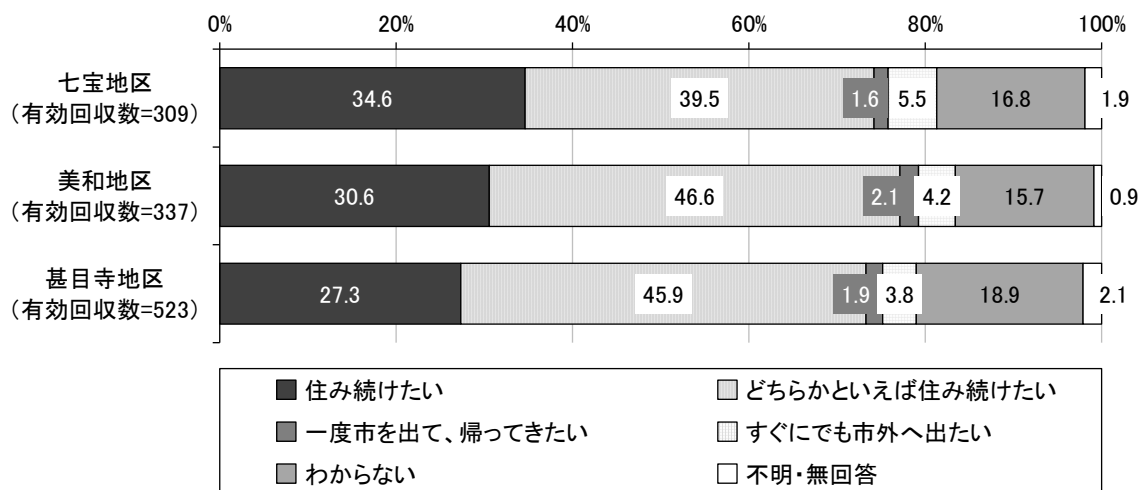
地区別にみると、“住み続けたいと思う人”は〔美和地区〕で77.2%と他の地区と比較して最も高くなっています。



■ 年代別クロス



地区別クロス

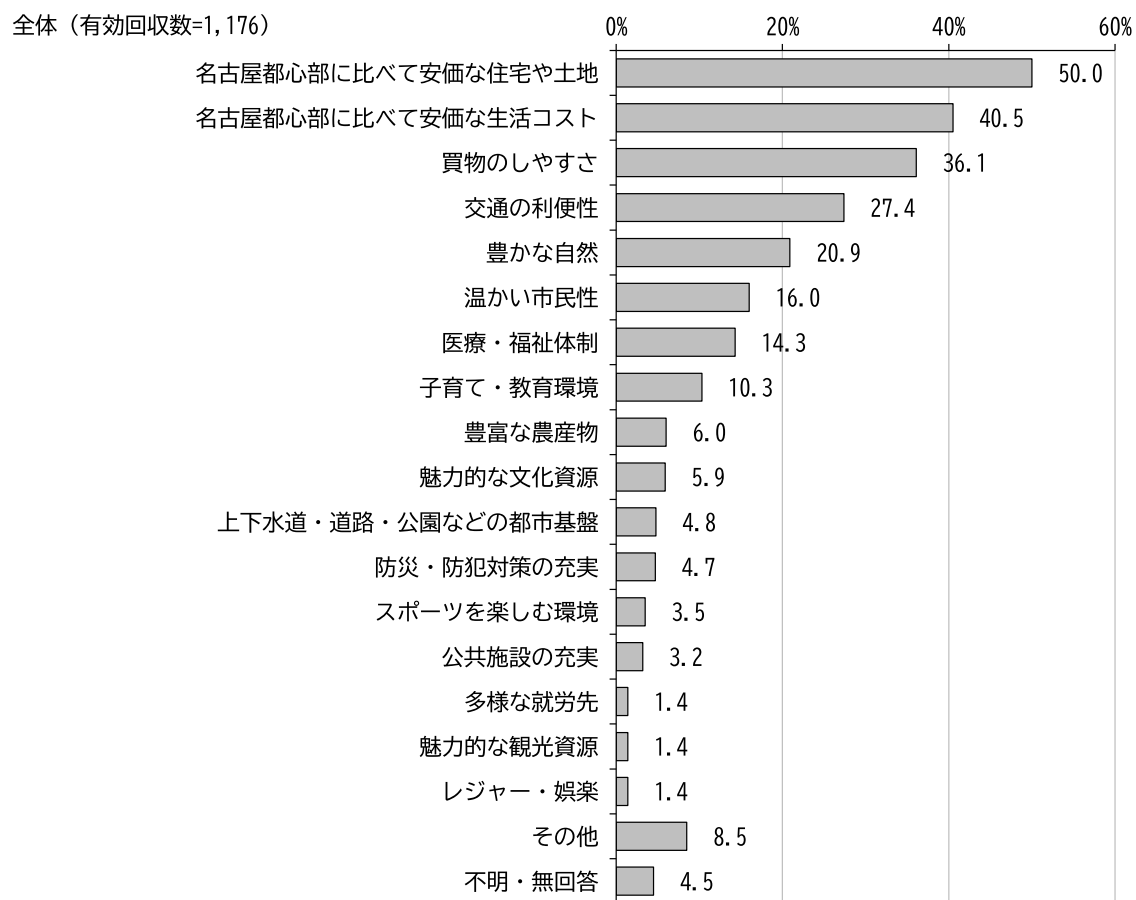


問 17 あま市で暮らしていてどのような点に魅力を感じますか。(主なもの5つまで○)

魅力を感じる点についてみると、「名古屋都心部に比べて安価な住宅や土地」が 50.0%と最も高く、次いで「名古屋都心部に比べて安価な生活コスト」が 40.5%、「買物のしやすさ」が 36.1%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「豊かな自然」、〔20 代〕で「名古屋都心部に比べて安価な生活コスト」、〔30 代〕～〔60 代〕で「名古屋都心部に比べて安価な住宅や土地」、〔70 代以上〕で「買物のしやすさ」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「名古屋都心部に比べて安価な住宅や土地」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：%	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
10代(有効回収数=6)	33.3	16.7	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	6.8	2.3	8.0	1.1	9.1	0.0	34.1	1.1	4.5	1.1
30代(有効回収数=115)	22.6	2.6	6.1	4.3	16.5	0.9	31.3	0.9	0.9	1.7
40代(有効回収数=157)	14.6	1.3	11.5	5.1	14.6	1.9	33.1	3.8	0.6	1.3
50代(有効回収数=224)	7.1	1.3	10.7	7.6	17.4	4.0	33.5	0.9	1.8	1.8
60代(有効回収数=173)	8.1	5.2	11.6	7.5	24.3	7.5	37.0	1.2	0.0	1.2
70代以上(有効回収数=393)	8.4	8.4	22.1	5.9	27.5	11.2	40.7	1.0	1.5	1.5

単位：%	スポーツを楽しむ環境	交通の利便性	名古屋都市部に比べて 安価な住宅や土地	名古屋都市部に比べて 安価な生活コスト	上下水道・道路・公園 などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	3.4	30.7	51.1	53.4	1.1	6.8	10.2	10.2	3.4
30代(有効回収数=115)	1.7	29.6	68.7	46.1	5.2	0.9	13.0	5.2	1.7
40代(有効回収数=157)	1.3	31.2	62.4	39.5	1.3	1.9	16.6	9.6	3.2
50代(有効回収数=224)	1.3	26.3	53.6	36.6	3.6	2.2	11.2	12.9	2.2
60代(有効回収数=173)	2.3	32.4	53.2	46.8	4.0	1.7	13.3	8.1	3.5
70代以上(有効回収数=393)	6.6	22.9	36.4	37.4	7.9	4.8	21.6	6.6	7.6

■ 地区別クロス

単位: %	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
七宝地区(有効回収数=309)	10.0	6.1	8.7	3.6	26.5	4.9	30.4	1.3	1.9	1.0
美和地区(有効回収数=337)	5.9	4.5	15.1	6.5	28.8	9.8	33.5	0.9	1.2	2.4
甚目寺地区(有効回収数=523)	13.4	3.6	17.2	6.9	12.6	4.2	41.3	1.9	1.1	1.1

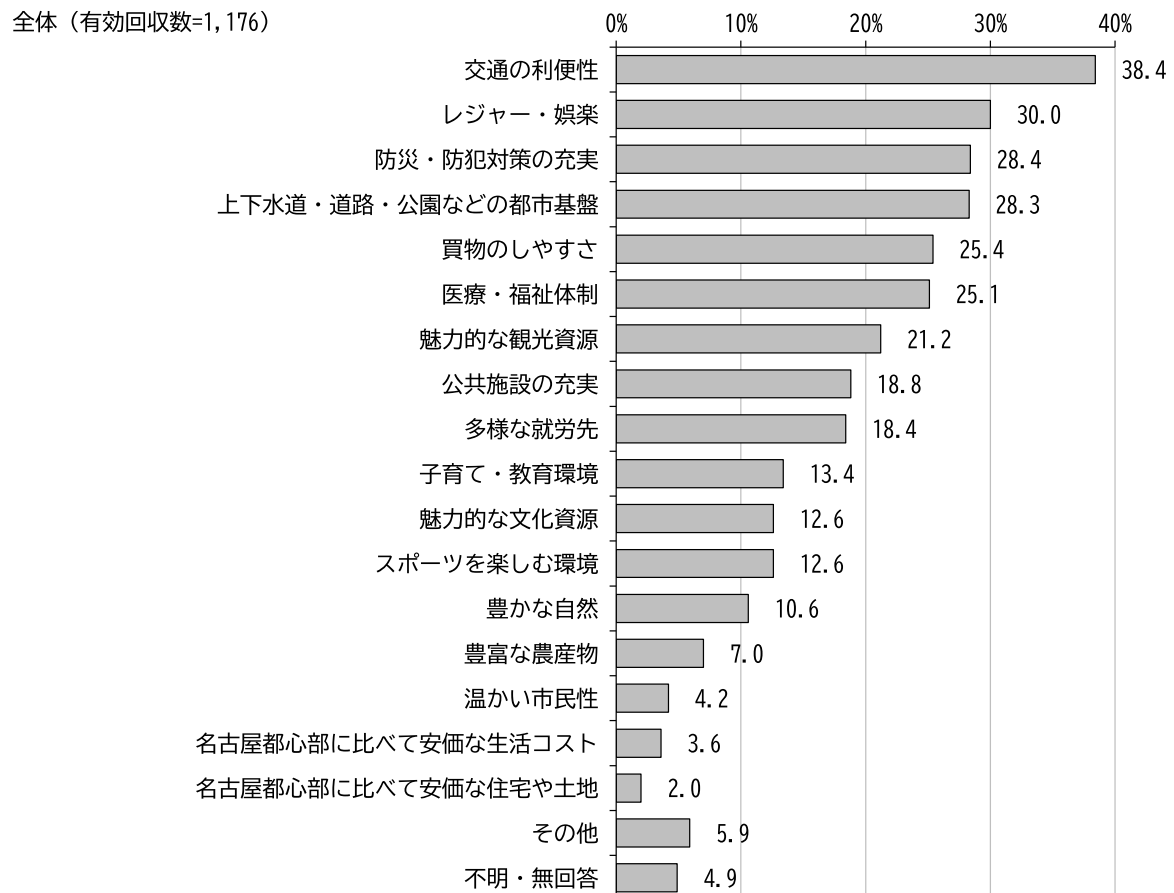
単位: %	スポーツを楽しむ環境	交通の利便性	名古屋都市部に比べて 安価な住宅や土地	名古屋都市部に比べて 安価な生活コスト	上下水道・道路・公園 などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	3.2	18.8	43.0	41.7	5.2	3.2	24.6	9.4	5.8
美和地区(有効回収数=337)	3.3	29.4	53.7	41.5	5.3	3.0	19.0	7.7	3.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	3.6	31.4	51.4	39.0	4.2	3.3	9.0	8.4	4.6

問 18 あま市で暮らしていてどのような点に不足を感じますか。(主なもの5つまで○)

不足を感じる点についてみると、「交通の利便性」が 38.4%と最も高く、次いで「レジャー・娯楽」が 30.0%、「防災・防犯対策の充実」が 28.4%となっています。

年代別にみると、〔10代〕及び〔50代〕以上で「交通の利便性」、〔20代〕〔40代〕で「レジャー・娯楽」、〔30代〕で「子育て・教育環境」「レジャー・娯楽」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「交通の利便性」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
10代(有効回収数=6)	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0
20代(有効回収数=88)	15.9	26.1	21.6	9.1	13.6	5.7	23.9	21.6	39.8	19.3
30代(有効回収数=115)	38.3	30.4	23.5	5.2	9.6	8.7	28.7	11.3	38.3	13.9
40代(有効回収数=157)	20.4	33.1	24.2	7.6	11.5	6.4	31.8	25.5	45.2	21.0
50代(有効回収数=224)	8.0	27.7	29.0	10.3	7.1	4.9	25.4	21.0	27.7	18.3
60代(有効回収数=173)	12.7	34.7	27.7	16.2	13.3	9.2	22.0	19.1	30.6	22.0
70代以上(有効回収数=393)	6.4	24.9	23.4	17.6	10.4	7.1	22.9	15.5	21.4	25.7

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の利便性	名古屋都市部に比べて 安価な住宅や土地	名古屋都市部に比べて 安価な生活コスト	上下水道・道路・公園 などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	83.3	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	15.9	31.8	2.3	5.7	17.0	18.2	4.5	4.5	1.1
30代(有効回収数=115)	12.2	29.6	0.9	1.7	23.5	23.5	3.5	7.0	2.6
40代(有効回収数=157)	17.8	38.9	0.6	1.9	27.4	18.5	1.9	5.1	1.9
50代(有効回収数=224)	11.6	43.8	3.1	2.2	30.8	20.1	5.8	7.6	4.0
60代(有効回収数=173)	13.9	37.6	0.6	2.3	32.9	18.5	4.0	6.4	1.2
70代以上(有効回収数=393)	10.2	39.7	2.8	5.3	29.3	17.0	4.6	5.3	9.2

■ 地区別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
七宝地区(有効回収数=309)	11.3	26.2	25.9	12.3	8.4	7.4	25.6	20.4	31.1	22.3
美和地区(有効回収数=337)	13.6	28.2	29.1	13.9	9.2	6.5	33.8	19.3	28.8	21.4
甚目寺地区(有効回収数=523)	14.1	29.6	22.0	12.0	12.6	7.1	19.7	16.6	30.2	20.7

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の利便性	名古屋都市部に比べて 安価な住宅や土地	名古屋都市部に比べて 安価な生活コスト	上下水道・道路・公園 などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	12.3	43.0	1.9	3.2	23.6	24.3	1.9	5.5	4.9
美和地区(有効回収数=337)	13.4	36.8	1.8	2.4	30.0	19.3	5.0	4.7	4.7
甚目寺地区(有効回収数=523)	12.2	37.1	2.1	4.6	29.6	15.5	4.8	6.9	5.2

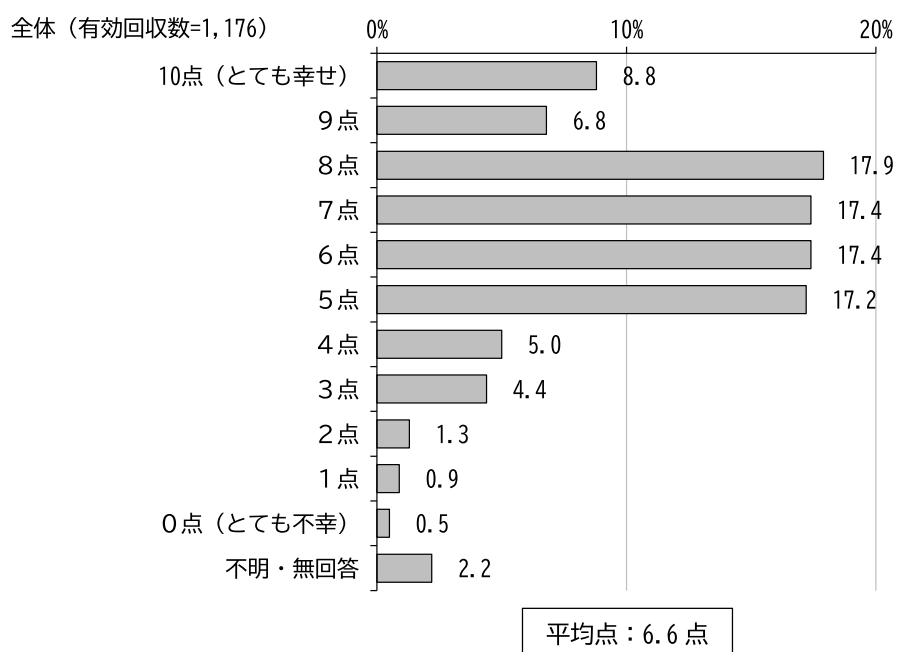
7 幸福感に関する意識について

問 19 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(○は1つだけ)

どの程度幸せかについてみると、「8点」が17.9%と最も高く、次いで「7点」「6点」がともに17.4%となっています。全体の平均点は6.6点となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「8点」「6点」が同率で高く、〔20代〕で「10点」、〔30代〕〔50代〕で「7点」、〔40代〕〔60代〕で「8点」、〔70代以上〕で「6点」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕で「8点」、〔美和地区〕で「8点」「5点」、〔甚目寺地区〕で「7点」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：%	10点 (とても幸せ)	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点 (とても不幸)	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	21.6	11.4	9.1	11.4	14.8	18.2	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
30代(有効回収数=115)	11.3	8.7	12.2	31.3	14.8	12.2	2.6	3.5	0.0	0.9	0.0	2.6
40代(有効回収数=157)	7.6	4.5	21.7	17.2	17.8	17.2	5.1	4.5	0.6	1.3	1.9	0.6
50代(有効回収数=224)	5.4	5.8	17.4	22.3	14.3	19.6	6.3	4.0	2.2	1.3	0.4	0.9
60代(有効回収数=173)	10.4	8.7	24.3	15.6	16.2	12.1	4.6	4.0	0.6	0.6	0.6	2.3
70代以上(有効回収数=393)	6.6	6.4	17.6	13.5	20.9	19.6	4.1	4.8	2.0	0.8	0.3	3.6

平均点 10代：7.5点 20代：7.0点 30代：7.0点 40代：6.4点 50代：6.3点 60代：6.9点 70代以上：6.4点

地区別クロス

単位：%	10点 (とても幸せ)	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点 (とても不幸)	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	7.1	5.2	21.0	17.8	17.5	16.5	5.5	5.2	0.6	1.0	0.3	2.3
美和地区(有効回収数=337)	11.0	5.9	18.4	16.0	17.8	18.4	4.2	3.6	1.5	1.5	0.3	1.5
甚目寺地区(有効回収数=523)	8.2	8.4	15.9	18.2	17.2	16.6	5.4	4.6	1.5	0.6	0.8	2.7

平均点 七宝地区：6.5点 美和地区：6.6点 甚目寺地区：6.5点

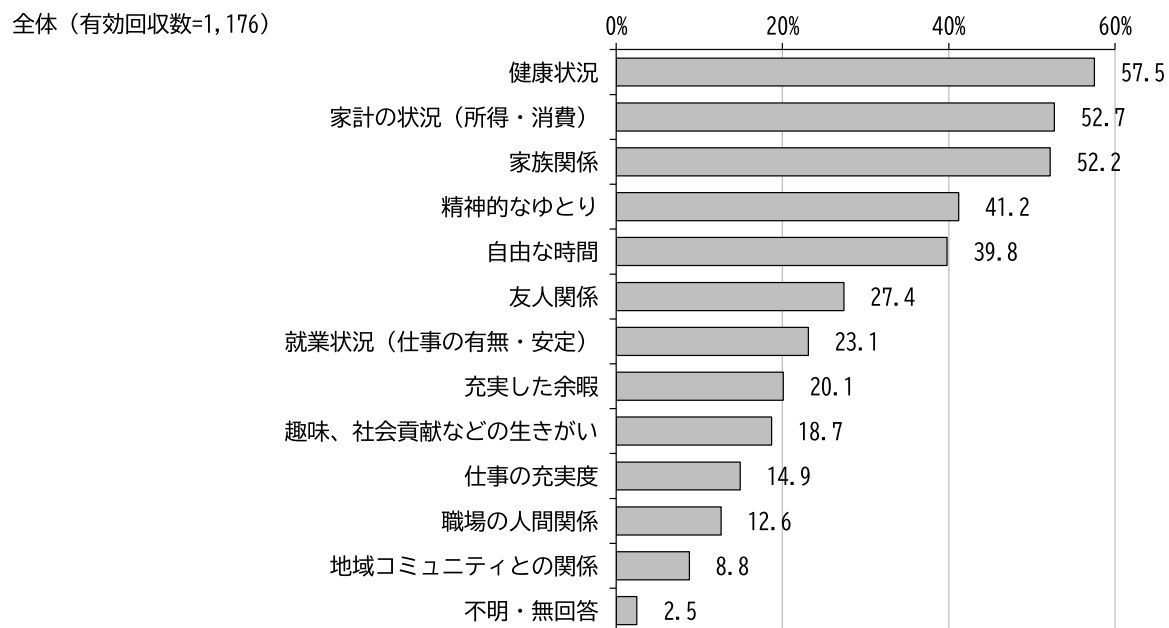
問 20 あなたが問 19 で幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

重視した幸福感についてみると、「健康状況」が 57.5%と最も高く、次いで「家計の状況（所得・消費）」が 52.7%、「家族関係」が 52.2%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「精神的なゆとり」「友人関係」が同率で高く、〔20 代〕で「精神的なゆとり」、〔30 代〕〔50 代〕で「家計の状況（所得・消費）」、〔40 代〕で「家族関係」、60 代以上で「健康状況」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「健康状況」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：％	家計の状況 (所得・消費)	就業状況 (仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0
20代(有効回収数=88)	35.2	21.6	38.6	43.2	31.8	25.0	46.6
30代(有効回収数=115)	60.0	31.3	49.6	37.4	24.3	21.7	44.3
40代(有効回収数=157)	59.2	41.4	49.0	34.4	17.8	23.6	45.9
50代(有効回収数=224)	65.6	30.8	58.0	37.9	20.5	18.8	46.4
60代(有効回収数=173)	56.1	28.9	74.0	34.7	19.1	15.0	43.4
70代以上(有効回収数=393)	43.5	7.6	60.8	45.5	17.0	5.3	32.8

単位：％	生きがい、社会貢献などの	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの関係	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0
20代(有効回収数=88)	26.1	42.0	39.8	13.6	4.5	0.0
30代(有効回収数=115)	15.7	56.5	24.3	20.0	7.0	1.7
40代(有効回収数=157)	22.3	60.5	33.1	21.0	10.8	1.9
50代(有効回収数=224)	20.1	55.4	22.8	16.5	6.3	1.8
60代(有効回収数=173)	19.1	54.9	24.3	14.5	9.2	1.7
70代以上(有効回収数=393)	15.3	48.1	27.5	4.1	10.9	4.1

■ 地区別クロス

単位: %	(家計の状況 所得・消費)	(就業状況 仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり
七宝地区(有効回収数=309)	46.9	17.8	56.3	40.1	17.2	12.3	35.9
美和地区(有効回収数=337)	55.5	24.6	61.7	40.9	23.7	17.2	43.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	54.5	25.6	55.6	38.8	19.7	14.9	43.0

単位: %	趣味、 生きがい、 社会貢献などの	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの 関係	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	15.2	50.2	24.3	9.7	7.8	2.3
美和地区(有効回収数=337)	23.7	51.6	26.7	13.1	10.1	3.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	17.4	53.7	29.8	14.1	8.6	2.1

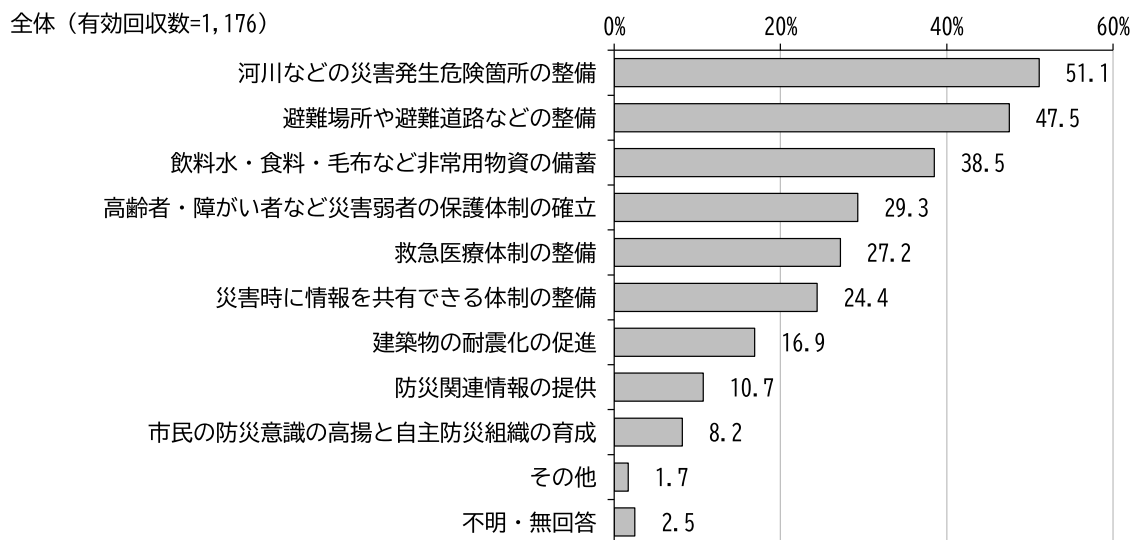
8 防災について

問 21 市の防災対策について、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。
(主なもの3つまで○)

力を入れて取り組むべき防災対策についてみると、「河川などの災害発生危険箇所の整備」が 51.1%と最も高く、次いで「避難場所や避難道路などの整備」が 47.5%、「飲料水・食料・毛布など非常用物資の備蓄」が 38.5%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「河川などの災害発生危険箇所の整備」「飲料水・食料・毛布など非常用物資の備蓄」が同率で高く、〔20代〕で「避難場所や避難道路などの整備」、〔30代〕以上で「河川などの災害発生危険箇所の整備」が最も高くなっています。また〔70代以上〕で「高齢者・障がい者など災害弱者の保護体制の確立」が他の年代に比べて 15 ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔甚目寺地区〕で「河川などの災害発生危険箇所の整備」、〔美和地区〕で「避難場所や避難道路などの整備」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

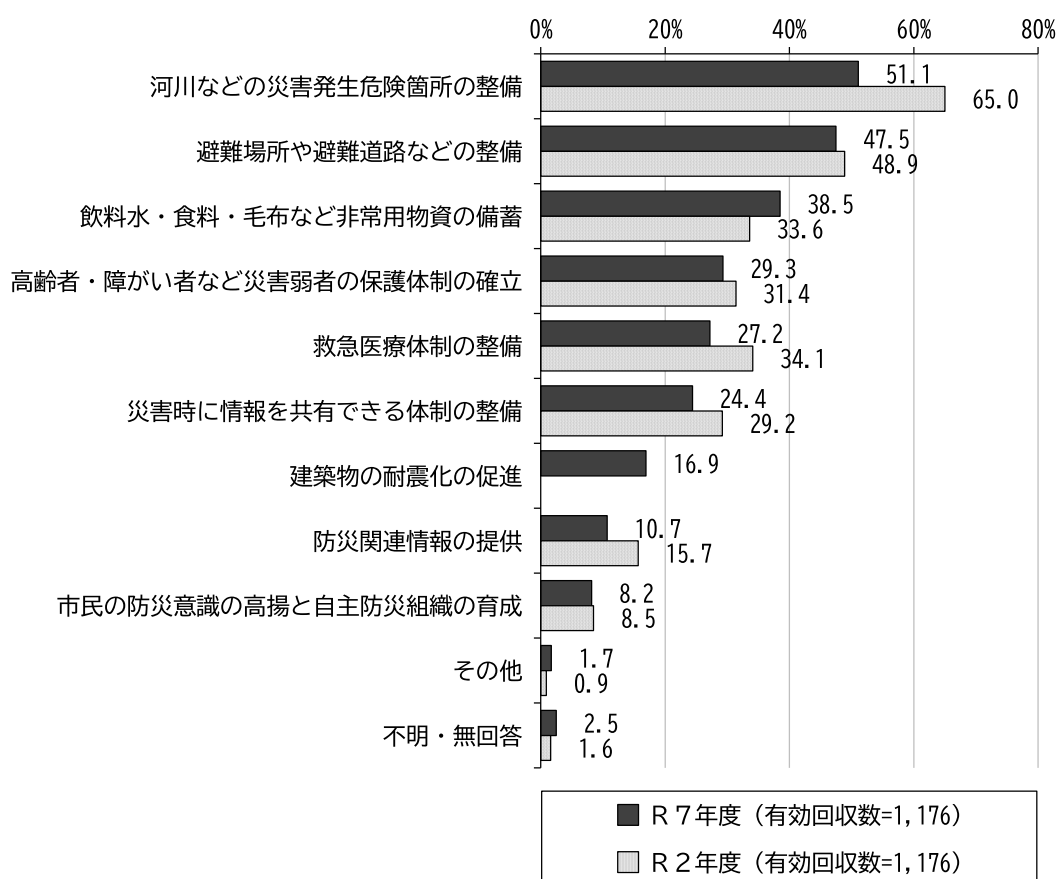
単位: %	河川などの災害発生危険箇所の整備	避難場所や避難道路などの整備	飲料水・食料・毛布など非常用物資の備蓄	防災関連情報の提供	救急医療体制の整備	災害弱者・障がい者など保護体制の確立	建築物の耐震化の促進	災害時に情報を共有できる体制の整備	市民の防災意識の高揚と自主防災組織の育成	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	66.7	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	37.5	51.1	42.0	14.8	26.1	10.2	25.0	17.0	11.4	3.4	0.0
30代(有効回収数=115)	51.3	45.2	49.6	7.8	33.0	10.4	24.3	21.7	6.1	0.9	1.7
40代(有効回収数=157)	58.6	52.2	42.0	6.4	28.7	15.9	21.0	27.4	10.8	0.6	0.6
50代(有効回収数=224)	54.0	46.0	43.8	9.8	30.8	29.5	12.5	26.8	4.9	3.6	1.3
60代(有効回収数=173)	57.2	52.6	34.7	11.6	30.1	28.3	20.2	24.3	8.7	0.6	1.7
70代以上(有効回収数=393)	46.8	45.0	31.8	12.7	22.4	44.8	11.7	24.9	9.2	1.3	4.8

■ 地区別クロス

単位：%	河川などの災害発生危険箇所の整備	避難場所や避難道路などの整備	飲料水・食料・毛布など非常用物資の備蓄	防災関連情報の提供	救急医療体制の整備	高齢者・障がい者など災害弱者の保護体制の確立	建築物の耐震化の促進	災害時に情報を共有できる体制の整備	市民の防災意識の高揚と自主防災組織の育成	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	51.5	46.6	37.9	10.7	29.1	34.3	20.4	21.4	6.5	2.3	1.9
美和地区（有効回収数=337）	49.0	50.1	39.5	8.6	27.3	32.3	13.1	24.9	9.2	2.1	3.3
甚目寺地区（有効回収数=523）	52.2	46.7	38.6	12.0	25.8	24.5	17.2	26.0	8.6	1.1	2.3

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「河川などの災害発生危険箇所の整備」が13.9ポイント、「救急医療体制の整備」が6.9ポイント減少しています。



※「建築物の耐震化の促進」は令和7年度調査のみ

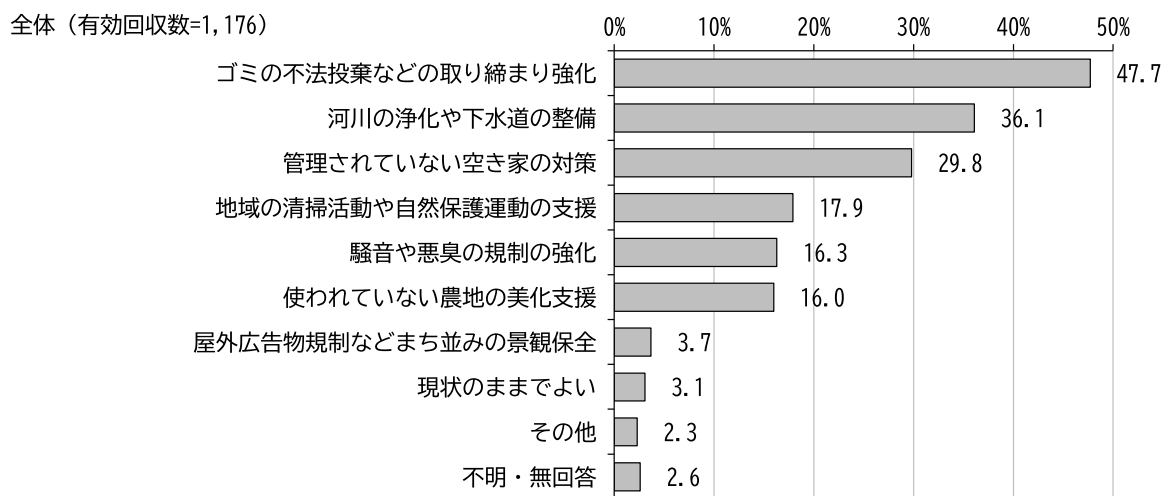
9 生活環境について

問 22 地域の自然環境や生活環境を美しくするため、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なもの2つまで○)

力を入れて取り組むべき自然環境や生活環境についてみると、「ゴミの不法投棄などの取り締まり強化」が47.7%と最も高く、次いで「河川の浄化や下水道の整備」が36.1%、「管理されていない空き家の対策」が29.8%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「地域の清掃活動や自然保護運動の支援」「ゴミの不法投棄などの取り締まり強化」「騒音や悪臭の規制の強化」が同率で高く、〔20代〕以上で「ゴミの不法投棄などの取り締まり強化」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「ゴミの不法投棄などの取り締まり強化」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

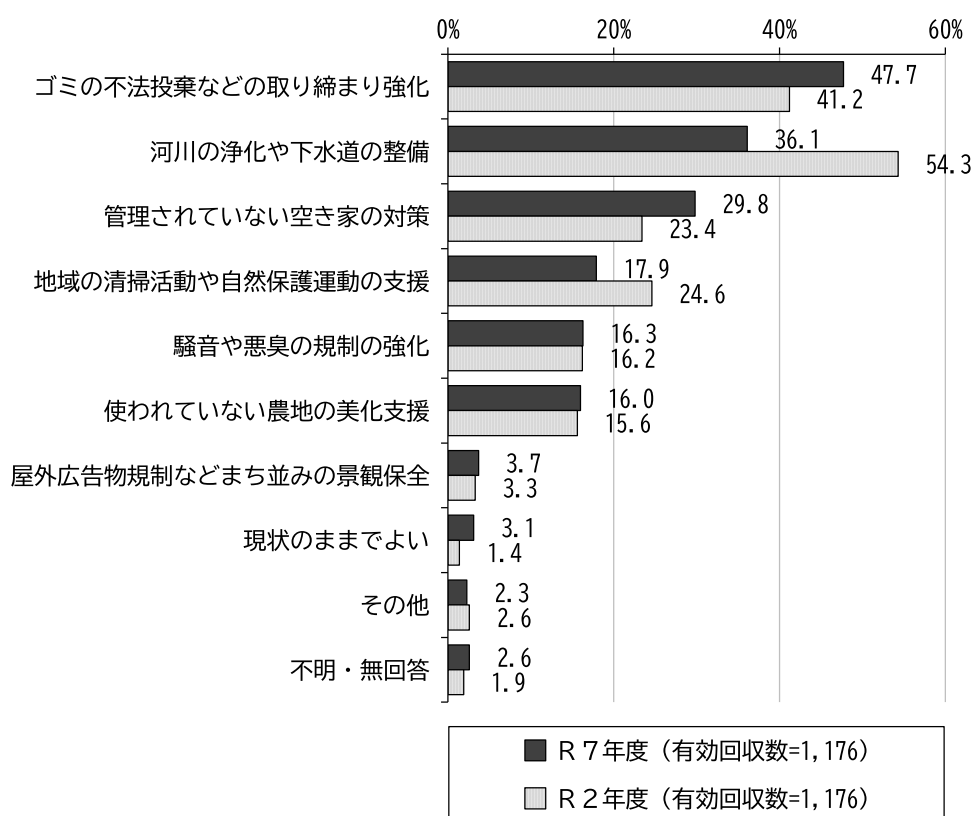
単位：%	地域の清掃活動や自然保護運動の支援	ゴミの不法投棄などの取り締まり強化	河川の浄化や下水道の整備	まち並みの景観保全など屋外広告物の規制	騒音や悪臭の規制の強化	使われていない農地の美化支援	管理されていない空き家の対策	現状のままでよい	その他	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	50.0	50.0	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
20代（有効回収数=88）	17.0	40.9	30.7	1.1	23.9	19.3	29.5	4.5	5.7	0.0
30代（有効回収数=115）	10.4	47.8	28.7	1.7	25.2	14.8	39.1	3.5	2.6	0.9
40代（有効回収数=157）	13.4	49.0	32.5	5.7	19.1	17.8	38.9	2.5	0.6	0.6
50代（有効回収数=224）	13.4	54.0	36.2	2.7	19.6	11.6	28.6	5.4	2.7	1.8
60代（有効回収数=173）	22.0	46.2	41.0	7.5	11.6	15.6	26.6	2.9	2.3	2.9
70代以上（有効回収数=393）	22.9	45.8	39.2	2.8	11.2	17.6	26.2	1.8	1.8	4.6

■ 地区別クロス

単位：%	地域の清掃活動や自然保護運動の支援	ゴミの不法投棄などの取り締まり強化	河川の浄化や下水道の整備	まち並みの景観保全など屋外広告物規制など	騒音や悪臭の規制の強化	使われていない農地の美化支援	管理されていない空き家の対策	現状のままでよい	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	18.4	50.5	35.9	3.6	15.5	15.2	32.0	1.3	1.6	2.6
美和地区(有効回収数=337)	17.8	46.9	34.1	3.3	12.2	22.0	31.2	3.9	1.5	3.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	17.6	47.0	37.9	4.2	19.3	12.0	27.9	3.6	3.3	2.1

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「河川の浄化や下水道の整備」が18.2ポイント、「地域の清掃活動や自然保護運動の支援」が6.7ポイント減少しています。



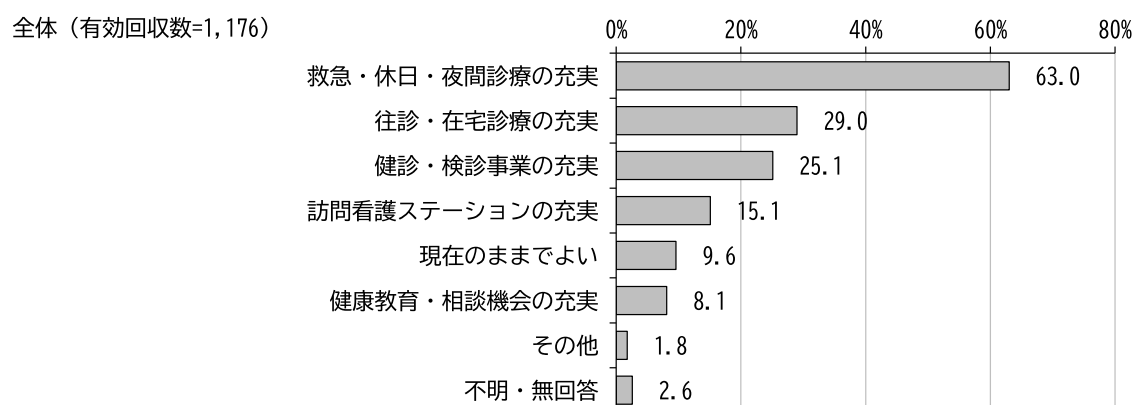
10 健康、保健、医療、福祉について

問 23 保健・医療対策について、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。
(主なもの2つまで○)

力を入れて取り組むべき保健・医療対策についてみると、「救急・休日・夜間診療の充実」が 63.0%と最も高く、次いで「往診・在宅診療の充実」が 29.0%、「健診・検診事業の充実」が 25.1%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「救急・休日・夜間診療の充実」が最も高くなっています。また〔70代以上〕で「往診・在宅診療の充実」が他の年代に比べ高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「救急・休日・夜間診療の充実」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

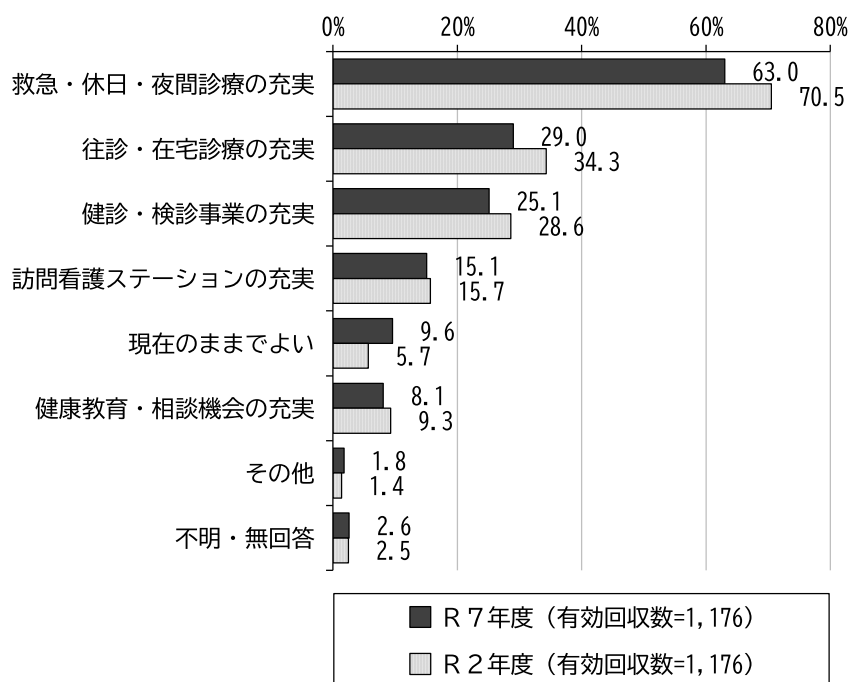
単位: %	の救急・休日・夜間診療の充実	往診・在宅診療の充実	健診・検診事業の充実	健康教育・相談機会の充実	の訪問看護ステーションの充実	現在のままでよい	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	66.7	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	58.0	8.0	25.0	13.6	5.7	19.3	3.4	1.1
30代(有効回収数=115)	66.1	14.8	24.3	6.1	3.5	21.7	1.7	0.9
40代(有効回収数=157)	72.0	19.1	31.8	7.0	8.3	8.3	1.3	0.6
50代(有効回収数=224)	69.2	27.2	23.7	6.7	12.1	8.5	2.7	1.8
60代(有効回収数=173)	67.1	30.1	28.3	10.4	18.5	5.8	1.2	2.3
70代以上(有効回収数=393)	54.7	42.7	22.1	7.9	22.9	6.9	1.3	4.3

■ 地区別クロス

単位：％	の救急・休日・夜間診療の充実	往診・在宅診療の充実	健診・検診事業の充実	健康教育・相談機会の充実	訪問看護ステーションの充実	現在のままでよい	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	61.8	33.7	27.5	5.8	17.2	9.7	0.6	2.6
美和地区(有効回収数=337)	62.3	27.3	24.6	8.6	16.6	9.5	1.8	3.0
甚目寺地区(有効回収数=523)	64.4	27.5	23.5	9.2	12.8	9.8	2.5	2.3

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「救急・休日・夜間診療の充実」が7.5ポイント、「往診・在宅診療の充実」が5.3ポイント減少しています。



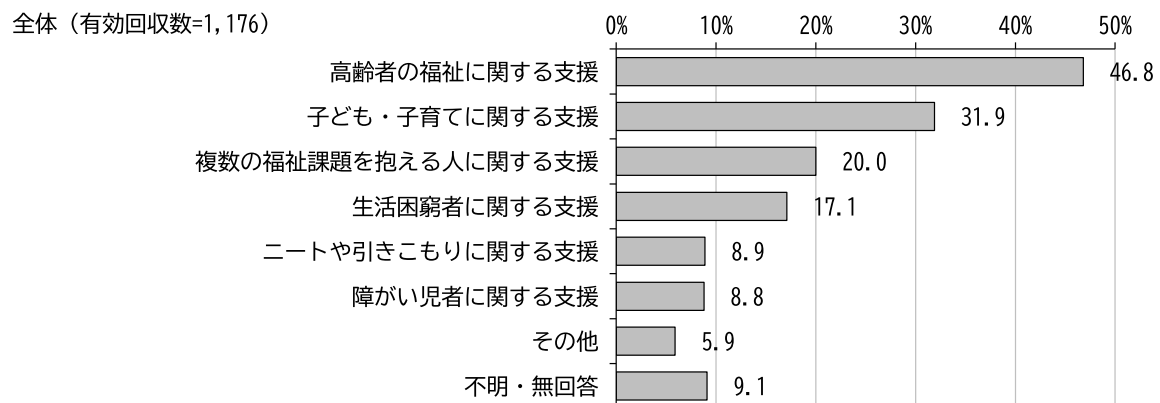
問 24 福祉対策について、特に支援が不足していると感じるものは何ですか。

(主なもの2つまで○)

支援が不足していると感じる福祉対策についてみると、「高齢者の福祉に関する支援」が 46.8%と最も高く、次いで「子ども・子育てに関する支援」が 31.9%、「複数の福祉課題を抱える人に関する支援」が 20.0%となっています。

年代別にみると、〔10代〕～〔40代〕で「子ども・子育てに関する支援」、50代以上で「高齢者の福祉に関する支援」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「高齢者の福祉に関する支援」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

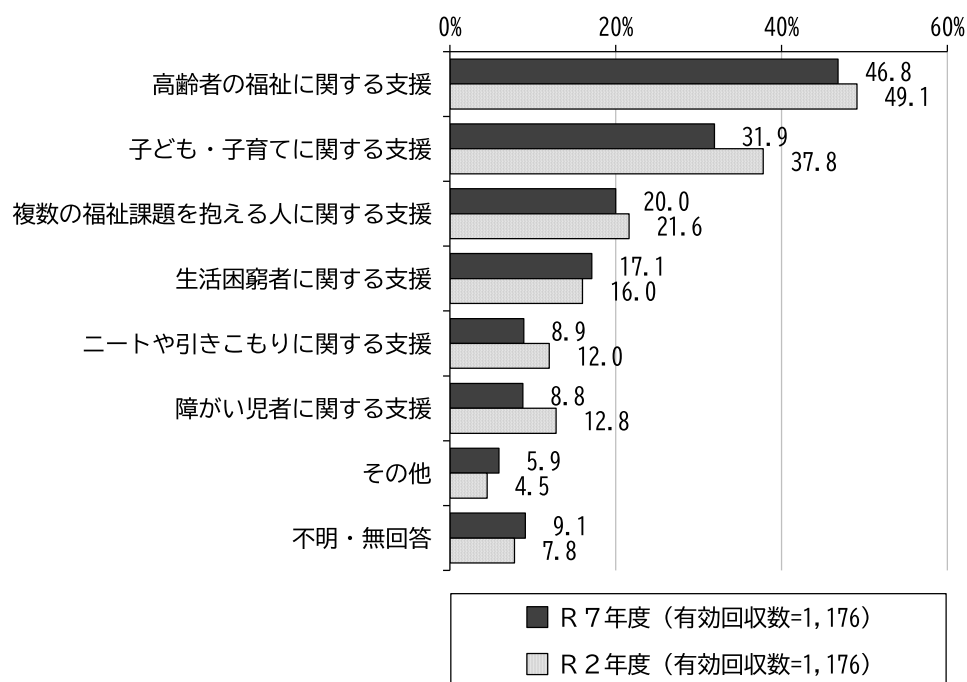
単位: %	子ども・子育てに関する支援	高齢者の福祉に関する支援	障がい児者に関する支援	ニートや引きこもりに関する支援	生活困窮者に関する支援	複数の福祉課題を抱える人に関する支援	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	83.3	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	46.6	23.9	17.0	8.0	18.2	17.0	6.8	3.4
30代(有効回収数=115)	67.0	17.4	11.3	6.1	7.8	19.1	5.2	5.2
40代(有効回収数=157)	47.1	29.9	9.6	11.5	14.0	21.7	5.7	4.5
50代(有効回収数=224)	25.9	46.0	7.6	11.6	16.1	20.5	10.3	8.5
60代(有効回収数=173)	26.6	54.3	6.9	11.0	20.8	24.9	3.5	9.8
70代以上(有効回収数=393)	18.3	63.9	7.1	7.1	19.6	18.1	4.6	12.7

■ 地区別クロス

単位：％	子ども・子育てに関する支援	高齢者の福祉に関する支援	障がい児者に関する支援	ニートや引きこもりに関する支援	生活困窮者に関する支援	複数の福祉課題を抱える人に関する支援	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	32.7	53.7	8.7	8.1	17.2	19.4	3.9	9.7
美和地区(有効回収数=337)	32.0	48.4	9.2	8.9	19.0	19.3	5.3	8.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	31.4	41.7	8.4	9.4	15.9	20.7	7.5	9.0

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「子ども・子育てに関する支援」が5.9ポイント、「障がい児者に関する支援」が4.0ポイント減少しています。



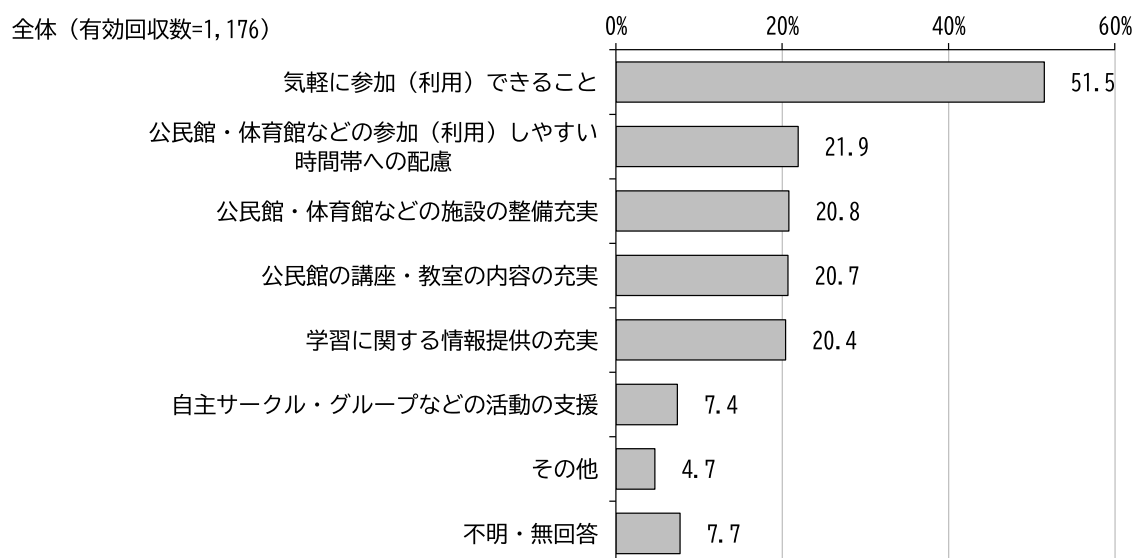
11 生涯学習、教育環境について

問 25 生涯学習活動、スポーツ活動について、どの項目に今後一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なもの2つまで○)

力を入れて取り組むべき生涯学習活動、スポーツ活動についてみると、「気軽に参加（利用）できること」が 51.5%と最も高く、次いで「公民館・体育館などの参加（利用）しやすい時間帯への配慮」が 21.9%、「公民館・体育館などの施設の整備充実」が 20.8%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「学習に関する情報提供の充実」「公民館・体育館などの参加（利用）しやすい時間帯への配慮」が同率で高く、〔20 代〕以上で「気軽に参加（利用）できること」が最も高くなっています。また〔60 代〕で「公民館の講座・教室の内容の充実」が他の年代と比べて 10 ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「気軽に参加（利用）できること」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

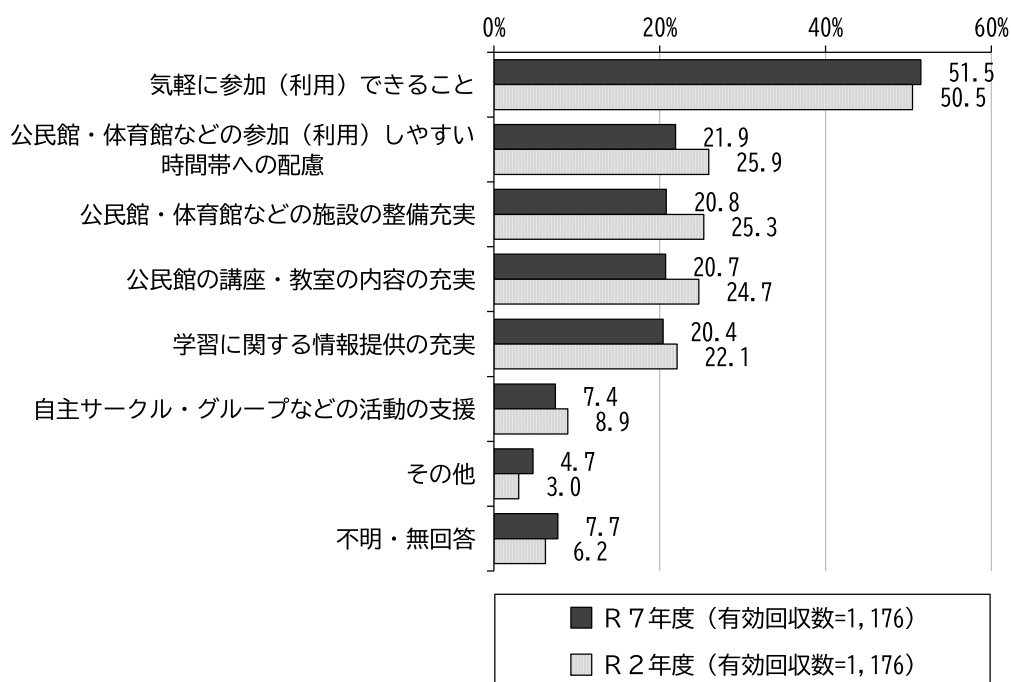
単位: %	学習に関する情報提供の充実	公民館の講座・教室の内容の充実	参加（利用）しやすい時間帯への配慮	公民館・体育館などの施設の整備充実	気軽に参加（利用）できること	自主サークル・グループなどの活動の支援	その他	不明・無回答
10代（有効回収数=6）	50.0	16.7	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
20代（有効回収数=88）	22.7	9.1	25.0	29.5	47.7	5.7	8.0	3.4
30代（有効回収数=115）	27.8	17.4	25.2	20.9	47.8	7.0	7.0	4.3
40代（有効回収数=157）	27.4	16.6	24.8	26.1	52.2	7.6	3.8	1.9
50代（有効回収数=224）	19.2	20.1	24.1	25.9	50.4	7.6	4.0	3.1
60代（有効回収数=173）	17.9	32.9	21.4	23.1	51.4	7.5	2.9	4.0
70代以上（有効回収数=393）	17.3	20.4	18.3	13.5	54.7	7.9	4.8	15.3

■ 地区別クロス

単位：%	学習に関する情報提供	公民館の講座・教室の内容の充実	公民館・体育館などの参加（利用）しやすい時間帯への配慮	公民館・体育館などの施設の整備充実	気軽に参加（利用）できること	自主サークル・グループなどの活動の支援	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=309）	21.7	23.0	22.3	23.9	46.9	7.1	4.2	7.1
美和地区（有効回収数=337）	18.1	23.4	23.4	21.4	50.4	8.3	4.2	8.3
甚目寺地区（有効回収数=523）	21.2	17.6	20.8	18.9	54.9	7.1	5.4	7.6

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「公民館・体育館などの施設の整備充実」が4.5ポイント、「公民館の講座・教室の内容の充実」「公民館・体育館などの参加（利用）しやすい時間帯への配慮」が4.0ポイント減少しています。

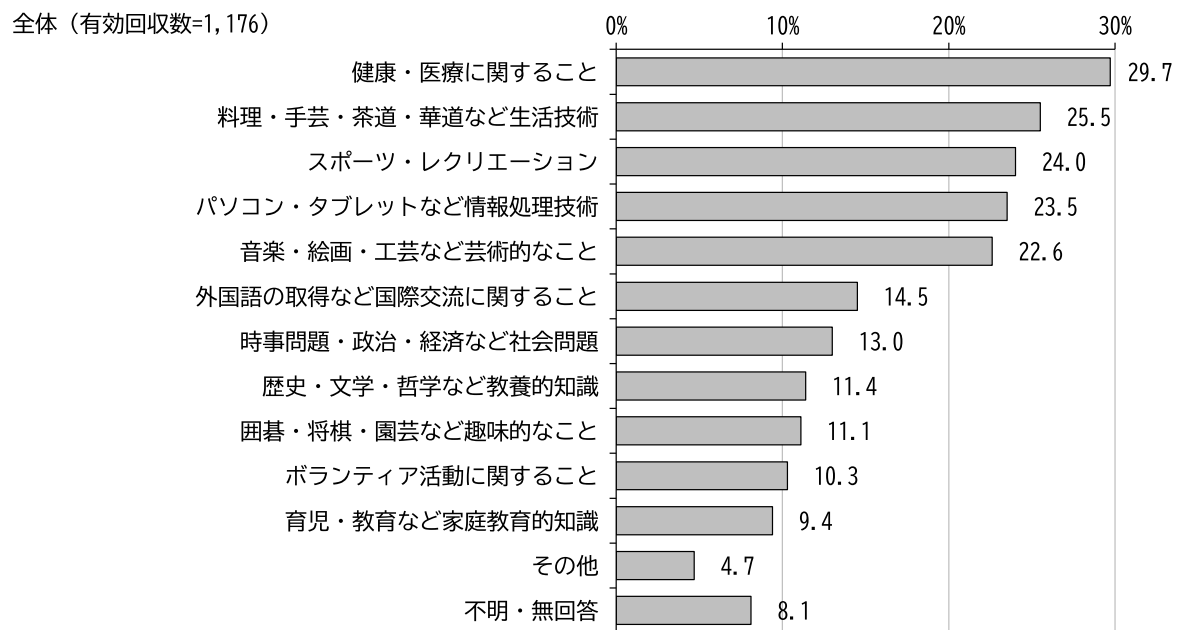


問 26 現在どのようなことを特に学んだり、参加してみたいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

現在学んだり、参加してみたいことについてみると、「健康・医療に関すること」が 29.7%と最も高く、次いで「料理・手芸・茶道・華道など生活技術」が 25.5%、「スポーツ・レクリエーション」が 24.0%となっています。

年代別にみると、〔10代〕～〔30代〕で「料理・手芸・茶道・華道など生活技術」、〔40代〕〔50代〕で「スポーツ・レクリエーション」、〔60代〕以上で「健康・医療に関すること」が最も高くなっています。

地区別についてみると、すべての地区で「健康・医療に関すること」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：％	時事問題・政治・経済 など社会問題	歴史的知識 ・文学・哲学など	音楽・絵画・工芸など 芸術的なこと	パソコン・タブレット など情報処理技術	料理・手芸・茶道・ 華道など生活技術	囲碁・将棋・園芸など 趣味的なこと	健康・医療に関する こと
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	33.3	33.3	50.0	0.0	16.7
20代(有効回収数=88)	18.2	11.4	26.1	19.3	34.1	14.8	17.0
30代(有効回収数=115)	20.0	6.1	24.3	21.7	36.5	11.3	25.2
40代(有効回収数=157)	12.1	15.9	26.8	24.8	30.6	8.9	23.6
50代(有効回収数=224)	12.9	11.2	24.6	25.4	23.7	9.8	25.4
60代(有効回収数=173)	13.3	17.9	27.7	26.6	23.1	12.7	36.4
70代以上(有効回収数=393)	10.7	8.1	16.3	21.9	19.6	10.9	35.9

単位：％	ボランティア活動に 関すること	外国語の取得など国際 交流に関すること	スポーツ・レクリエー ション	教育的知識 ・育児・教育など家庭	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	6.8	27.3	31.8	25.0	1.1	1.1
30代(有効回収数=115)	7.8	28.7	25.2	31.3	2.6	3.5
40代(有効回収数=157)	10.2	19.7	37.6	18.5	5.1	3.2
50代(有効回収数=224)	9.8	16.5	27.2	4.5	4.5	4.9
60代(有効回収数=173)	14.5	15.0	30.1	2.9	2.3	5.2
70代以上(有効回収数=393)	10.4	4.6	12.5	2.0	6.9	15.8

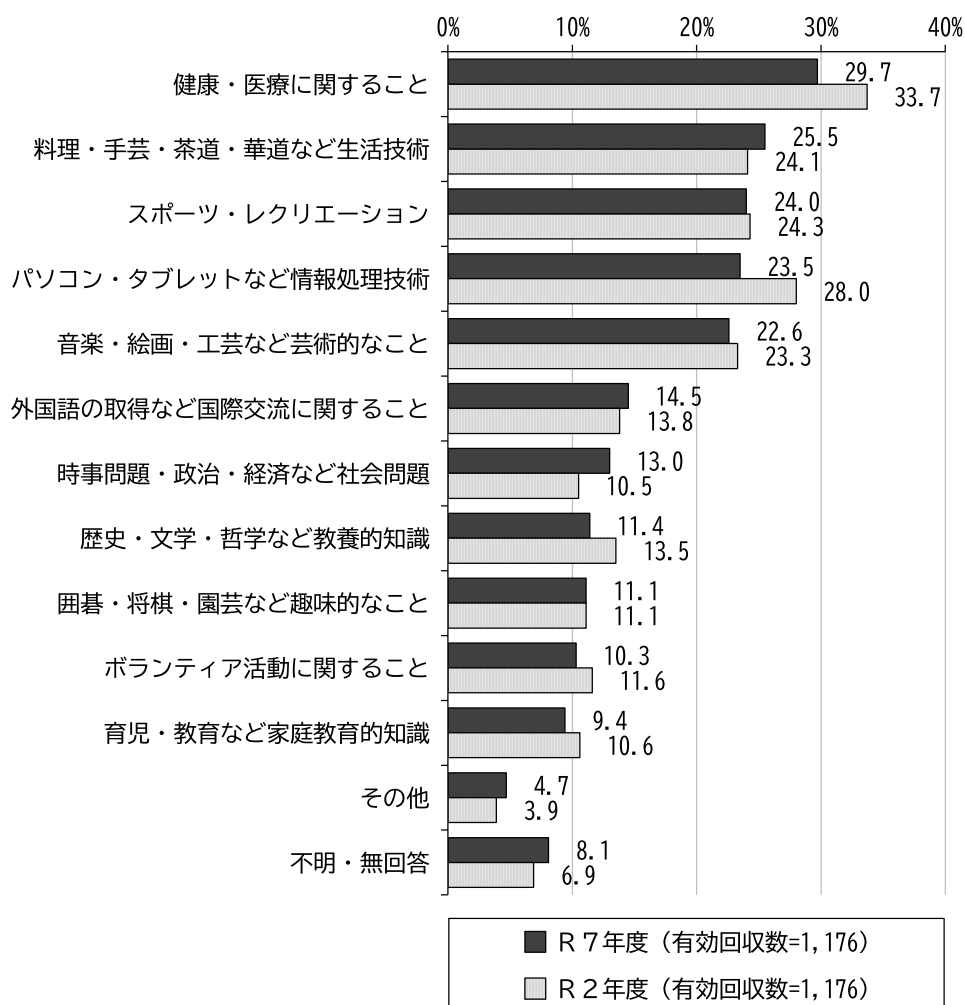
■ 地区別クロス

単位: %	時事問題・政治・経済 など社会問題	歴史的知識 ・文学・哲学など	音楽・絵画・工芸など 芸術的なこと	パソコン・タブレット など情報処理技術	料理・手芸・茶道・ 華道など生活技術	囲碁・将棋・園芸など 趣味的なこと	健康・医療に関する こと
七宝地区(有効回収数=309)	13.9	9.4	23.3	24.6	22.3	8.4	31.4
美和地区(有効回収数=337)	11.9	13.1	22.6	22.8	27.0	11.3	27.6
甚目寺地区(有効回収数=523)	13.2	11.7	22.4	23.3	26.2	12.2	30.2

単位: %	ボランティア活動に 関すること	外国語の取得など国際 交流に関すること	スポーツ・レクリエー ション	教育的知識 ・教育など家庭	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	13.3	12.0	21.4	5.5	4.9	9.1
美和地区(有効回収数=337)	7.4	14.5	25.2	8.9	4.2	8.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	10.5	15.9	24.9	12.0	4.8	7.5

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「パソコン・タブレットなど情報処理技術」が4.5ポイント、「健康・医療に関すること」が4.0ポイント減少しています。

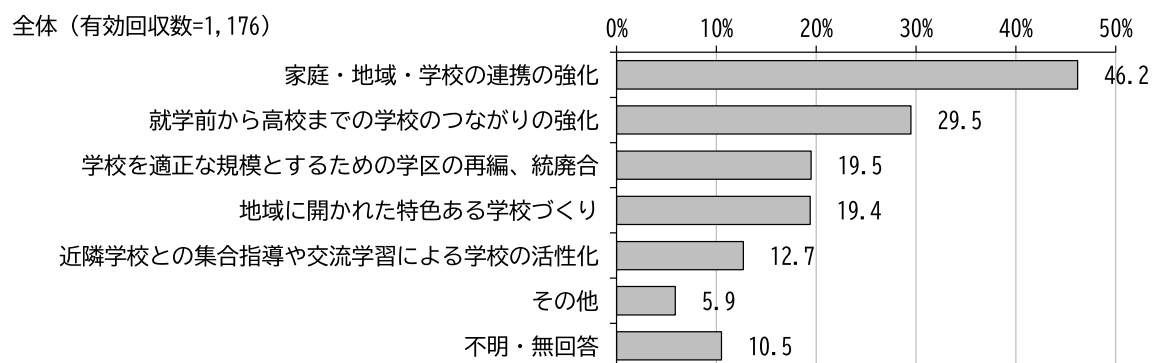


問 27 学校について、特にどのようなことが必要だと思いますか。(主なもの2つまで○)

学校に必要なことについてみると、「家庭・地域・学校の連携の強化」が 46.2%と最も高く、次いで「就学前から高校までの学校のつながりの強化」が 29.5%、「学校を適正な規模とするための学区の再編、統廃合」が 19.5%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕で「就学前から高校までの学校のつながりの強化」「学校を適正な規模とするための学区の再編、統廃合」が同率で高くなっています。〔20 代〕以上では「家庭・地域・学校の連携の強化」が最も高く、特に〔30 代〕で「家庭・地域・学校の連携の強化」が他の年代と比べて 10 ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「家庭・地域・学校の連携の強化」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

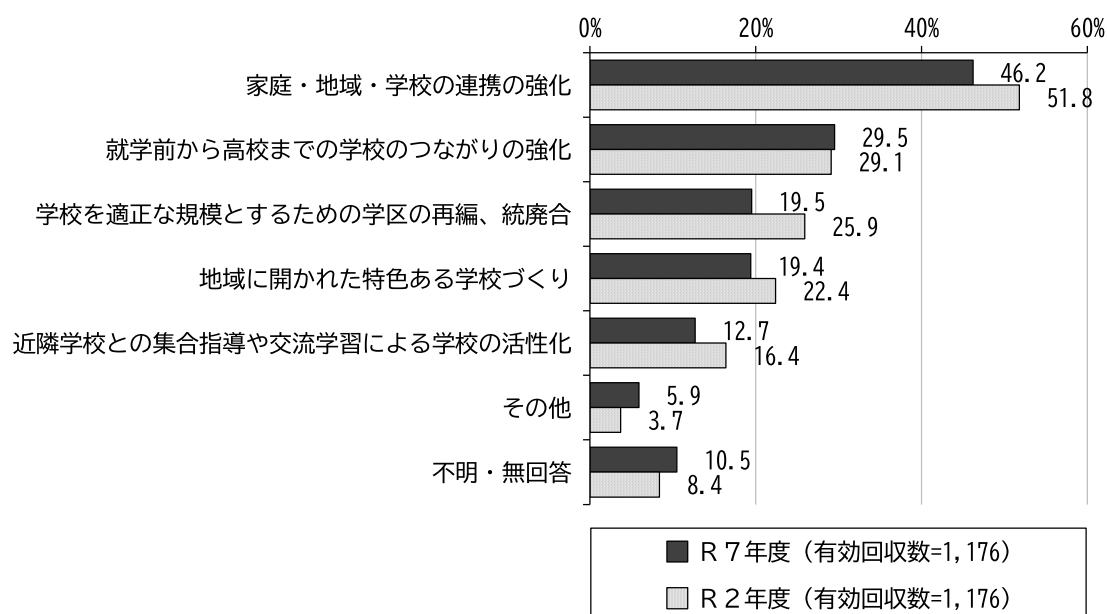
単位：%	就学前から高校までの学校の強化	家庭・地域・学校の連携の強化	地域に開かれた特色ある学校づくり	近隣学校との集合指導や交流学習による学校の活性化	統合のための学区の再編、学校を適正な規模とする	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	50.0	33.3	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0
20代(有効回収数=88)	35.2	46.6	15.9	20.5	17.0	5.7	2.3
30代(有効回収数=115)	39.1	64.3	8.7	9.6	18.3	7.8	6.1
40代(有効回収数=157)	34.4	46.5	23.6	9.6	29.3	5.1	2.5
50代(有効回収数=224)	24.6	46.4	15.6	15.2	21.0	8.9	7.1
60代(有効回収数=173)	24.9	50.3	28.3	14.5	19.1	2.9	6.9
70代以上(有効回収数=393)	28.5	39.4	19.1	11.5	15.8	5.3	19.6

■ 地区別クロス

単位: %	就学前から高校までの学校のつながりの強化	家庭・地域・学校の連携の強化	地域に開かれた特色ある学校づくり	近隣学校との集合指導や交流学習による学校の活性化	統廃合のための学区の再編、学校を適正な規模とする	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	31.7	43.4	20.7	13.6	18.8	6.8	10.4
美和地区(有効回収数=337)	27.9	46.9	19.9	13.9	19.9	5.6	10.7
甚目寺地区(有効回収数=523)	29.1	47.4	18.2	11.5	19.7	5.5	10.3

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「学校を適正な規模とするための学区の再編、統廃合」が6.4ポイント、「家庭・地域・学校の連携の強化」が5.6ポイント減少しています。



12 産業振興について

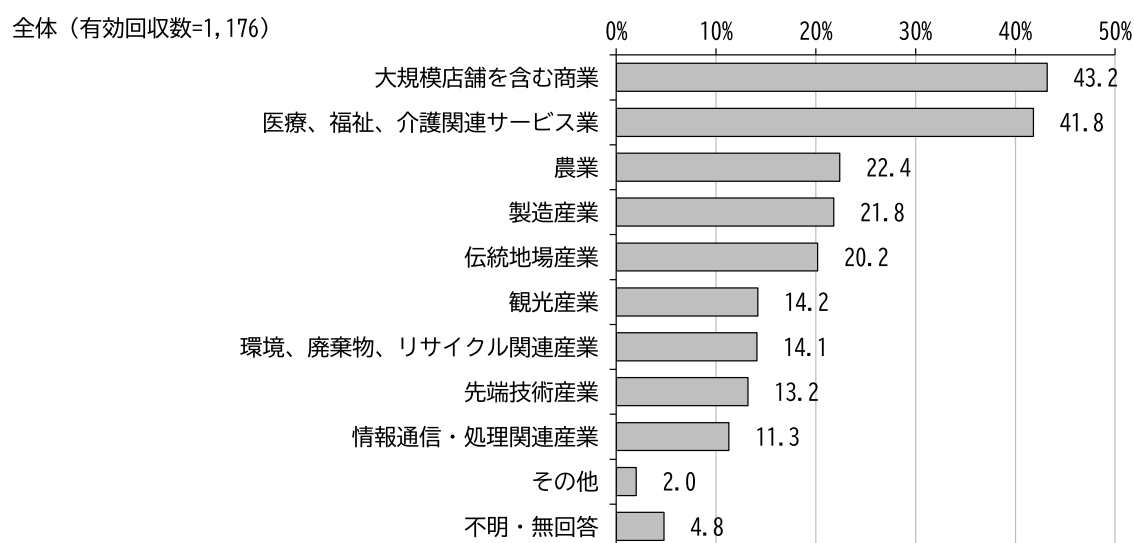
問 28 これからのあま市は特にどのような産業を伸ばす必要があると思いますか。

(主なもの3つまで○)

伸ばす必要がある産業についてみると、「大規模店舗を含む商業」が 43.2%と最も高く、次いで「医療、福祉、介護関連サービス業」が 41.8%、「農業」が 22.4%となっています。

年代別にみると、〔10代〕～〔40代〕で「大規模店舗を含む商業」、〔50代〕以上で「医療、福祉、介護関連サービス業」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕で「医療、福祉、介護関連サービス業」、〔美和地区〕〔甚目寺地区〕で「大規模店舗を含む商業」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

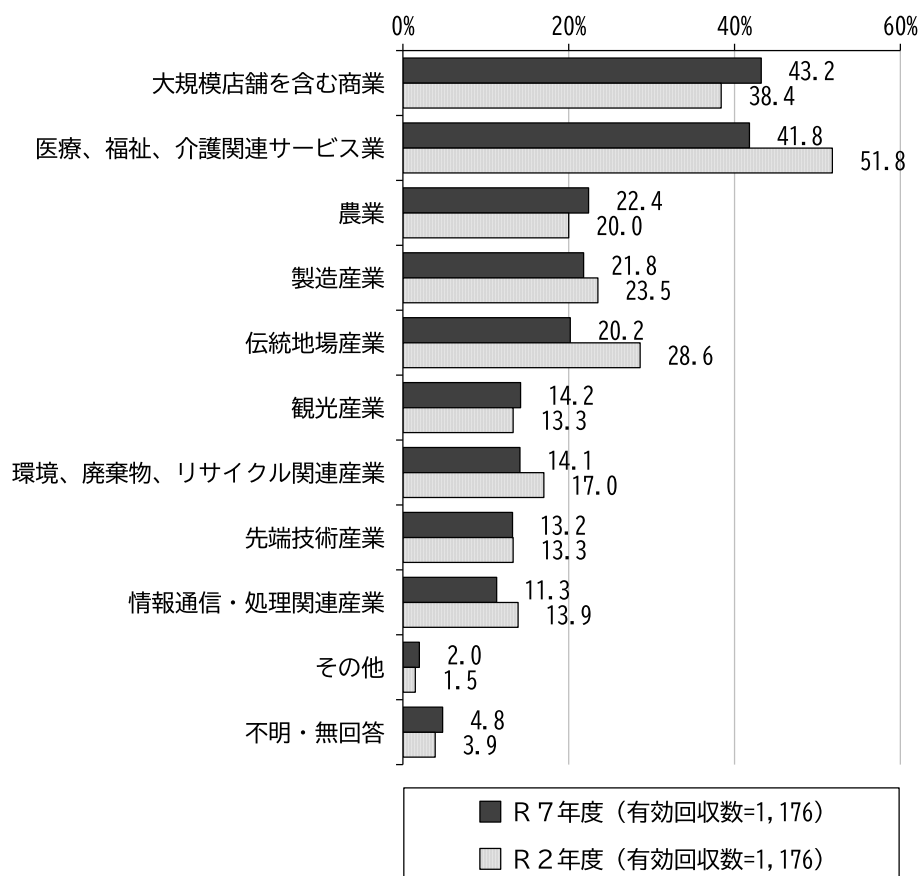
単位: %	農業	製造産業	医療、福祉、介護関連サービス業	環境、廃棄物、リサイクル関連産業	情報通信・処理関連産業	大規模店舗を含む商業	伝統地場産業	観光産業	先端技術産業	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7	66.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	22.7	18.2	34.1	12.5	10.2	45.5	20.5	17.0	10.2	1.1	2.3
30代(有効回収数=115)	22.6	25.2	39.1	17.4	9.6	44.3	13.9	12.2	11.3	0.0	1.7
40代(有効回収数=157)	26.1	24.2	35.0	10.8	14.6	47.1	24.2	17.8	14.0	1.9	1.9
50代(有効回収数=224)	24.6	17.0	43.3	14.7	9.4	42.9	19.2	20.1	12.5	2.7	2.7
60代(有効回収数=173)	23.7	27.2	49.7	13.9	12.7	43.9	24.9	12.1	13.3	0.6	1.2
70代以上(有効回収数=393)	19.8	21.9	43.5	14.5	11.7	40.2	19.3	10.4	15.0	2.8	9.9

■ 地区別クロス

単位：%	農業	製造産業	医療、福祉、介護関連サービス業	環境、廃棄物、リサイクル関連産業	情報通信・処理関連産業	大規模店舗を含む商業	伝統地場産業	観光産業	先端技術産業	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	20.1	22.7	43.4	14.2	13.9	41.1	25.2	12.3	13.3	2.3	5.8
美和地区(有効回収数=337)	27.0	24.9	40.7	13.4	12.2	46.6	17.5	11.3	13.9	1.5	5.0
甚目寺地区(有効回収数=523)	20.8	19.5	41.9	14.7	9.4	42.3	19.1	17.2	12.8	2.3	4.0

■ 令和2年度調査との比較

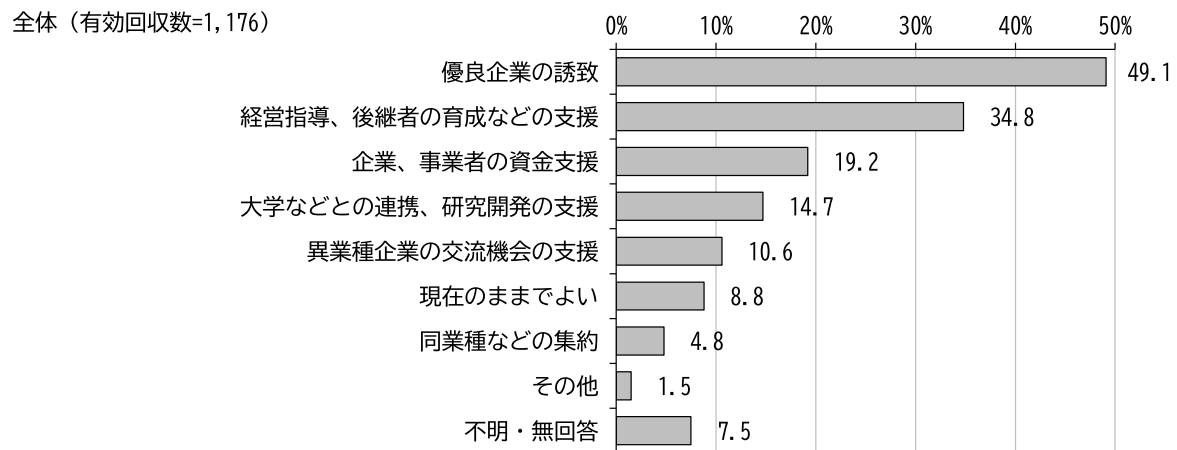
令和2年度調査と比較すると、「医療、福祉、介護関連サービス業」が10.0ポイント、「伝統地場産業」が8.4ポイント減少しています。



問 29 産業を振興するために、特にどんなところに力を入れる必要があると思いますか。
(主なものを2つまで○)

産業の振興についてみると、「優良企業の誘致」が 49.1%と最も高く、次いで「経営指導、後継者の育成などの支援」が 34.8%、「企業、事業者の資金支援」が 19.2%となっています。

年代別・地区別ともに、すべての区分で「優良企業の誘致」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

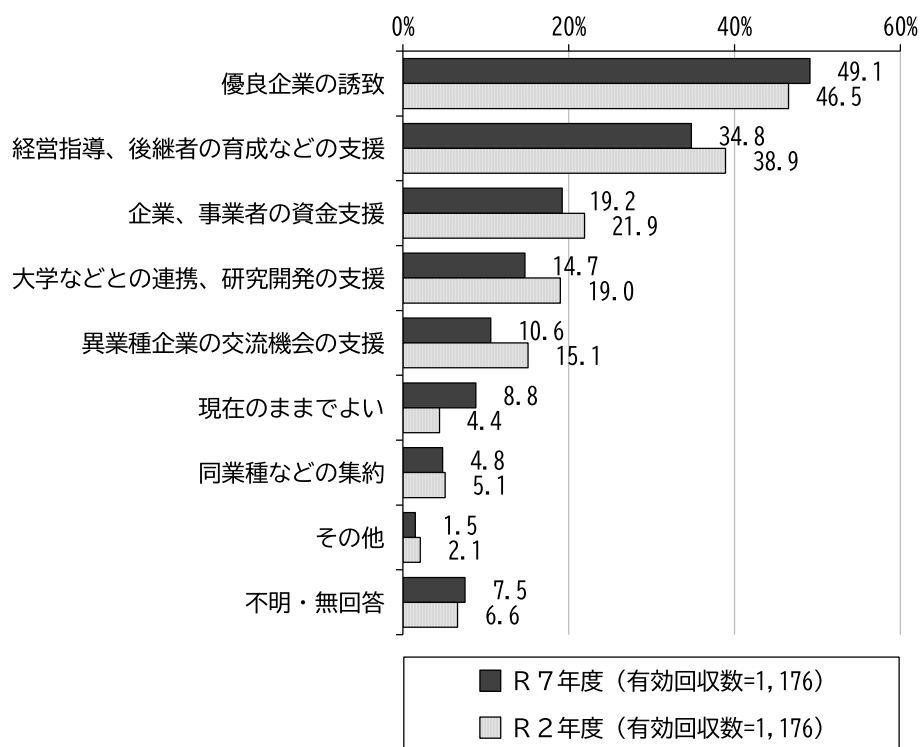
単位: %	経営指導、後継者の育成などの支援	大学などとの連携、研究開発の支援	優良企業の誘致	異業種企業の交流機会の支援	企業、事業者の資金支援	同業種などの集約	現在のままでよい	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	16.7	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	30.7	25.0	34.1	4.5	27.3	5.7	13.6	1.1	4.5
30代(有効回収数=115)	33.9	13.0	51.3	6.1	22.6	4.3	11.3	1.7	2.6
40代(有効回収数=157)	35.7	17.8	52.9	10.8	22.3	5.1	8.9	1.9	4.5
50代(有効回収数=224)	33.9	14.7	50.0	13.4	17.4	5.4	11.6	1.3	3.1
60代(有効回収数=173)	37.6	12.7	54.9	12.1	22.0	6.9	4.6	1.2	4.6
70代以上(有効回収数=393)	35.4	12.2	46.6	10.7	15.8	3.3	7.1	1.8	14.8

■ 地区別クロス

単位: %	経営指導、後継者の育成などの支援	大学などとの連携、研究開発の支援	優良企業の誘致	異業種企業の交流機会の支援	企業、事業者の資金支援	同業種などの集約	現在のままでよい	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	36.2	12.6	47.2	12.0	20.4	5.2	8.4	2.6	7.4
美和地区(有効回収数=337)	38.9	12.5	50.4	10.1	18.7	3.9	7.1	2.4	8.3
甚目寺地区(有効回収数=523)	31.5	17.4	49.5	9.9	18.7	5.0	10.1	0.4	7.1

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「異業種企業の交流機会の支援」が4.5ポイント減少し、「現在のままでよい」が4.4ポイント増加しています。

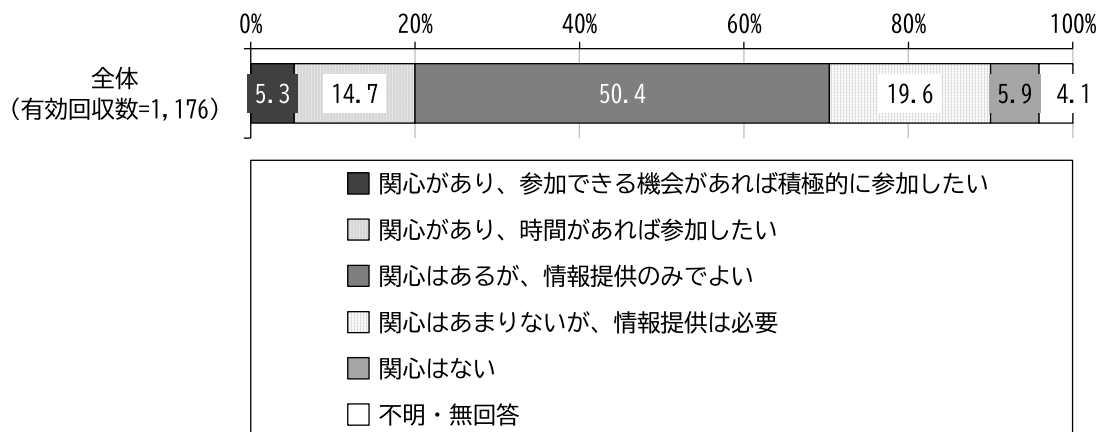


13 市政（まちづくり）、行財政について

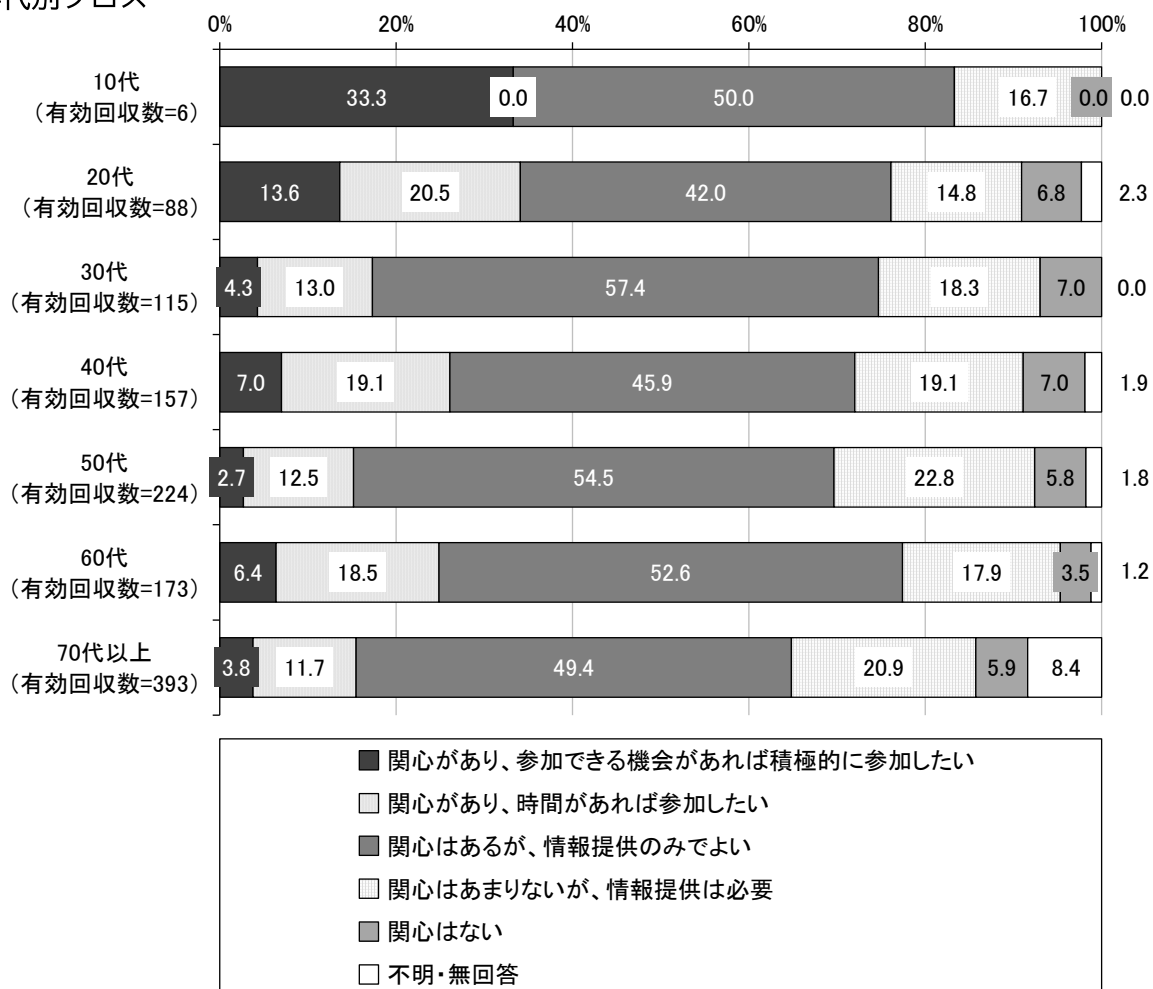
問 30 市政（まちづくり）について、どの程度の関心をお持ちですか。（○は1つだけ）

市政（まちづくり）についての関心についてみると、「関心はあるが、情報提供のみでよい」が 50.4%と最も高く、次いで「関心はあまりないが、情報提供は必要」が 19.6%、「関心があり、時間があれば参加したい」が 14.7%となっています。

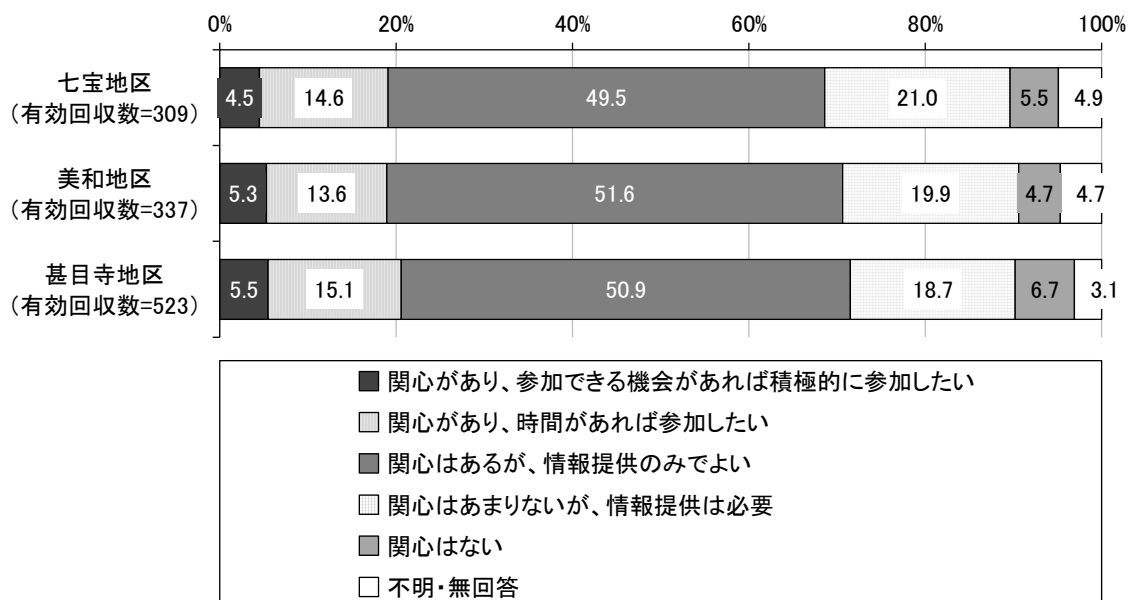
年代別・地区別ともに、すべての区分で「関心はあるが、情報提供のみでよい」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス



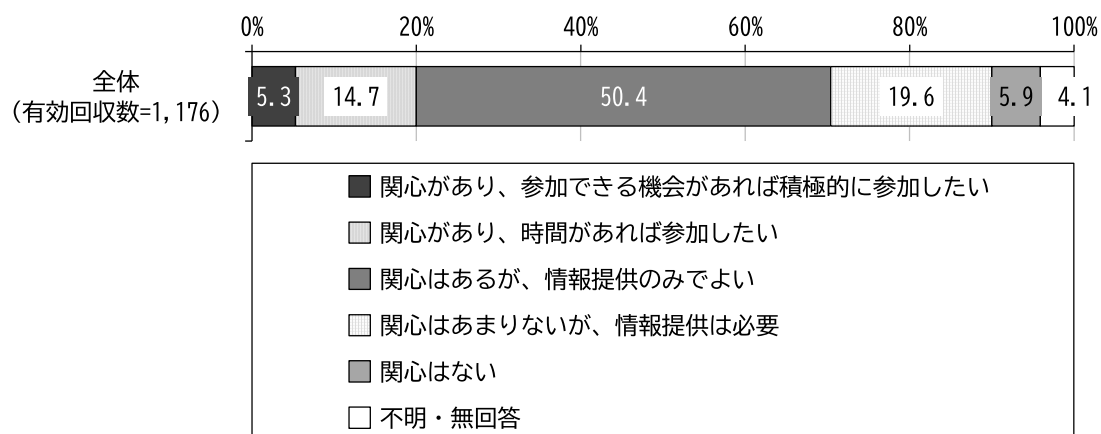
■ 地区別クロス



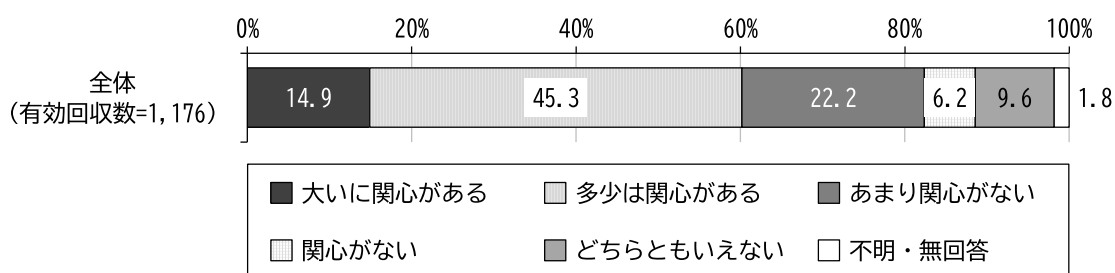
■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、設問が若干異なるため、選択肢ごとに相対的な比較ができないものの、令和7年度調査では“関心がある人”（「関心があり、参加できる機会があれば積極的に参加したい」＋「関心があり、時間があれば参加したい」＋「関心はあるが、情報提供のみでよい」）は、70.4%となっています。一方、令和2年度調査では“関心がある人”（「大いに関心がある」＋「多少は関心がある」）は、60.2%となっています。

【令和7年度調査】



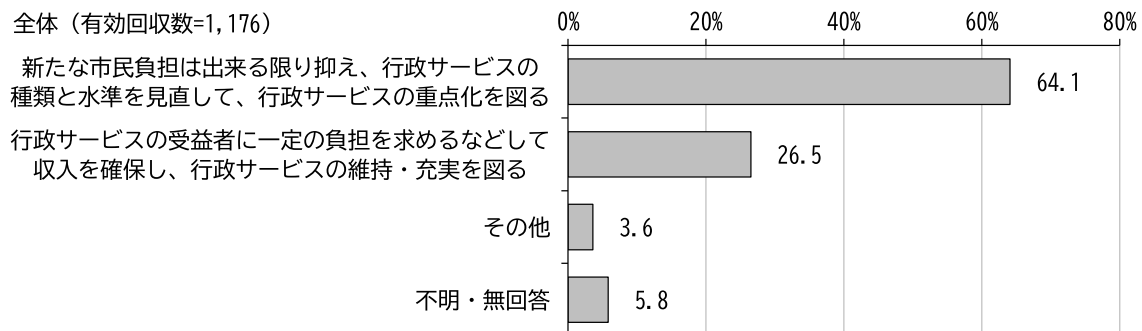
【令和2年度調査】



問 31 市の財政状況が厳しい中、行政サービスと市民負担のあり方についてどのようにお考え
ですか。(○は1つだけ)

行政サービスと市民負担のあり方についてみると、「新たな市民負担は出来る限り抑え、行政サービスの種類と水準を見直して、行政サービスの重点化を図る」が64.1%と最も高く、次いで「行政サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、行政サービスの維持・充実を図る」が26.5%、「その他」が3.6%となっています。

年代別・地区別ともにすべての区分で、「新たな市民負担は出来る限り抑え、行政サービスの種類と水準を見直して、行政サービスの重点化を図る」が最も高く6割を超えています。



■ 年代別クロス

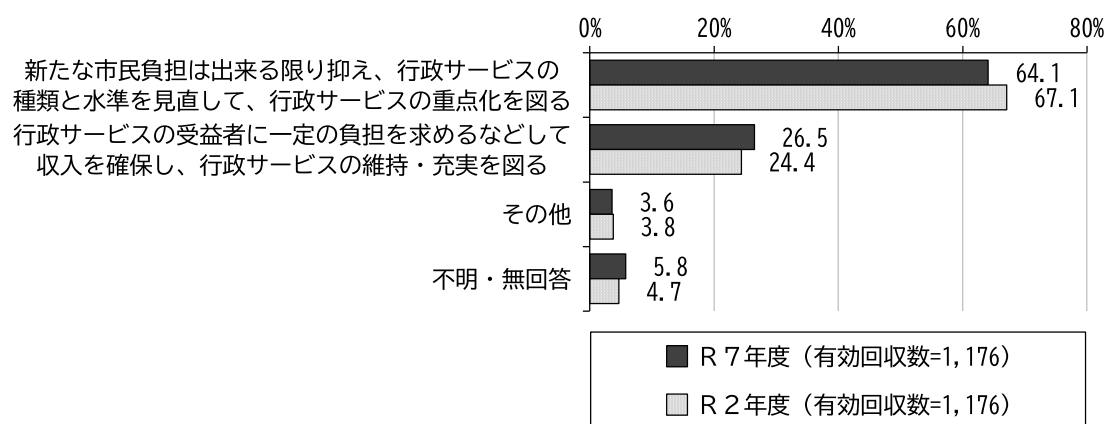
単位: %	図サしー行 るーて定政 ビ収のサ スの入を担 の維確をス 持保求の ・しめ受 充、る益 実、者 を政どに	図行種限新 る政類りた サと抑な ー水え市 ビ準、民 スを行負 のの見政担 重直サは 点しー出 化て、来 を、ス の	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
10代(有効回収数=6)	33.3	66.7	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	21.6	70.5	5.7	2.3
30代(有効回収数=115)	35.7	60.0	1.7	2.6
40代(有効回収数=157)	31.2	64.3	1.3	3.2
50代(有効回収数=224)	25.9	65.6	5.4	3.1
60代(有効回収数=173)	27.7	66.5	4.0	1.7
70代以上(有効回収数=393)	23.2	62.3	3.3	11.2

■ 地区別クロス

単位: %	図 サ ー ビ ス の 維 持 ・ 充 実 を 政 に	行 政 サ ー ビ ス の 受 益 者 に 一 定 の 負 担 を 求 め る な ど し て	図 行 政 サ ー ビ ス の 重 点 化 を 図 る	新 た な 市 民 負 担 は 出 来 る 限 り 抑 え 、 行 政 サ ー ビ ス の 種 類 と 水 準 を 見 直 し て	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
七宝地区(有効回収数=309)		25.9		63.8	4.2	6.1
美和地区(有効回収数=337)		26.1		64.4	3.3	6.2
甚目寺地区(有効回収数=523)		27.5		63.7	3.4	5.4

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「新たな市民負担は出来る限り抑え、行政サービスの種類と水準を見直して、行政サービスの重点化を図る」が 3.0 ポイント減少し、「行政サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、行政サービスの維持・充実を図る」が 2.1 ポイント増加しています。



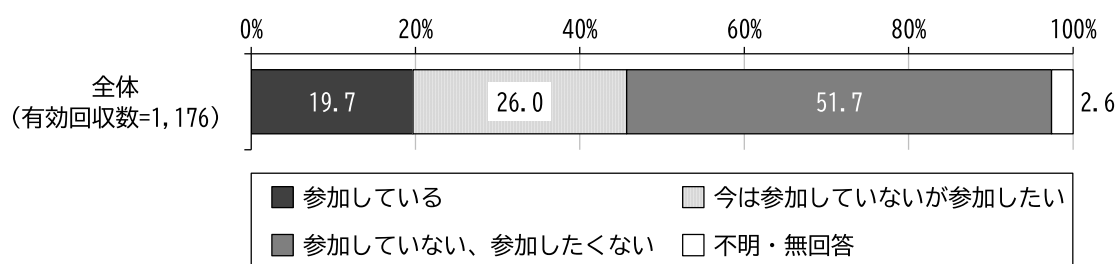
14 地域活動の参加希望について

問 32 あなたは現在、何らかの地域活動に参加していますか。参加希望も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

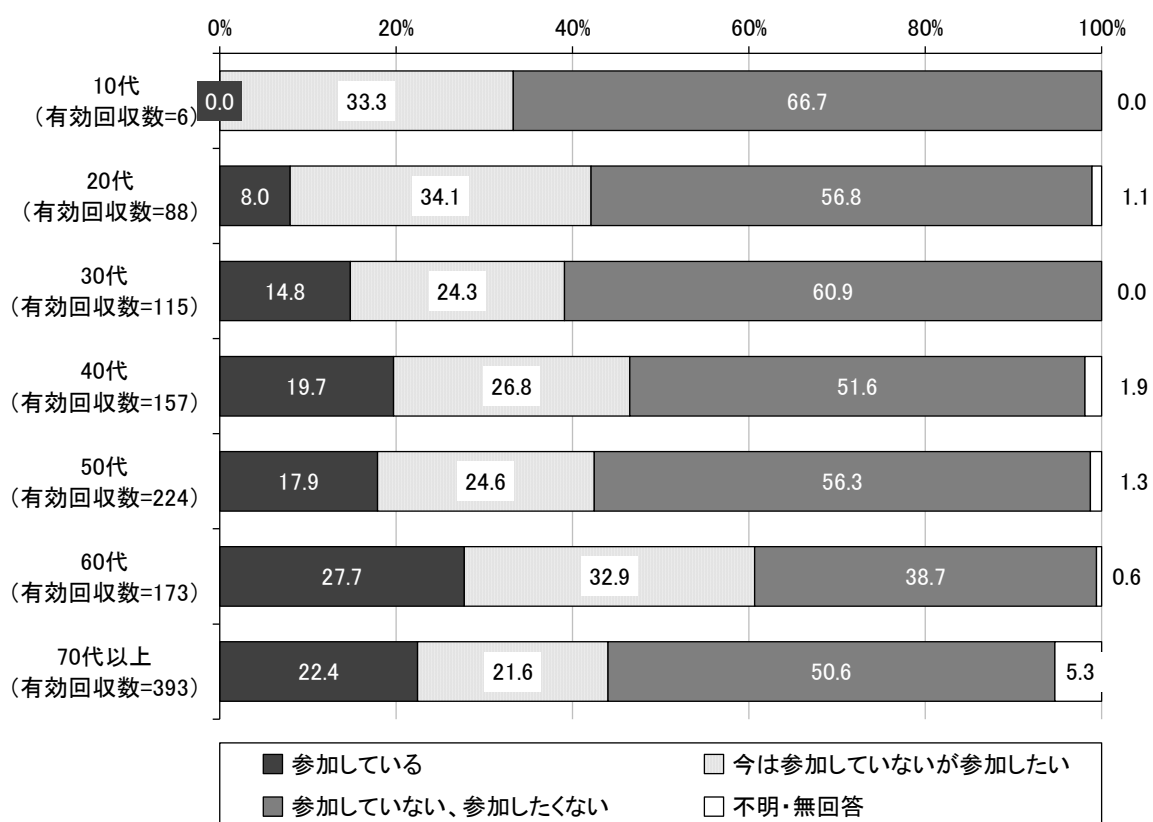
地域活動への参加についてみると、「参加していない、参加したくない」が51.7%と最も高く、次いで「今は参加していないが参加したい」が26.0%、「参加している」が19.7%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「参加していない、参加したくない」が最も高くなっています。また〔60代〕で「参加している」が他の年代に比べて高くなっています。

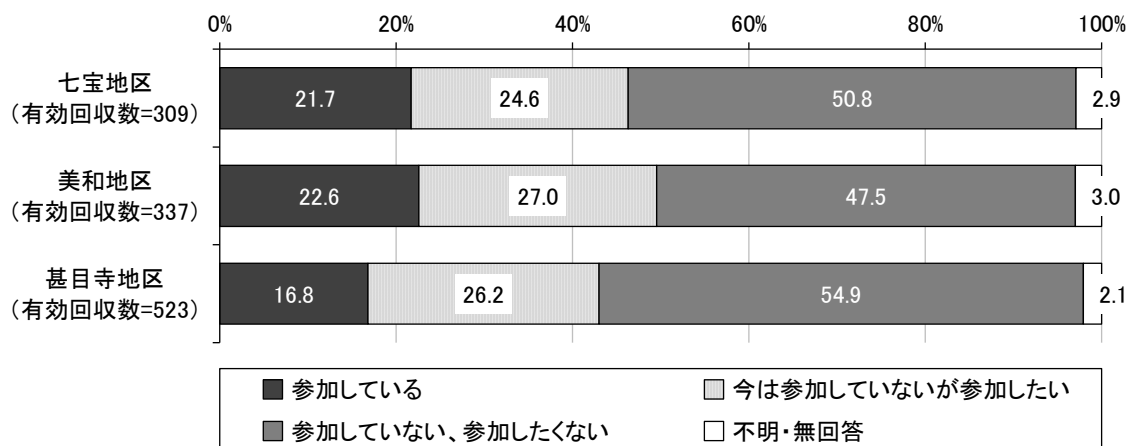
地区別にみると、〔美和地区〕は、「参加している」「参加していないが参加したい」が他の地区に比べて高くなっています。



■ 年代別クロス

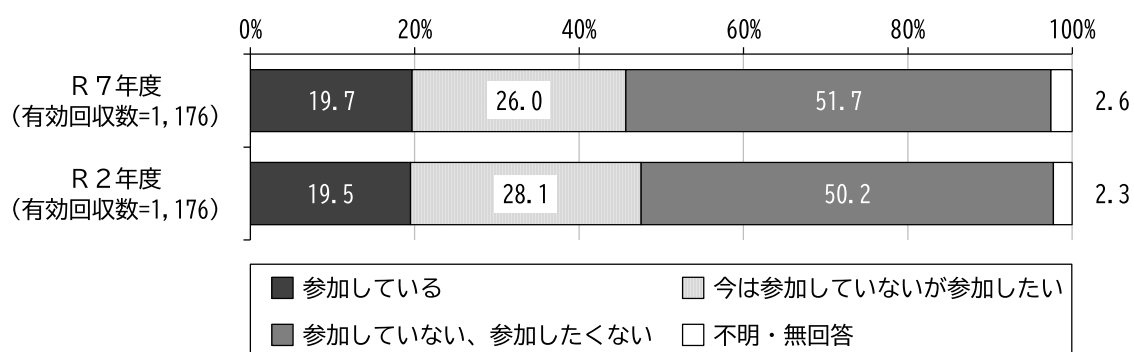


■ 地区別クロス



■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、特に大きな違いはみられませんでした。



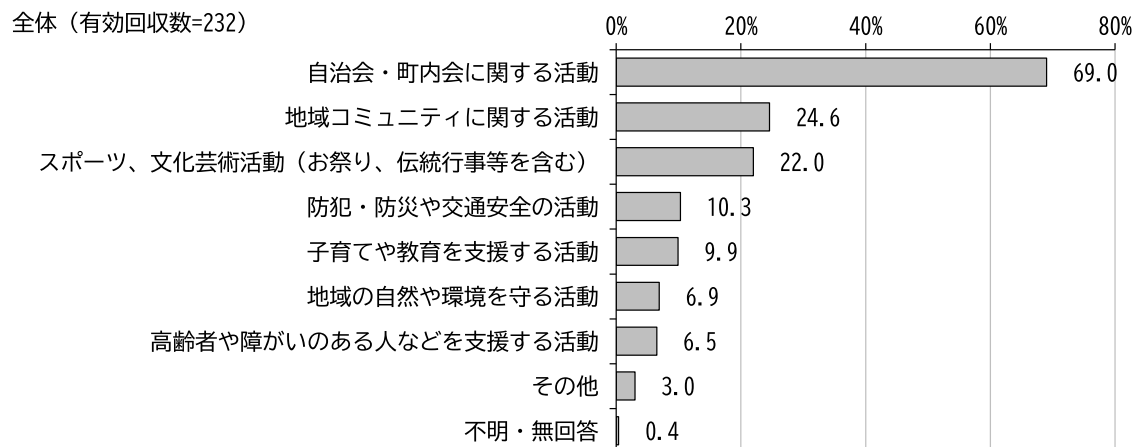
問 32 で「参加している」と答えた方

問 32-1 どのような地域活動に参加しておられますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している地域活動についてみると、「自治会・町内会に関する活動」が 69.0%と最も高く、次いで「地域コミュニティに関する活動」が 24.6%、「スポーツ、文化芸術活動（お祭り、伝統行事等を含む）」が 22.0%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕で「スポーツ、文化芸術活動（お祭り、伝統行事等を含む）」、〔30 代〕以上で「自治会・町内会に関する活動」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「自治会・町内会に関する活動」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位: %	自治会・町内会に関する活動	地域コミュニティに関する活動	子育てや教育を支援する活動	高齢者や障がいのある人などを支援する活動	地域の自然や環境を守る活動	防犯・防災や交通安全の活動	スポーツ、文化芸術活動（お祭り、伝統行事等を含む）	その他	不明・無回答
10代（有効回収数=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（有効回収数=7）	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0
30代（有効回収数=17）	70.6	23.5	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0
40代（有効回収数=31）	74.2	32.3	29.0	6.5	3.2	12.9	25.8	0.0	0.0
50代（有効回収数=40）	72.5	17.5	0.0	7.5	7.5	10.0	25.0	2.5	2.5
60代（有効回収数=48）	79.2	16.7	8.3	2.1	6.3	4.2	12.5	2.1	0.0
70代以上（有効回収数=88）	63.6	29.5	8.0	9.1	9.1	13.6	25.0	4.5	0.0

■ 地区別クロス

単位: %	自治会・町内会に関する活動	地域コミュニティに関する活動	子育てや教育を支援する活動	高齢者や障がいのある人などを支援する活動	地域の自然や環境を守る活動	防犯・防災や交通安全の活動	活動（お祭り、伝統行事等を含む）	スポーツ、文化芸術活動	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=67)	74.6	20.9	10.4	6.0	1.5	11.9	22.4	3.0	0.0	
美和地区(有効回収数=76)	64.5	25.0	5.3	7.9	9.2	10.5	19.7	3.9	0.0	
甚目寺地区(有効回収数=88)	69.3	27.3	13.6	5.7	9.1	9.1	23.9	1.1	1.1	

問 32 で「参加していない、参加したくない」と答えた方

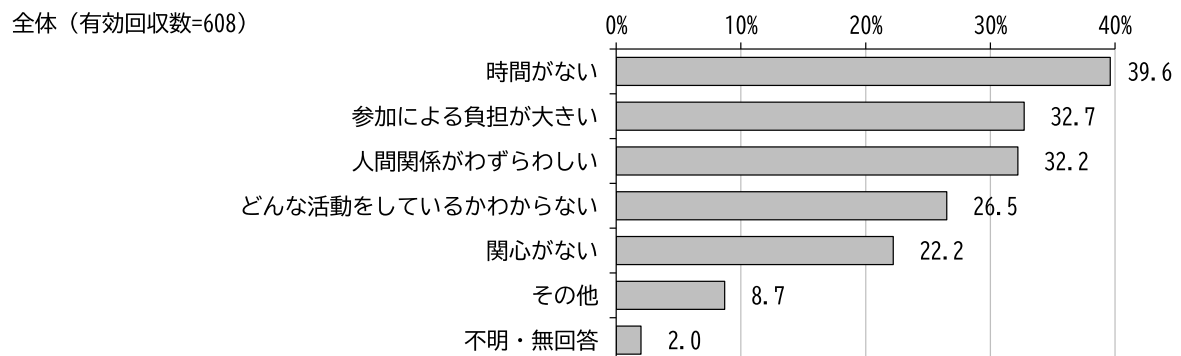
問 32-2 参加したくない場合の理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

参加したくない理由についてみると、「時間がない」が 39.6%と最も高く、次いで「参加による負担が大きい」が 32.7%、「人間関係がわずらわしい」が 32.2%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕～〔50 代〕で「時間がない」、〔60 代〕で「人間関係がわずらわしい」、〔70 代以上〕で「参加による負担が大きい」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「時間がない」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

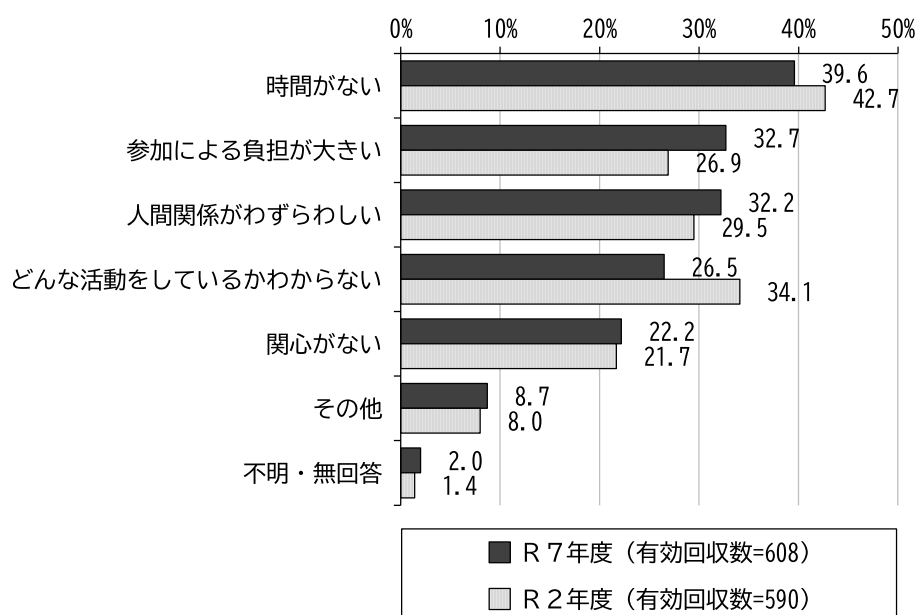
単位：%	関心がない	時間がない	人間関係がわずらわしい	参加による負担が大きい	わからない活動をしているか	その他	不明・無回答
10代(有効回収数=4)	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=50)	26.0	72.0	24.0	22.0	40.0	0.0	0.0
30代(有効回収数=70)	27.1	61.4	38.6	35.7	35.7	0.0	0.0
40代(有効回収数=81)	21.0	59.3	29.6	32.1	35.8	3.7	1.2
50代(有効回収数=126)	20.6	53.2	38.9	32.5	21.4	5.6	3.2
60代(有効回収数=67)	16.4	31.3	41.8	37.3	37.3	1.5	0.0
70代以上(有効回収数=199)	22.1	10.1	26.6	33.7	16.6	20.1	3.5

■ 地区別クロス

単位: %	関心がない	時間がない	人間関係がわずらわしい	参加による負担が大きい	どんな活動をしているかわからない	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=157)	17.8	35.7	30.6	29.3	24.8	10.8	3.2
美和地区(有効回収数=160)	23.8	38.1	34.4	33.8	28.1	9.4	1.3
甚目寺地区(有効回収数=287)	24.0	42.5	32.1	34.1	26.5	7.0	1.7

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「どんな活動をしているかわからない」が7.6ポイント減少し、「参加による負担が大きい」が5.8ポイント増加しています。



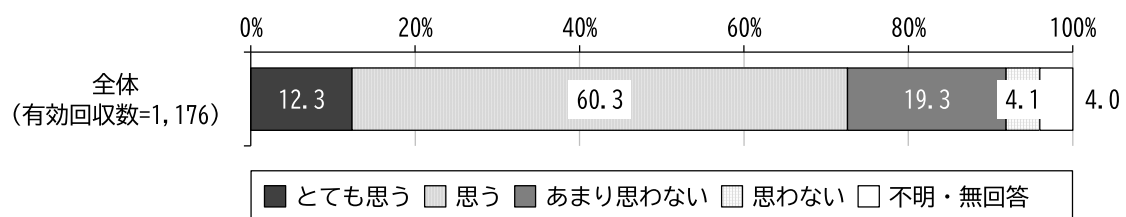
問 33 あなたは、市民協働（※）が必要だと思いますか。（○は1つだけ）

市民協働の必要性についてみると、「思う」が60.3%と最も高く、次いで「あまり思わない」が19.3%、「とても思う」が12.3%となっています。「必要だと思う人」（「とても思う」＋「思う」）は、72.6%となっています。

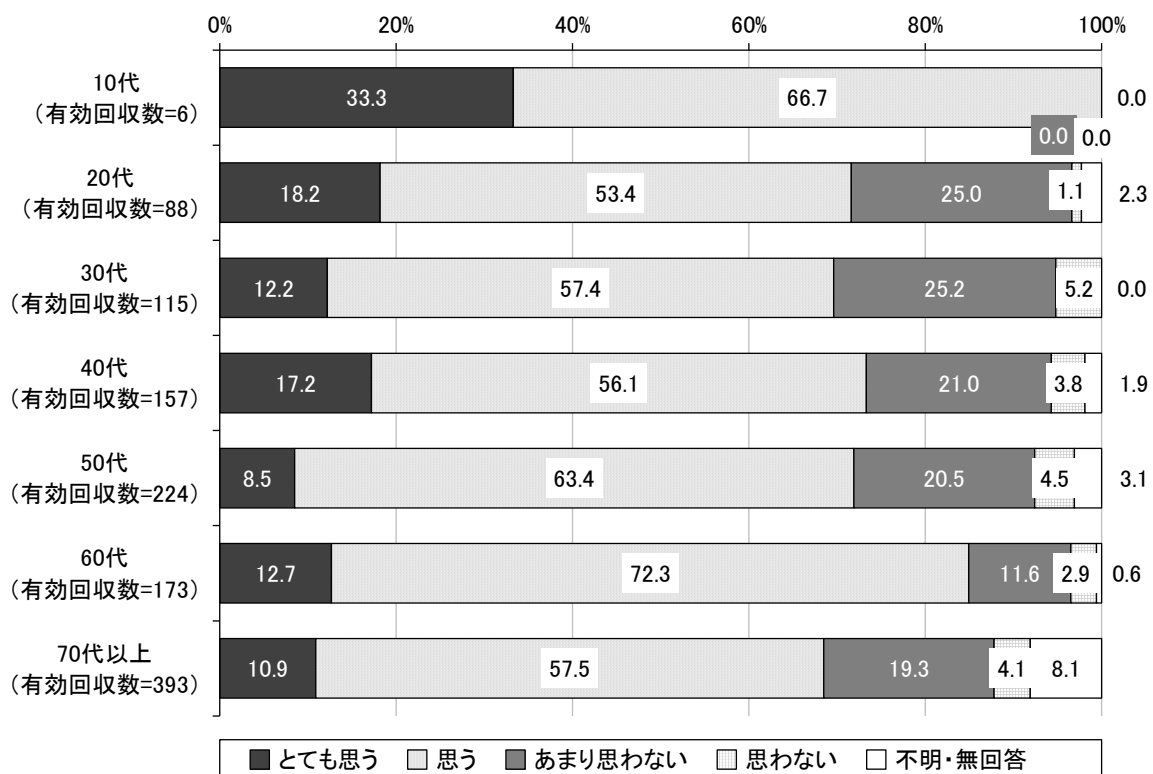
年代別にみると、「必要だと思う人」は〔10代〕〔60代〕で8割を超え、他の年代に比べ10ポイント以上高くなっています。

地区別にみると、「必要だと思う人」は、〔美和地区〕が76.0%と他の地区に比べ最も高くなっています。

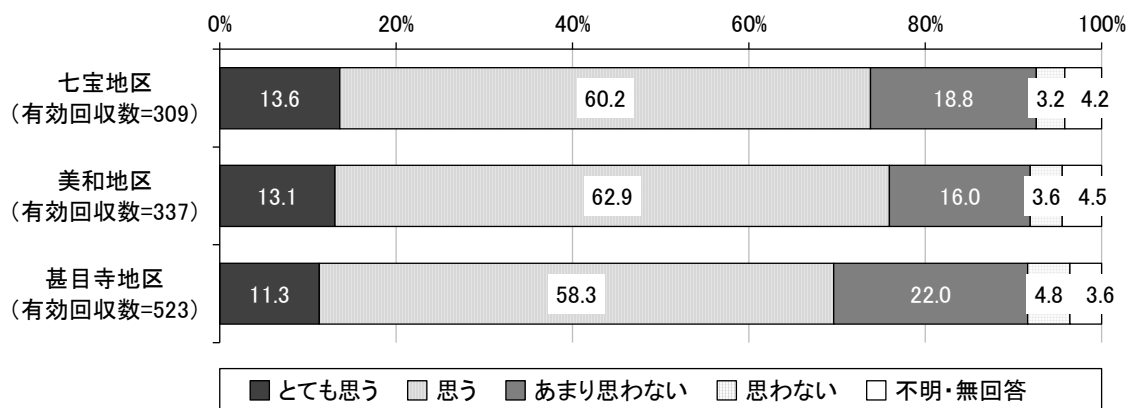
※ 市民協働とは同じ目的を実現するため、立場の違う市民や市が協力し、取り組むこと



■ 年代別クロス

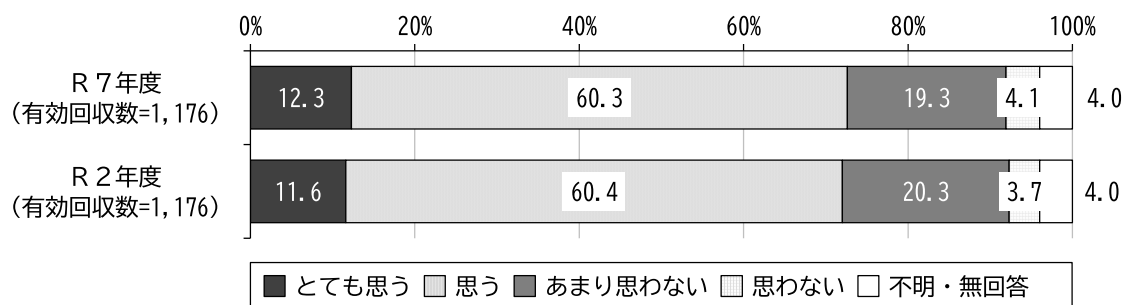


■ 地区別クロス



■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、特に大きな違いはみられませんでした。



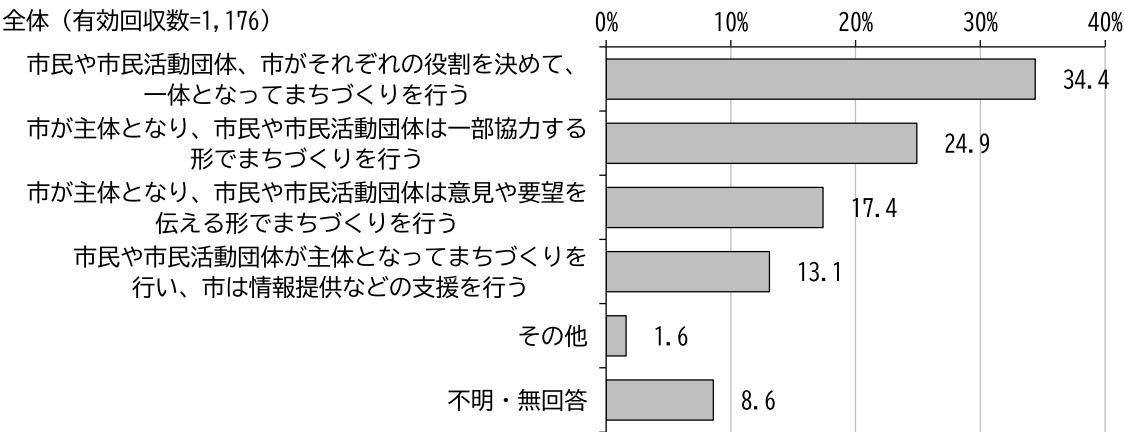
問 34 今後まちづくりに市民や市民活動団体（※）はどのような方法に関わっていくことが望ましいと思いますか。（○は1つだけ）

まちづくりへの関わり方についてみると、「市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う」が34.4%と最も高く、次いで「市が主体となり、市民や市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う」が24.9%、「市が主体となり、市民や市民活動団体は意見や要望を伝える形でまちづくりを行う」が17.4%となっています。

年代別にみると、〔10代〕で「市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う」「市が主体となり、市民や市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う」が同率で高くなっています。また〔20代〕及び〔40代〕以上で「市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う」、〔30代〕で「市が主体となり、市民や市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う」が最も高くなっています。

※市民活動団体とは営利を目的とせず、公益的な活動を自主的に行う組織のこと



■ 年代別クロス

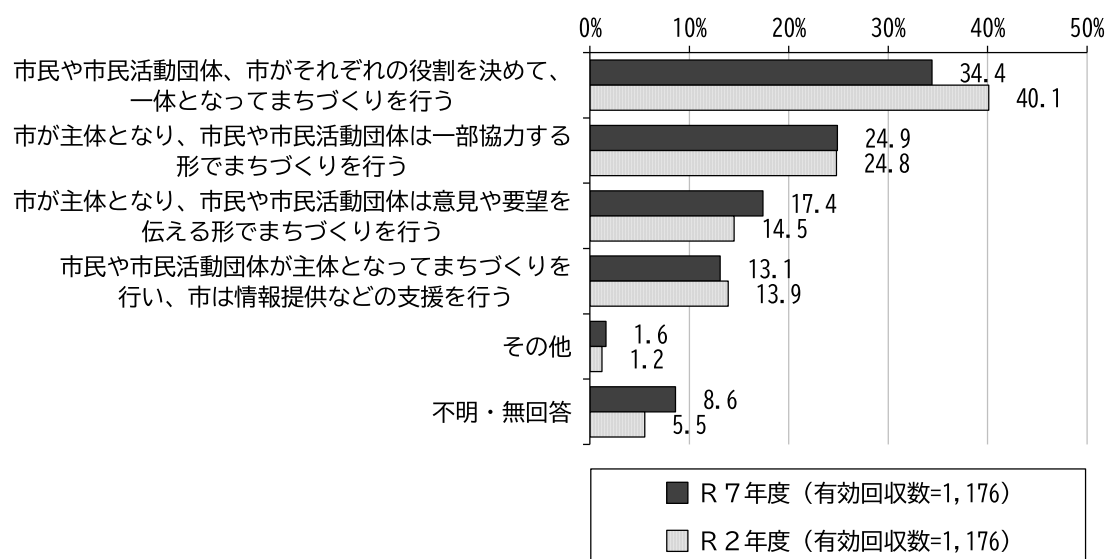
単位: %	なを主市 ど行体民 のいとか 支市つ民 援市は活 を行情ま 行報ち動 う報ち団 提づ体 供くが り	ま決市市 ちめが民 づくそや く、れ市 りーぞ民 を体れ活 行とな動 う役団 つ割体 てを	行す市市 う民が 形活主 で動体 ま団と ち体な づくは く一り り部市 を協民 力や	まやや市 ち要市が づ望民主 くを活体 り伝動と をえ団な 行る体り う形は で意見民	そ 他	不 明・ 無 回 答
10代(有効回収数=6)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	17.0	42.0	20.5	19.3	0.0	1.1
30代(有効回収数=115)	11.3	27.8	34.8	24.3	0.0	1.7
40代(有効回収数=157)	15.9	36.9	29.3	14.0	1.9	1.9
50代(有効回収数=224)	13.4	35.7	26.8	19.2	1.8	3.1
60代(有効回収数=173)	9.2	45.1	26.0	14.5	0.6	4.6
70代以上(有効回収数=393)	14.0	27.0	20.4	17.6	2.5	18.6

■ 地区別クロス

単位：％	市民や市民活動団体が主体となつてまちづくりを行い、市は情報提供などの支援を行う	市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となつてまちづくりを行う	市が主体となり、市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う	市が主体となり、市民や市民活動団体は意見や要望を伝える形でまちづくりを行う	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	14.9	35.3	25.2	14.9	2.3	7.4
美和地区(有効回収数=337)	16.6	30.0	24.6	17.5	1.8	9.5
甚目寺地区(有効回収数=523)	9.6	36.3	25.0	19.1	1.1	8.8

■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う」が5.7ポイント減少し、「市が主体となり、市民や市民活動団体は意見や要望を伝える形でまちづくりを行う」が2.9ポイント増加しています。

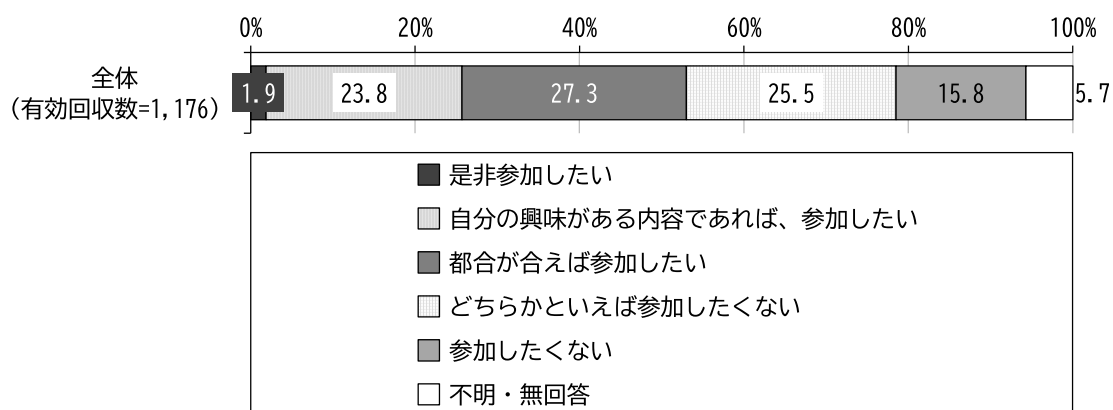


問 35 自治会・町内会、市民活動団体、行政などがボランティアの募集をした場合、参加したい
と思いますか。(○は1つだけ)

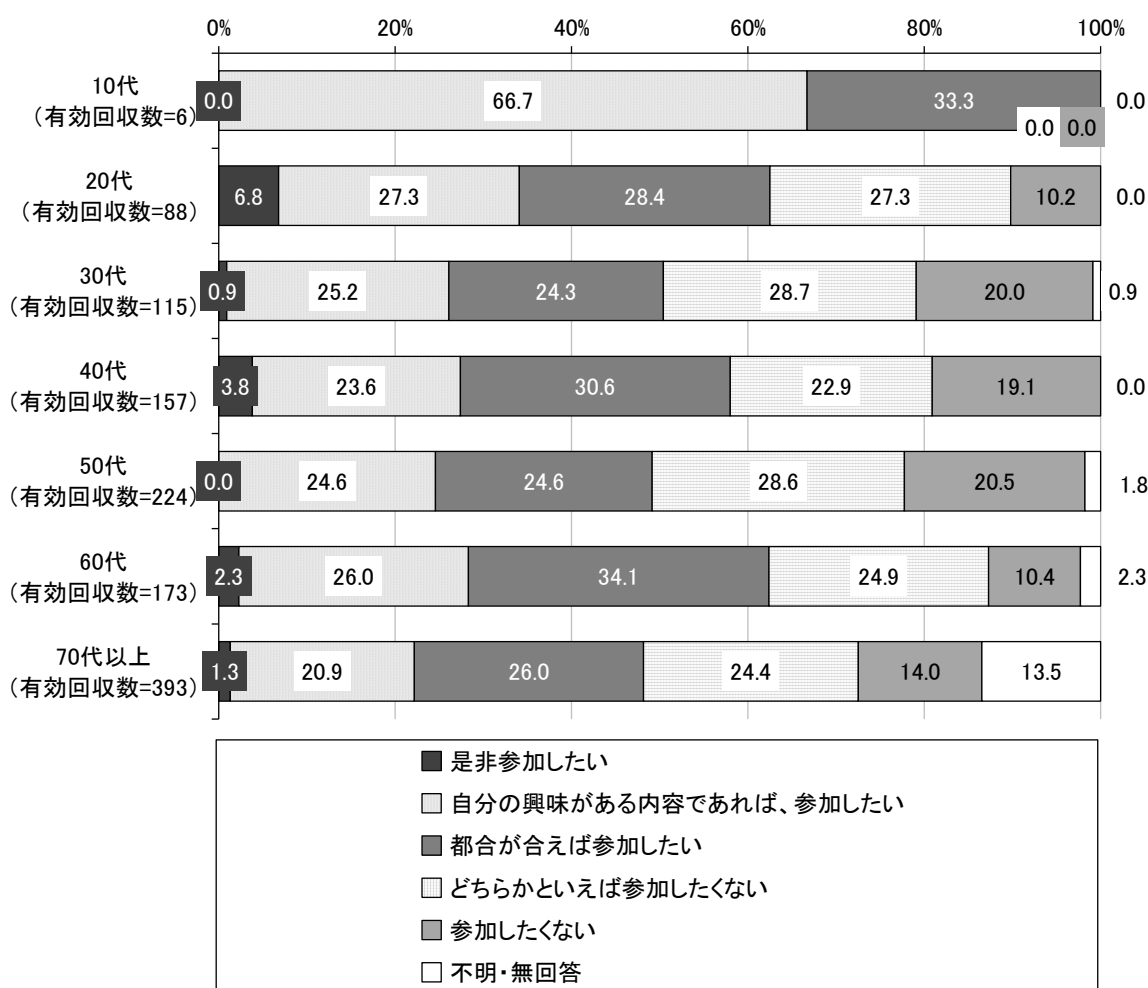
ボランティアへの参加意向についてみると、「都合が合えば参加したい」が 27.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」が 25.5%、「自分の興味がある内容であれば、参加したい」が 23.8%となっています。「参加したい人」（「是非参加したい」＋「自分の興味がある内容であれば、参加したい」＋「都合が合えば参加したい」）は、53.0%となっています。

年代別にみると、「参加したい人」は、〔10代〕〔20代〕〔60代〕が6割を超えています。

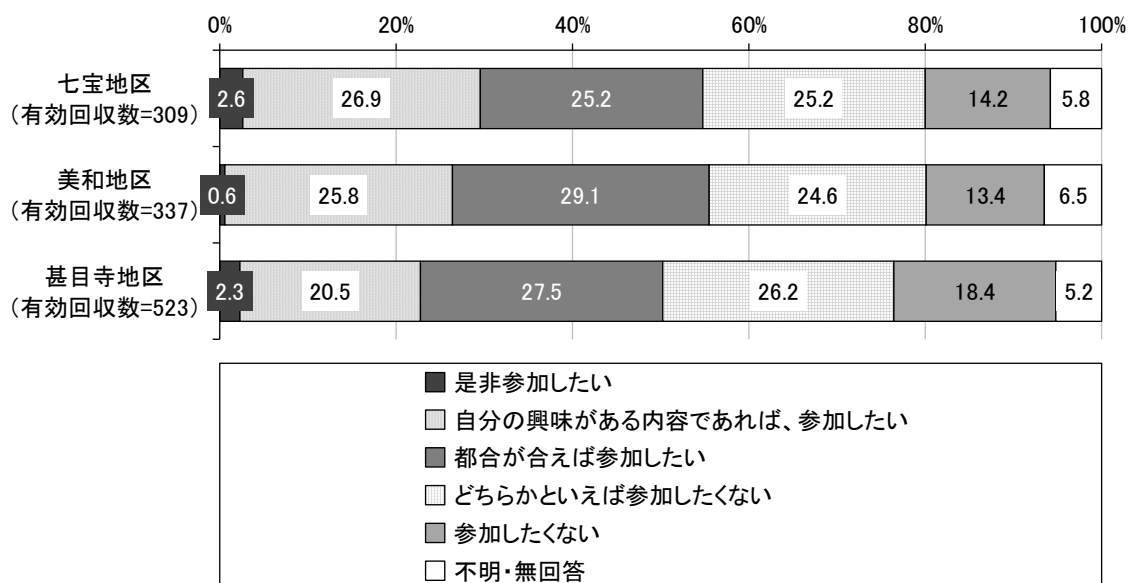
地区別にみると、「参加したい人」は、〔美和地区〕が 55.5%と他の地区に比べ高くなっています。



■ 年代別クロス

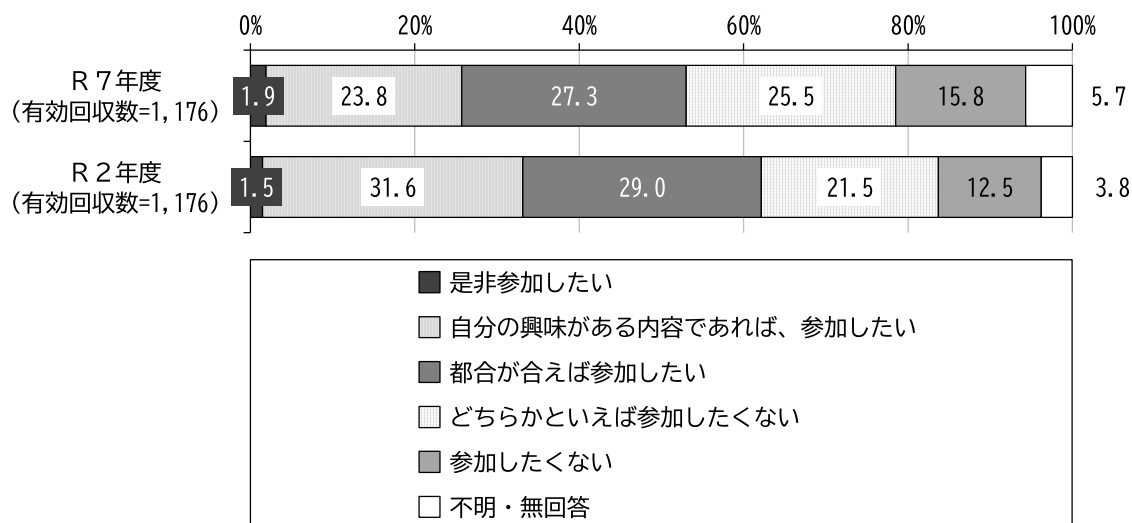


■ 地区別クロス



■ 令和2年度調査との比較

令和2年度調査と比較すると、「自分の興味がある内容であれば、参加したい」が7.8ポイント減少し、「どちらかといえば参加したくない」が4.0ポイント増加しています。



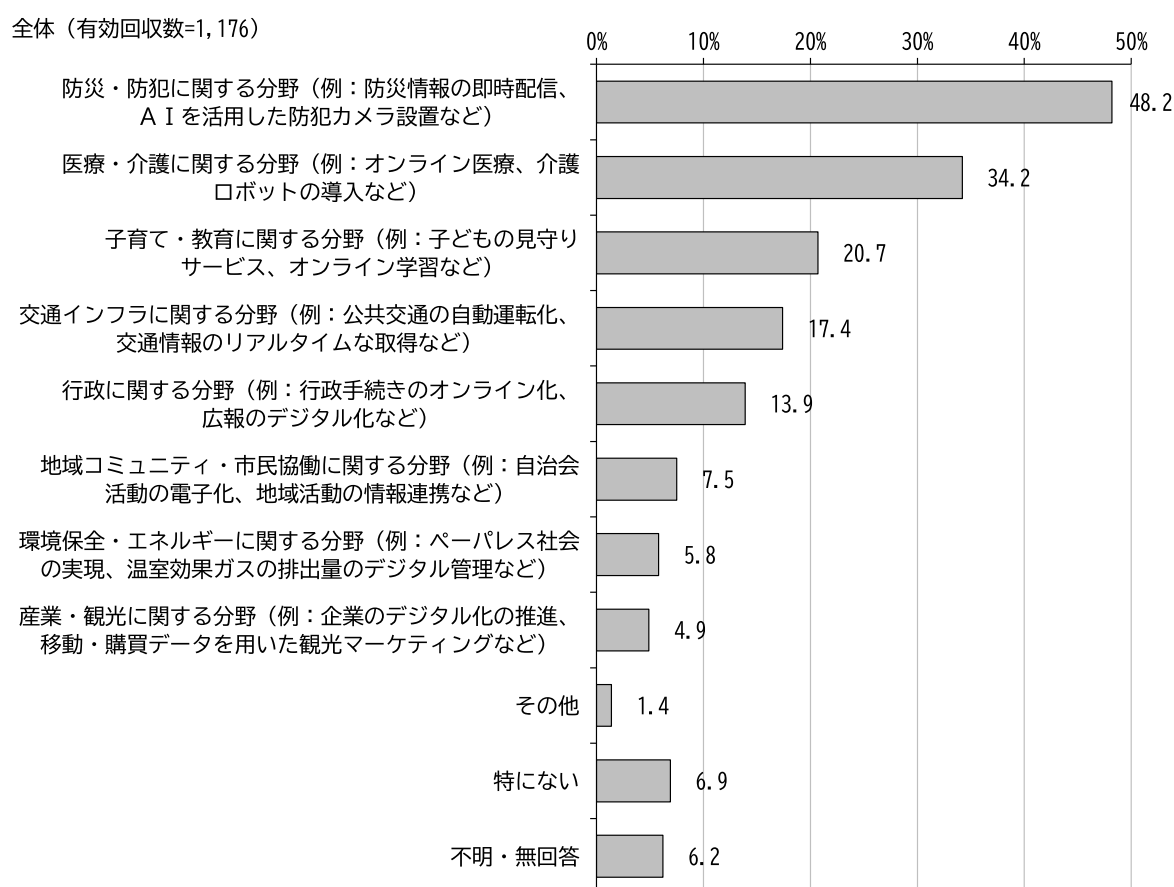
15 「デジタル化」の取組について

問 36 人口減少、少子高齢化が進む中、市民や民間事業者の皆さんなど一体となって、デジタル技術やＩＣＴ（情報通信技術）などを活用したまちづくりの推進が求められます。「デジタル化」に関して、今後より必要だと感じる分野は何ですか。（主なもの２つまで○）

デジタル化に必要と感じる分野についてみると、「防災・防犯に関する分野」が 48.2%と最も高く、次いで「医療・介護に関する分野」が 34.2%、「子育て・教育に関する分野」が 20.7%となっています。

年代別にみると、〔10 代〕〔30 代〕で「子育て・教育に関する分野」、他の年代で「防災・防犯に関する分野」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「防災・防犯に関する分野」が最も高くなっています。



■ 年代別クロス

単位：％	医療・介護に関する分野	子育て・教育に関する分野	環境保全・エネルギーに関する分野	防災・防犯に関する分野	交通インフラに関する分野	産業・観光に関する分野
10代(有効回収数=6)	16.7	50.0	0.0	33.3	33.3	16.7
20代(有効回収数=88)	28.4	36.4	8.0	42.0	17.0	8.0
30代(有効回収数=115)	35.7	50.4	6.1	40.0	13.9	4.3
40代(有効回収数=157)	29.9	28.0	4.5	51.0	21.0	5.7
50代(有効回収数=224)	38.8	13.8	5.8	47.8	22.8	6.3
60代(有効回収数=173)	42.8	18.5	5.8	59.0	19.1	4.0
70代以上(有効回収数=393)	30.8	11.2	5.6	47.6	12.7	3.3

単位：％	市民協働に関する分野	地域コミュニティに関する分野	行政に関する分野	その他	特にな	不明・無回答
10代(有効回収数=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(有効回収数=88)	6.8	21.6	0.0	2.3	0.0	0.0
30代(有効回収数=115)	6.1	22.6	1.7	3.5	0.0	0.0
40代(有効回収数=157)	12.7	21.0	0.6	2.5	1.3	1.3
50代(有効回収数=224)	7.1	20.1	0.9	8.0	2.2	2.2
60代(有効回収数=173)	7.5	8.7	0.6	5.2	2.9	2.9
70代以上(有効回収数=393)	6.4	5.9	2.5	10.7	14.2	14.2

■ 地区別クロス

単位：％	医療・介護に関する分野	子育て・教育に関する分野	環境保全・エネルギーに関する分野	防災・防犯に関する分野	交通インフラに関する分野	産業・観光に関する分野
七宝地区(有効回収数=309)	31.7	17.2	5.8	49.2	19.7	4.2
美和地区(有効回収数=337)	37.4	22.8	4.5	48.4	14.2	4.2
甚目寺地区(有効回収数=523)	33.7	21.6	6.5	47.6	17.6	5.7

単位：％	市民協働に関する分野	行政に関する分野	その他	特にない	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=309)	8.4	12.9	2.6	7.8	4.9
美和地区(有効回収数=337)	8.6	11.9	0.9	7.1	6.8
甚目寺地区(有効回収数=523)	6.3	16.1	1.0	6.3	6.7

16 自由意見

問 37 あなたが考えるまちづくりのアイデアや、これからのまちづくりで重要だと思うこと、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

1)安全・安心に関すること

防災対策について
あま市は地形から水害、液状化など災害被害を受けやすいと思うので、防災対策をしっかりやっていくことが必要だと思います。
雨量が多い時に低い土地は河川の水があふれて浸水するのを防ぐために、水門やポンプの管理を市役所でシステム化してほしい。
避難場所に冷暖房を付けるべき。低い土地に家屋が多く建てられているので、避難場所を高い所に設置できたらと思います。
避難場所まで遠い人がたくさんいる。高齢者も行きやすい避難体制にしてほしい。
防犯対策について
小中学校の通学路で暗い道が多く、街灯を付けて明るくしてほしい。
昼間家に人がいない家庭も多いので、道路に防犯カメラをつけるなど防犯強化をしてほしい。
交通安全について
高齢者や自転車の危険運転も多いので、警察の巡回を強化してほしい。
違法駐輪がひどい箇所がある。警察官やボランティアが朝の通勤・通学時間に見回ってほしい。
市役所前の通学路など、主要な道路に歩行者用信号機や横断歩道を設置してほしい。危険な交差点に右折専用レーンや右折用信号機を設置してほしい。
生活道路では狭く入り組んだ道が多く、カーブミラーも汚れて見えないままなので改善してほしい。

2)都市基盤に関すること

駅周辺整備について
あま市の駅周辺はアクセスが非常に悪く、道も狭い。もっと行きやすい環境にしてほしい。
甚目寺、七宝、木田の各駅について、駅前ににぎわいが生まれるよう開発を促進してほしい。
名鉄七宝駅と周辺の開発整備をしてほしい。コンビニでの不法駐輪や送迎車の停車が横行している。
名鉄七宝駅のホームを西へ移設し、ロータリーを作って巡回バスとの連携を高めてほしい。
公共交通機関について
あま市巡回バスが利用しにくい。バス停が遠い、運行本数が少ない、まわり道が多すぎるなど課題がある。
津島線の南側・新居屋地では巡回バスの停留所が近づくなく、この一帯は巡回バスにも乗れない。全体を見直してほしい。
免許返納して自動車をなくしたので、巡回バスをもっと便利にするか、乗合タクシーのようなものがあると良い。
生活環境について
下水道の完全整備をして、早急にあま市全域で運用してほしい。
上下水道の安全な供給や、道路陥没につながりかねない老朽インフラの更新を進めてほしい。
河川や用水路、その付近でのゴミの散乱や汚さが気になる。雨が続く時など汚水があふれている場所もある。
空き家が放置されている。土地を有効に使った方が、入ってくる人がもっと増えると思う。
野焼きを禁止にしてほしい。
外国人問題について、ゴミ出しの指定日時・場所・袋などを行政側で指導、説明してほしい。
猫やカラスに荒らされないゴミ捨て場対策をしてほしい。

3)健康・福祉に関すること

高齢者福祉について
高齢者で買物難民となっている人が増えている。病院へ行く、駅まで行く手段が十分ではない。
高齢者がまとまって住める場や、気軽に相談できる電話窓口があると良い。
障がい者福祉について
発達障害児について、保護者任せではなく、行政が療育施設や学校との橋渡しをしてほしい。
これからもっと高齢化が進むので、病気になった時の支援、精神障害者福祉などを充実させてほしい。
高齢の障害者なので、役所に行った時など車イスを貸してもらえるとありがたい。
保健・医療について
市の健康診断の項目を増やしてほしい。
あま市民病院や地域医療について、医師の体制や利用しやすさを改善してほしい。
救急体制を充実させてほしい。
休日診療所の整備をしてほしい。
介護や医療に関する相談窓口を分かりやすく、使いやすくしてほしい。

4)子育て・教育に関すること

子育てについて
共働き世帯が安心して子どもを預けられるような環境にしてほしい。学童と連携して習い事や放課後学習ができると良い。
子育て支援センターなど、室内で子どもがのびのび遊べる施設を設置してほしい。
子どもと出かけられるイベントや場所の提供、親や子が体調を崩した時の預け先の確保を充実させてほしい。
子ども医療費を拡充してほしい。高校卒業まで医療費を負担してほしい。
子育て支援センターが親子の息抜きになった。あまっこのアプリは良いと思う。
教育環境について
小学校のトイレ洋式化や、体育館にエアコンをつけるなど設備を充実させてほしい。
児童生徒数の偏りや徒歩通学時間の格差があり、学区再編が必要だと思う。
通学路の安全確保をしてほしい。
いじめの相談を受け止め、学校が早く丁寧に対応してほしい。
小学校の行事への教職員の関わり方や、教員の質の向上に力を入れてほしい。
生涯学習の場、内容の充実について
美和図書館を含め、図書館の本や学習スペースを充実させてほしい。
大きな図書館がほしい。集中部屋や友達と使える勉強スペース、充電できるスペースなどがあるとうれしい。
七宝町はプール、体育館、図書館など市民に必要な場所を充実させてほしい。
文化会館を活用して、皆で合唱できる会を開いてほしい。
あま市の歴史文化、建築物、文化人、生産物などが分かる歴史本がほしい。
スポーツ環境について
運動公園や陸上競技場など、あま市でもスポーツを活性化する施設を実現してほしい。
市役所の隣地などに文化・スポーツ施設を整備し、多くの市民が集えるようにしてほしい。
子どもが参加しやすいスポーツ環境や、バスケット・サッカーができる場所を増やしてほしい。

5)産業に関すること(商工業、農業、観光、地場産業など)

観光振興について
あま市には歴史的文化財が豊富なので、国内外にもっとアピールし知名度を上げるべきだと思う。
甚目寺駅、甚目寺観音近辺はもっと飲食店を誘致するなど活用した方が良い。
甚目寺、七宝、美和という美しい地名も含め、もっと全国に宣伝してほしい。
観光名所や特産品など、市独自の魅力を積極的にPRしていくことが効果的だと思う。
企業誘致について
市内に工業団地を作り、大手の企業を呼び込んで若い人がより多く働ける場所を作してほしい。
木田・七宝地区の農地転用による優良企業（製造業）誘致で、増収と活性化を図ってほしい。
あま市は企業が少ないように思う。企業誘致が必要ではないか。
地場産業の活性化について
七宝焼やアートビレッジをもっと身近なものにし、観光やにぎわいにつなげてほしい。
甚目寺観音や七宝焼、はけなど魅力的な産業があるので、それら産業も含め周辺も楽しめる街づくりをしてほしい。
商業の活性化について
大型商業施設を近くに作ってほしい。
あま市に大型商業施設が無いので、早急に動いてほしい。
市内に大型のホームセンターや家電量販店がないので、あったら良い。
商店街について
駅前商店街もなくさびしい。友人たちに楽しく案内できるような街になってほしい。
木田駅前周辺の商店街等の活性化を図ってほしい。
七宝駅から市役所までのロードに商店街を創出してほしい。
農業振興について
市街化調整区域では農地の大規模化・集約を図り、個別の開発を止めていくことが求められる。
田畑を守りつつ、道の駅や農業体験などで農業の魅力を生かしてほしい。
農業を志し実践する人が増えてほしい。お米や野菜でアピールするものができれば良い。

6)協働に関すること

自治会・町内会について
甚目寺沖田地区は自治会がなく、災害時の情報も分からないので、町内会を復活させてほしい。
自治会の負担が大きい。行事を減らしたり外部委託したりして、気持ち良く参加できる仕組みにしてほしい。
若い世帯が自治会に入らず不公平感がある。班長の負担が大きいなど、自治会のあり方を見直してほしい。
回覧板の電子化、自治会参加の自由化を進めてほしい。
ボランティアや交流の場について
新しい人・住宅が増えても、地域の行事やボランティアに不参加の方が増えているように感じる。
地域の年配の方達にも交流や活かし合う場みたいな所がほしい。
地域で助け合える雰囲気や、防災時に助け合える関係づくりが大切だと思う。

7) 上記以外でまちづくりに関すること

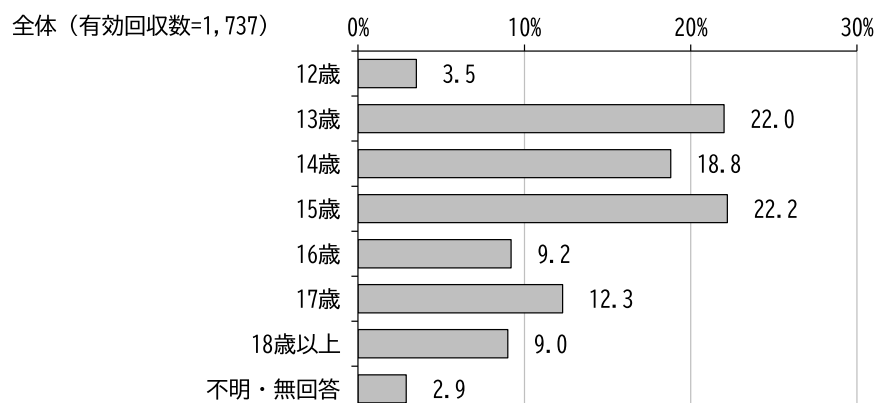
市の一体感・将来像について
美和、甚目寺、七宝の三町合併で誕生した市なので、『あま市』としての中心地、まとまりがなく、PR できるものがない。あま市としての特色や都市像を明確にしてほしい。
行政・民間・個人の一体感を大切にしたい。情報価値をできる限り共有できれば良い。
単に名古屋市のベッドタウンではなく、何が足りていないのかきちんと考えてもらいたい。
若い人が住みたい、住み続けたいと思えるまちにしてほしい。
子育て世帯だけでなく、独身者や高齢単身者も暮らしやすいまちを考えてほしい。
名古屋に近い立地を生かしながら、住みやすく、活気のあるまちにしてほしい。
行財政運営について
市役所が遠くなって不便であり、公共施設の配置を見直してほしい。
旧役場や市有施設の使い方を、市民に分かりやすく示してほしい。
補助金が少ない、税金の使い方が見えにくい。財政運営を分かりやすく示してほしい。
住民税に見合う行政サービスや、メリハリのある予算配分をしてほしい。
アンケートなどで市民の声を聞こうとする姿勢は良い。
あま市への愛着について
生まれ育ったこのまちが好きで、これからもあま市で子どもを育てたい。
あま市はいい所で、昔より便利になった、これからの発展を楽しみにしている。

Ⅲ アンケート調査結果（中高生）

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。（数字を入力）

年齢についてみると、「15歳」が22.2%と最も高く、次いで「13歳」が22.0%、「14歳」が18.8%となっています。



■ 在住地別クロス

単位: %	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳以上	不明・無回答
あま市内に住んでいる (有効回収数=1,336)	4.5	28.4	24.3	27.2	4.3	4.3	4.0	2.8
あま市外に住んでいる (有効回収数=395)	0.3	0.3	0.3	4.8	25.8	39.2	26.1	3.3

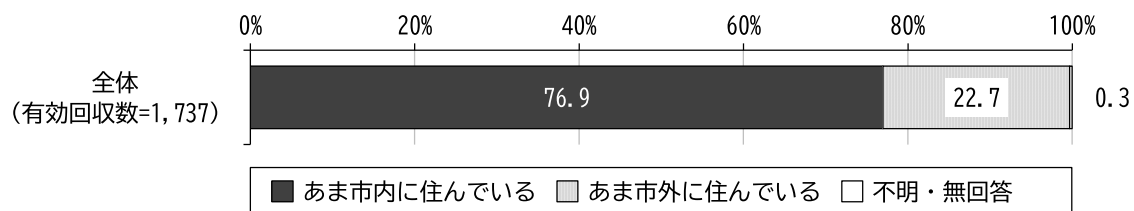
■ 地区別クロス

単位: %	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳以上	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=410)	4.6	29.3	26.8	26.3	2.2	2.9	4.1	3.7
美和地区(有効回収数=68)	5.9	10.3	4.4	7.4	25.0	26.5	20.6	0.0
甚目寺地区(有効回収数=848)	4.4	29.6	24.5	29.2	3.7	3.2	2.7	2.7

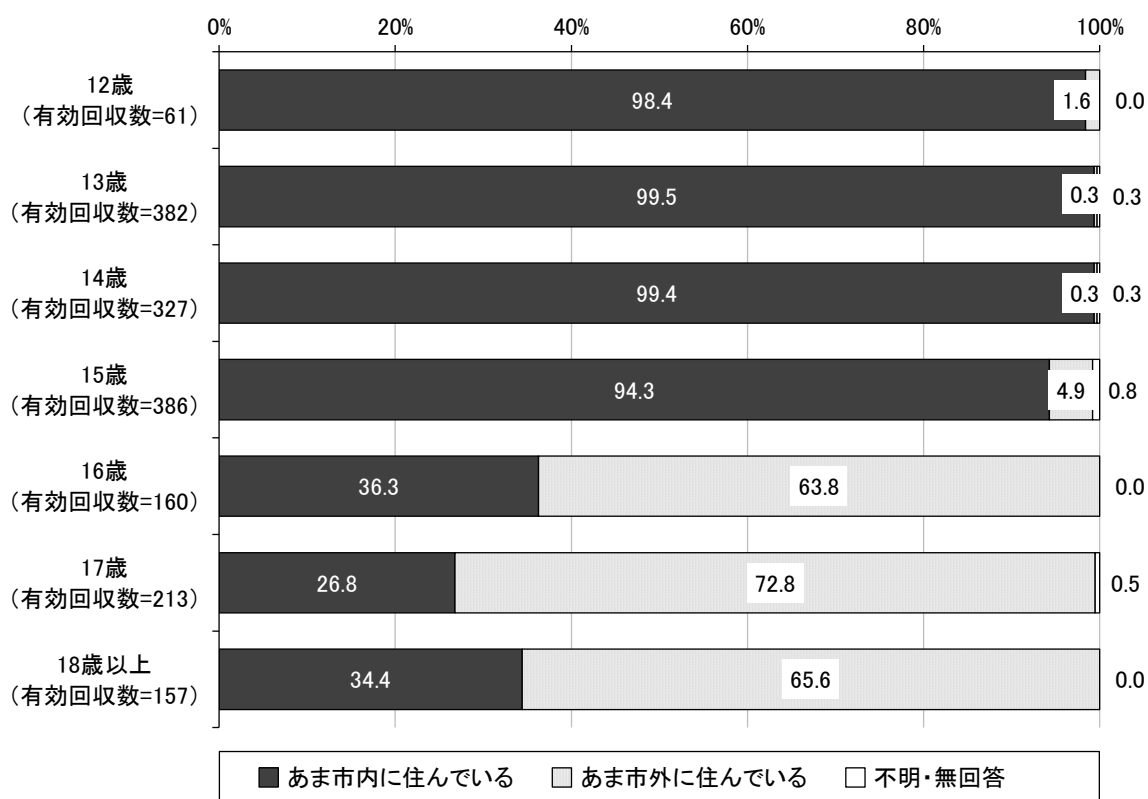
問2 あなたはあま市に住んでいますか。(○は1つだけ)

市内在住かについてみると、「あま市内に住んでいる」が76.9%「あま市外に住んでいる」が22.7%となっています。

年齢別にみると、〔12歳〕～〔15歳〕で「あま市内に住んでいる」が9割を超えています。〔16歳〕以上では「あま市外に住んでいる」が6割～7割となっています。



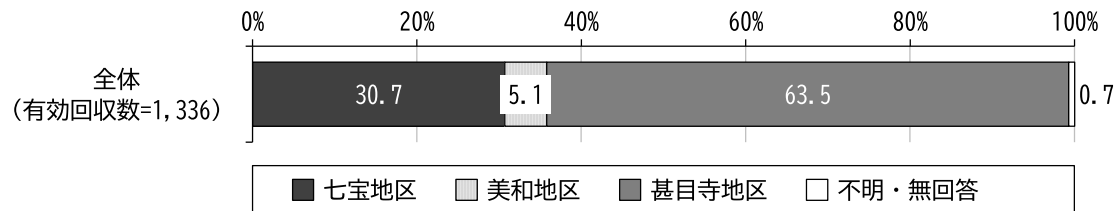
■ 年齢別クロス



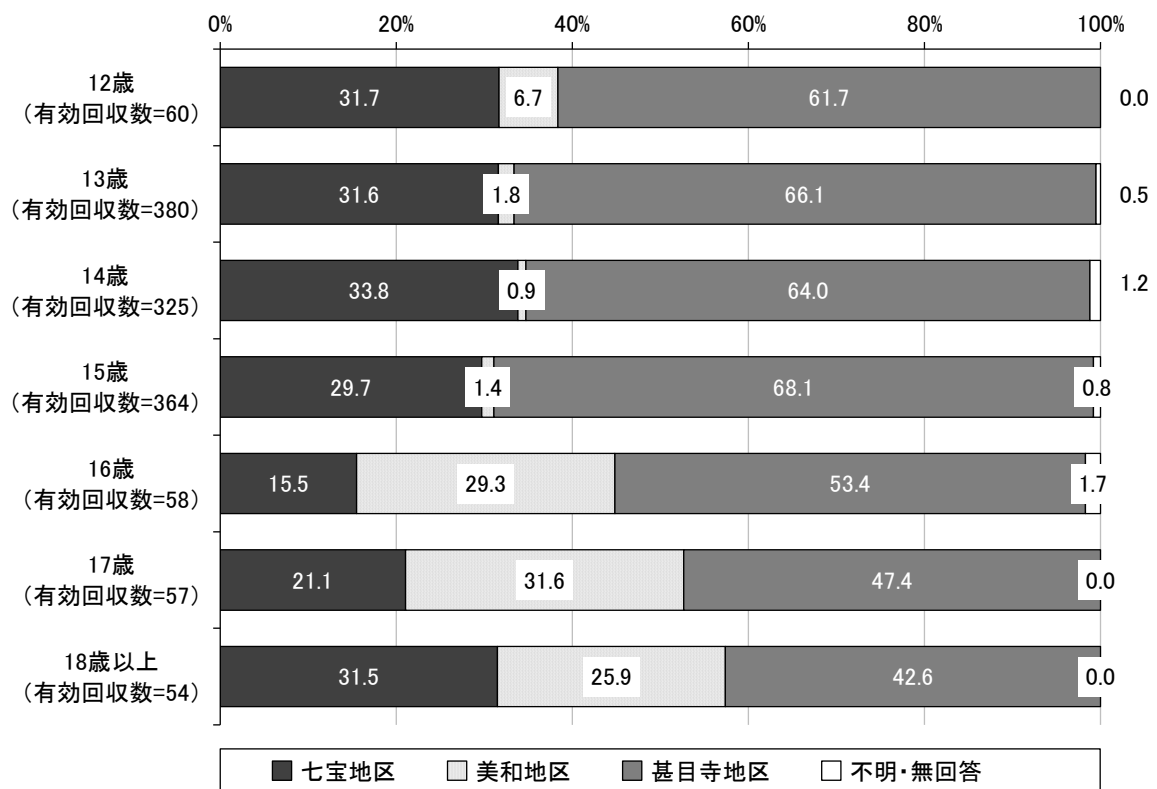
問2で「あま市内に住んでいる」と答えた方

問3 あなたはどの地区にお住まいですか。(○は1つだけ)

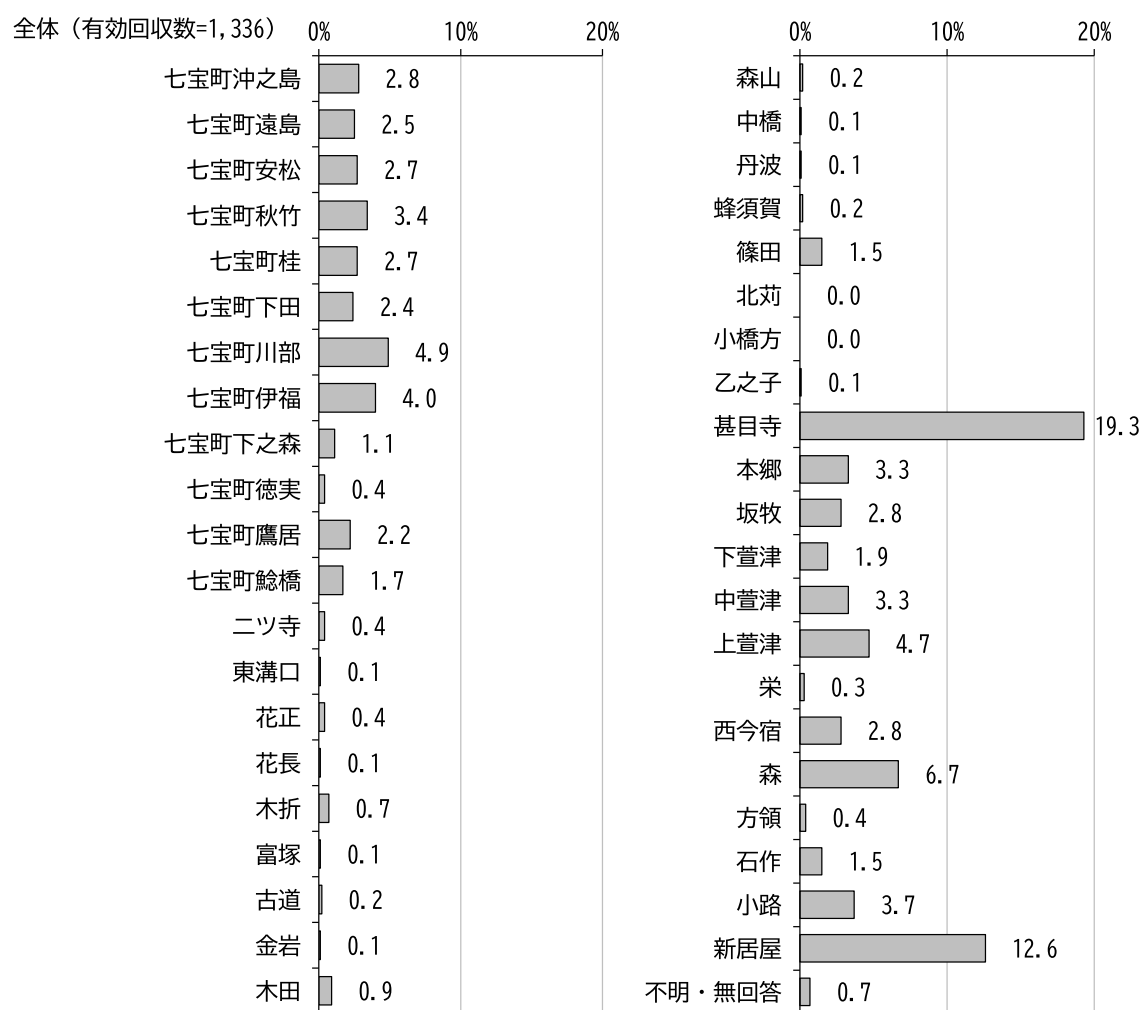
居住地区についてみると、「甚目寺地区」が63.5%と最も高く、次いで「七宝地区」が30.7%、「美和地区」が5.1%となっています。



■ 年齢別クロス



■ 42 地区



2 あま市の住みごころについて

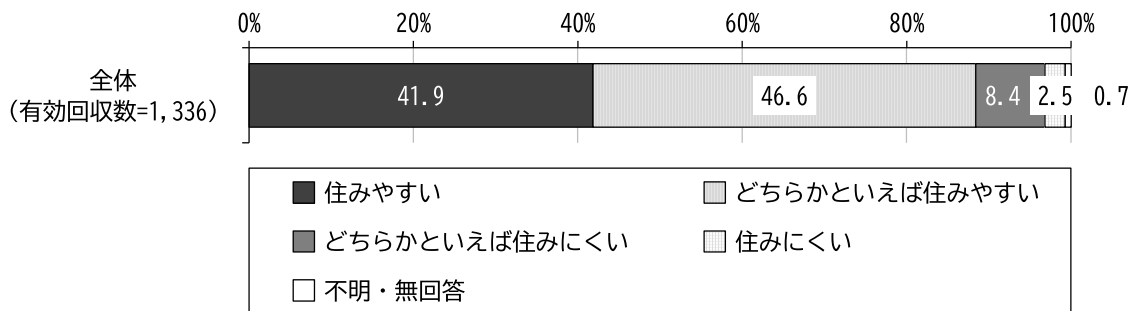
問2で「あま市内に住んでいる」と答えた方

問4 あま市の住みやすさはいかがですか。(○は1つだけ)

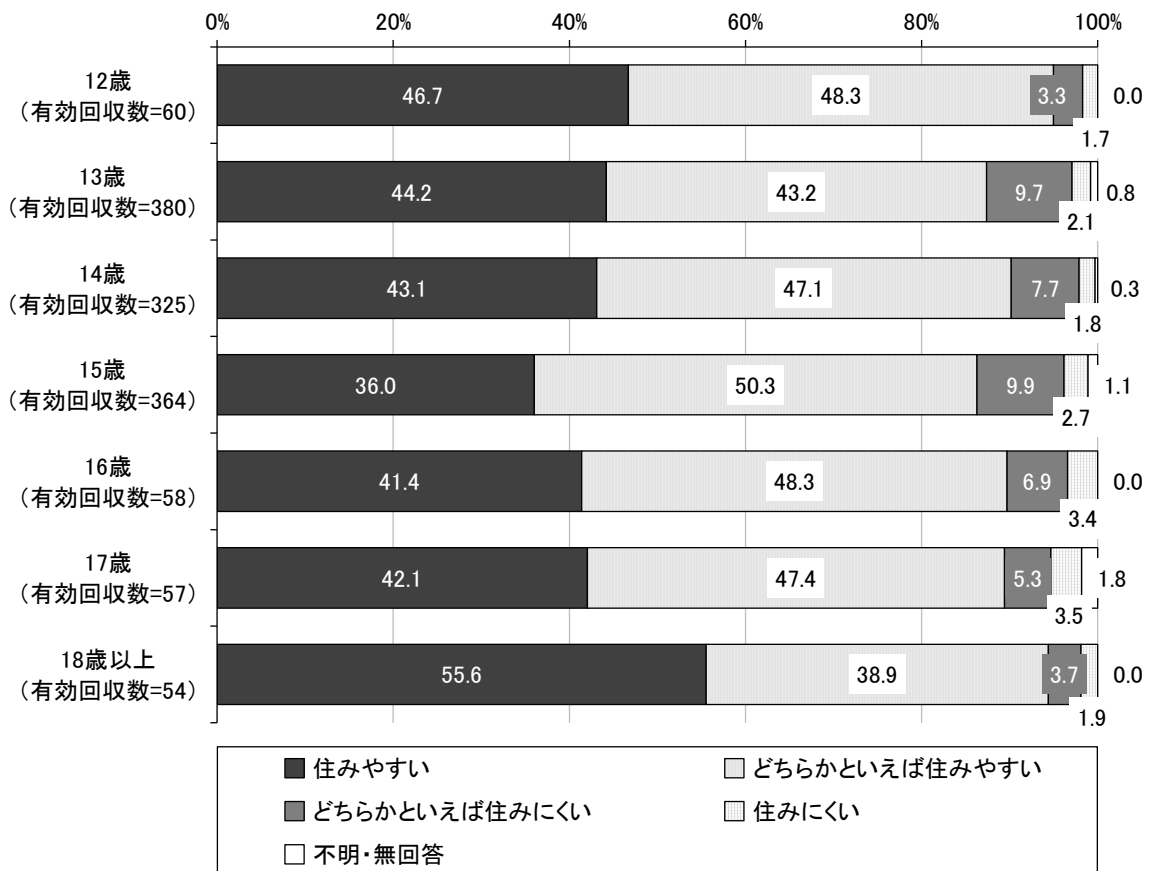
住みやすさについてみると、「どちらかといえば住みやすい」が46.6%と最も高く、次いで「住みやすい」が41.9%、「どちらかといえば住みにくい」が8.4%となっています。“住みやすいと思う人”(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)は、88.5%となっています。

年齢別にみると、“住みやすいと思う人”は、〔12歳〕〔14歳〕〔18歳以上〕で9割を超えています。

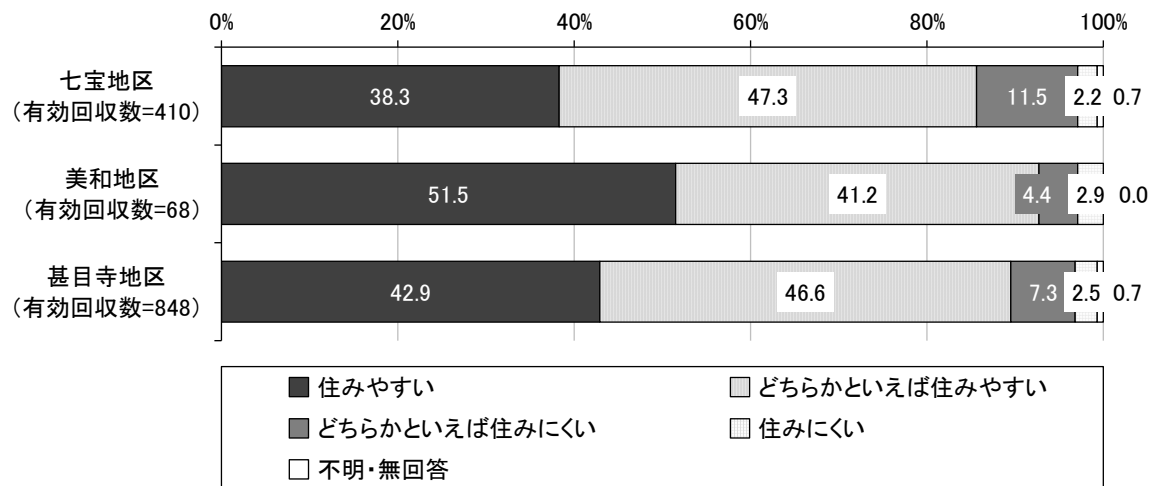
地区別にみると、“住みやすいと思う人”は、〔美和地区〕で92.7%と他の地区に比べ高くなっています。



■ 年齢別クロス



地区別クロス



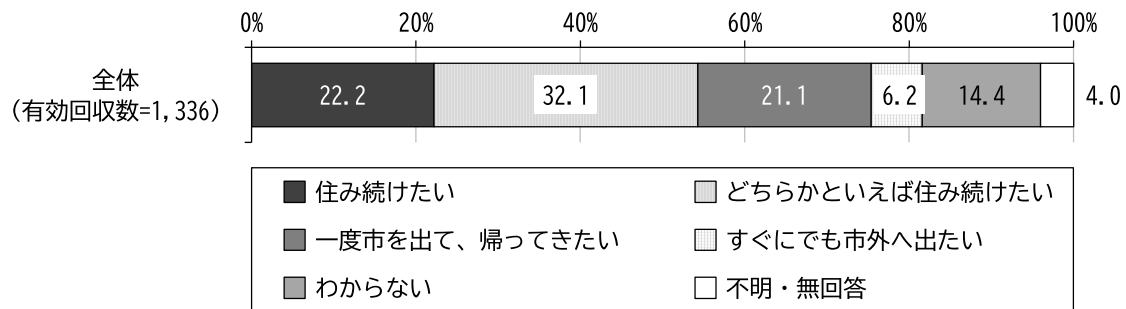
問2で「あま市内に住んでいる」と答えた方

問5 あなたは、今後もあま市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

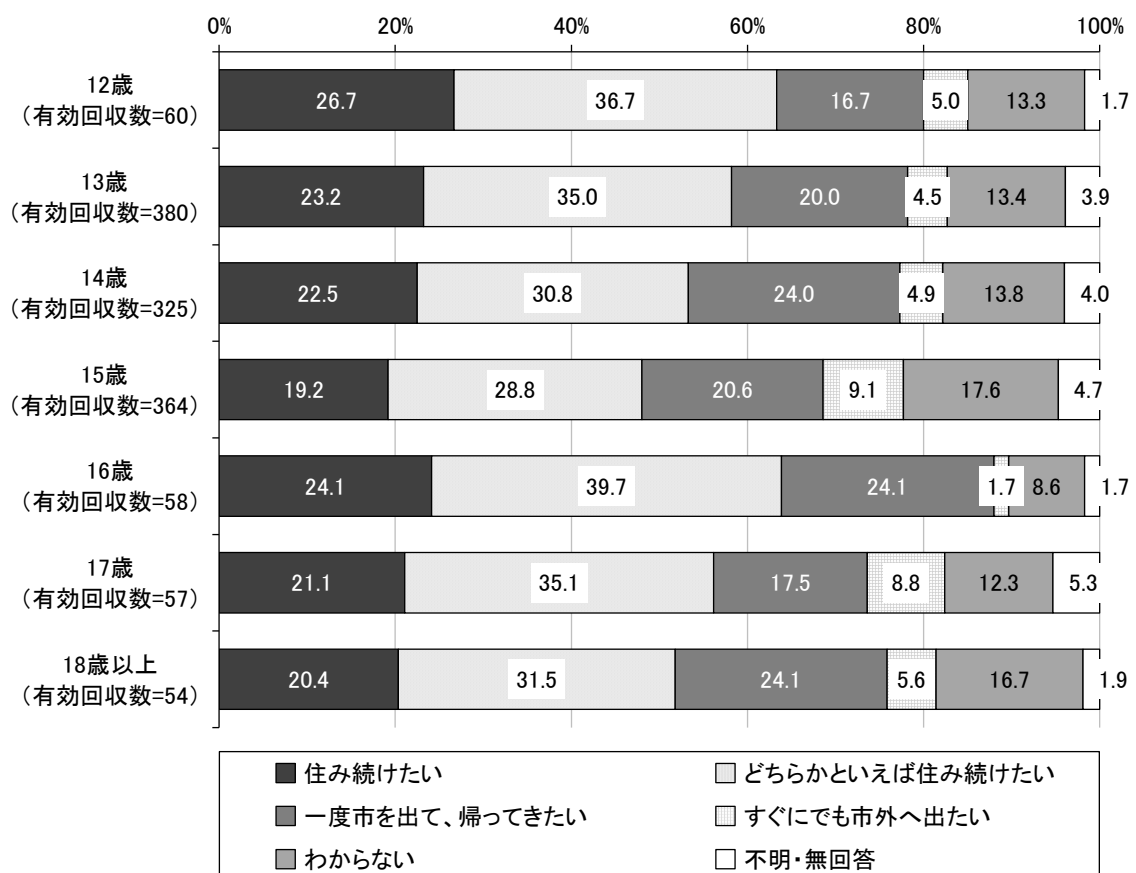
今後の居住意向についてみると、「どちらかといえば住み続けたい」が32.1%と最も高く、次いで「住み続けたい」が22.2%、「一度市を出て、帰ってきたい」が21.1%となっています。“住み続けたいと思う人”（「住み続けたい」＋「どちらかといえば住み続けたい」）は、54.3%となっています。

年齢別にみると、“住み続けたいと思う人”は、〔12歳〕〔16歳〕で6割を超えています。

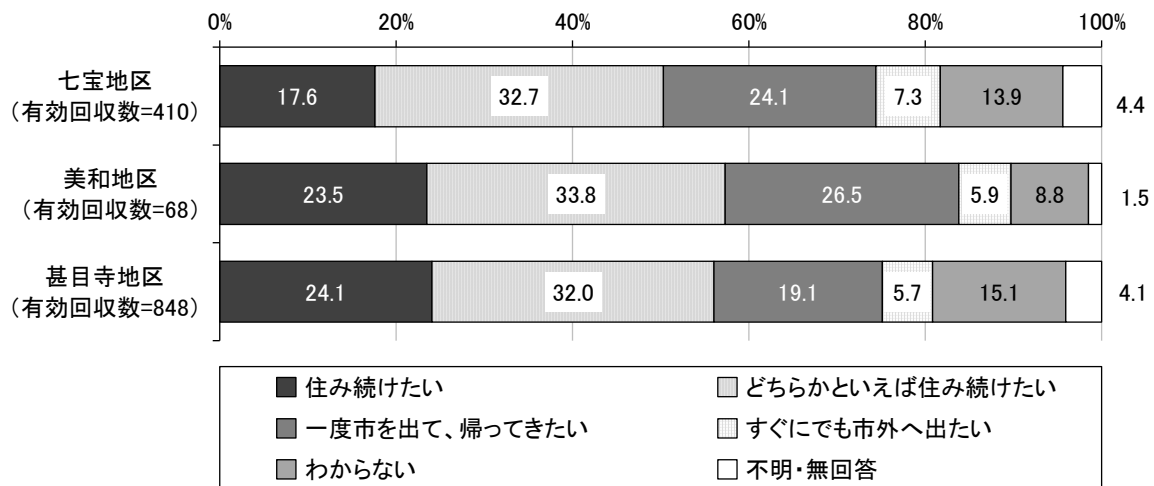
地区別にみると、“住み続けたいと思う人”は、〔美和地区〕で57.3%と他の地区に比べて高くなっています。



■ 年齢別クロス



地区別クロス



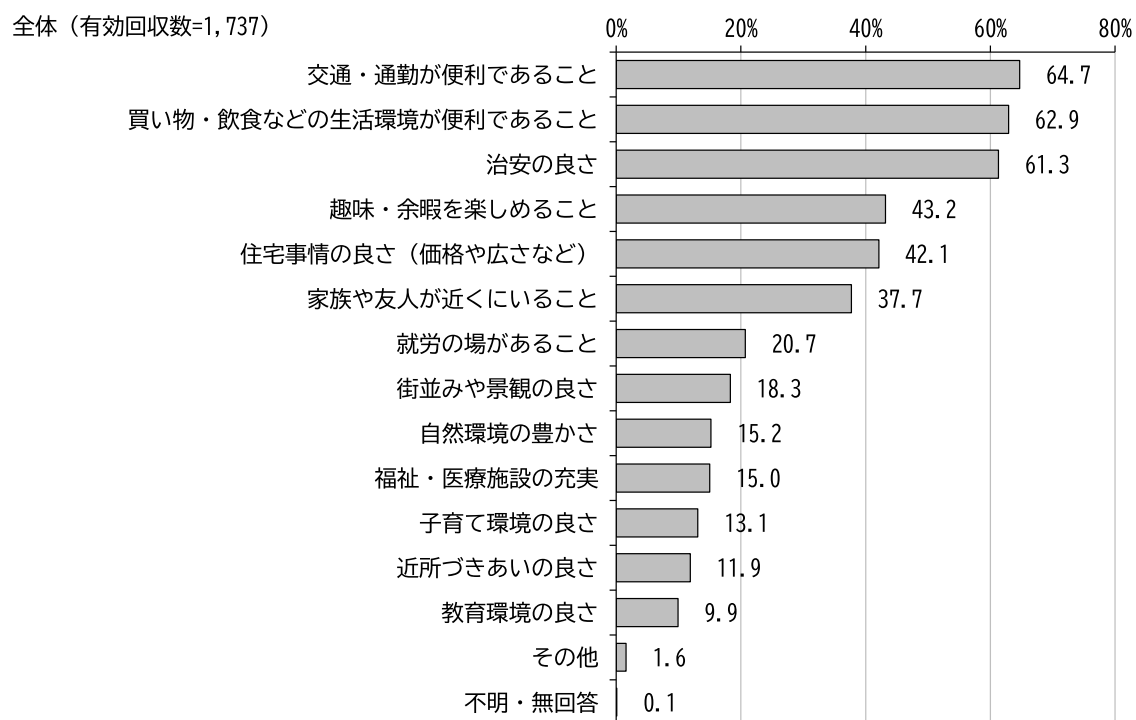
問6 あなたが将来住む場所に求めたいものは何ですか。(〇は5つまで)

将来住む場所に求めたいものについてみると、「交通・通勤が便利であること」が64.7%と最も高く、次いで「買い物・飲食などの生活環境が便利であること」が62.9%、「治安の良さ」が61.3%となっています。

年齢別にみると、〔12歳〕で「趣味・余暇を楽しめること」「治安の良さ」、〔13歳〕〔14歳〕で「買い物・飲食などの生活環境が便利であること」、〔15歳〕以上で「交通・通勤が便利であること」が最も高くなっています。

在住地別にみると、〔市内在住〕で「買い物・飲食などの生活環境が便利であること」、〔市外在住〕で「交通・通勤が便利であること」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕で「治安の良さ」、〔美和地区〕で「交通・通勤が便利であること」、〔甚目寺地区〕で「買い物・飲食などの生活環境が便利であること」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位: %	就労の場があること	家族や友人が近くにいること	住宅事情の良さ（価格や広さなど）	交通・通勤が便利であること	買い物・飲食などの生活環境が便利であること	子育て環境の良さ	教育環境の良さ	趣味・余暇を楽しめること
12歳（有効回収数=61）	19.7	44.3	44.3	41.0	45.9	14.8	18.0	55.7
13歳（有効回収数=382）	16.5	53.9	34.8	50.8	65.4	11.8	11.8	49.0
14歳（有効回収数=327）	21.4	38.2	48.3	67.0	68.2	10.4	9.2	44.3
15歳（有効回収数=386）	22.0	32.4	38.9	66.3	63.2	11.9	7.8	46.9
16歳（有効回収数=160）	21.3	31.9	43.1	76.9	60.6	15.0	7.5	43.1
17歳（有効回収数=213）	25.4	30.5	48.8	76.1	61.0	17.4	7.0	32.9
18歳以上（有効回収数=157）	20.4	22.3	45.2	78.3	61.1	15.3	12.1	29.3

単位: %	福祉・医療施設の充実	自然環境の豊かさ	街並みや景観の良さ	治安の良さ	近所づきあいの良さ	その他	不明・無回答
12歳（有効回収数=61）	4.9	24.6	19.7	55.7	18.0	3.3	0.0
13歳（有効回収数=382）	11.5	18.1	18.8	56.0	16.8	2.9	0.0
14歳（有効回収数=327）	15.0	17.1	19.0	64.8	11.6	1.2	0.0
15歳（有効回収数=386）	15.0	17.6	18.9	64.0	8.3	0.5	0.5
16歳（有効回収数=160）	24.4	8.8	17.5	64.4	15.0	1.3	0.0
17歳（有効回収数=213）	20.2	10.3	14.1	59.6	7.0	0.5	0.0
18歳以上（有効回収数=157）	14.0	7.6	20.4	65.0	10.8	1.9	0.0

■ 在住地別クロス

単位: %	就労の場があること	家族や友人が近くに いること	住宅事情の良さ（価格や広さ など）	交通・通勤が便利であること	買い物・飲食などの生活環境が 便利であること	子育て環境の良さ	教育環境の良さ	趣味・余暇を楽しめること
あま市内に住んでいる (有効回収数=1,336)	20.6	40.9	40.6	61.0	63.7	11.5	9.5	44.6
あま市外に住んでいる (有効回収数=395)	21.0	26.3	47.1	77.5	59.7	18.7	10.9	38.2

単位: %	福祉・医療施設の充実	自然環境の豊かさ	街並みや景観の良さ	治安の良さ	近所づきあいの良さ	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる (有効回収数=1,336)	12.8	16.5	18.8	60.6	12.5	1.6	0.1
あま市外に住んでいる (有効回収数=395)	22.5	10.9	17.0	63.8	9.9	1.5	0.0

■ 地区別クロス

単位：％	就労の場があること	家族や友人が近くに いること	住宅事情の良さ（価格や 広さなど）	交通・通勤が便利である こと	買い物・飲食などの生活 環境が便利であること	子育て環境の良さ	教育環境の良さ	趣味・余暇を楽しめる こと
七宝地区（有効回収数=410）	18.3	39.5	40.5	62.9	61.7	9.8	10.0	43.4
美和地区（有効回収数=68）	27.9	35.3	39.7	66.2	51.5	13.2	8.8	30.9
甚目寺地区（有効回収数=848）	21.1	42.2	40.8	59.8	65.7	12.0	9.4	46.2

単位：％	福祉・医療施設の充 実	自然環境の豊かさ	街並みや景観の良 さ	治安の良さ	近所づきあいの良 さ	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=410）	13.7	17.8	19.0	63.2	11.5	2.4	0.0
美和地区（有効回収数=68）	13.2	16.2	20.6	54.4	11.8	1.5	1.5
甚目寺地区（有効回収数=848）	12.1	15.9	18.6	59.6	13.0	1.3	0.1

3 あま市への愛着・魅力について

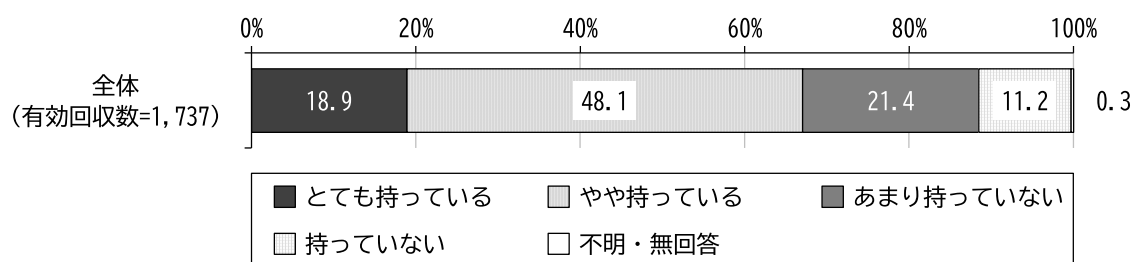
問7 あま市に誇りや愛着を持っていますか。(○は1つだけ)

あま市への誇りや愛着についてみると、「やや持っている」が48.1%と最も高く、次いで「あまり持っていない」が21.4%、「とても持っている」が18.9%となっています。「愛着を持っている人」（「とても持っている」「やや持っている」）は、67.0%となっています。

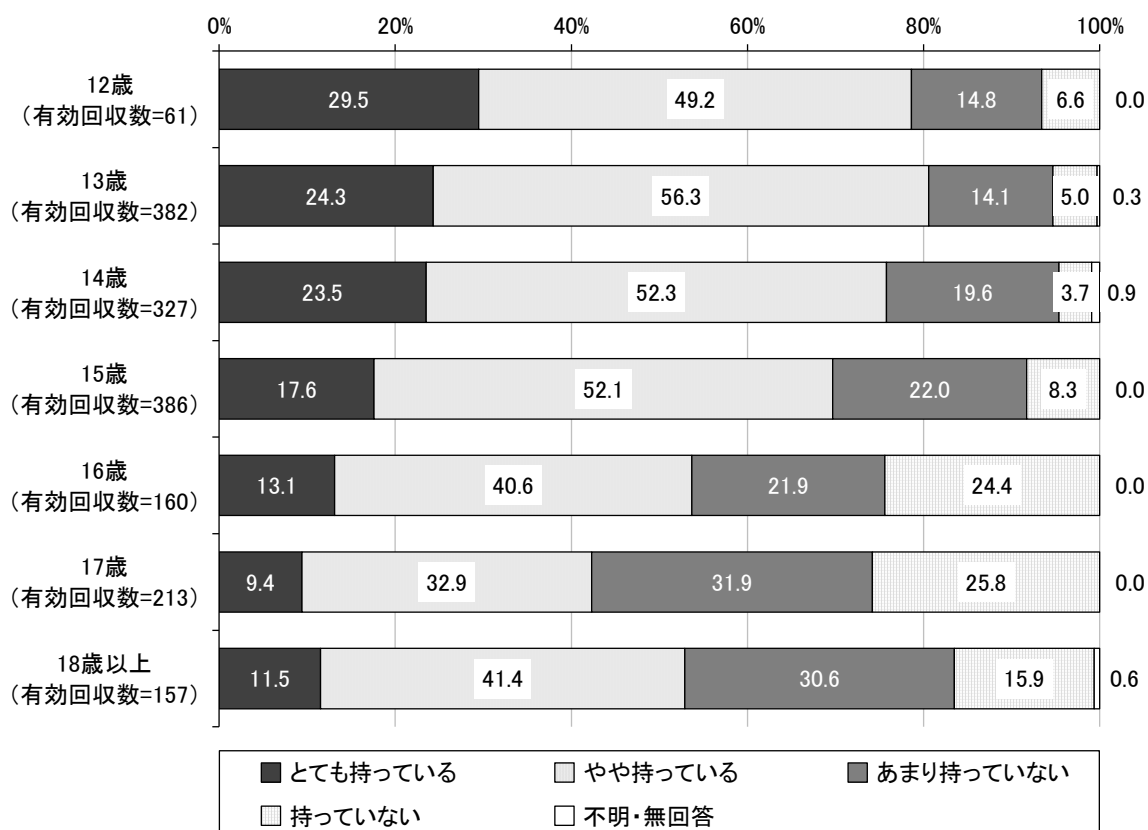
年齢別についてみると、〔17歳〕を除いた年齢で“愛着を持っている人”が半数を超えています。

在住地別にみると、“愛着を持っている人”は、〔市内在住〕で76.6%となっています。

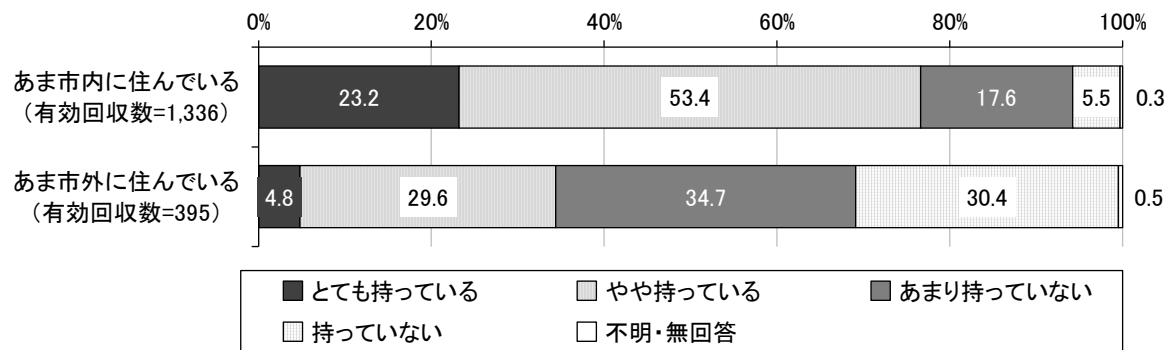
地区別についてみると、“愛着を持っている人”は、〔美和地区〕で82.3%と他の地区に比べて高くなっています。



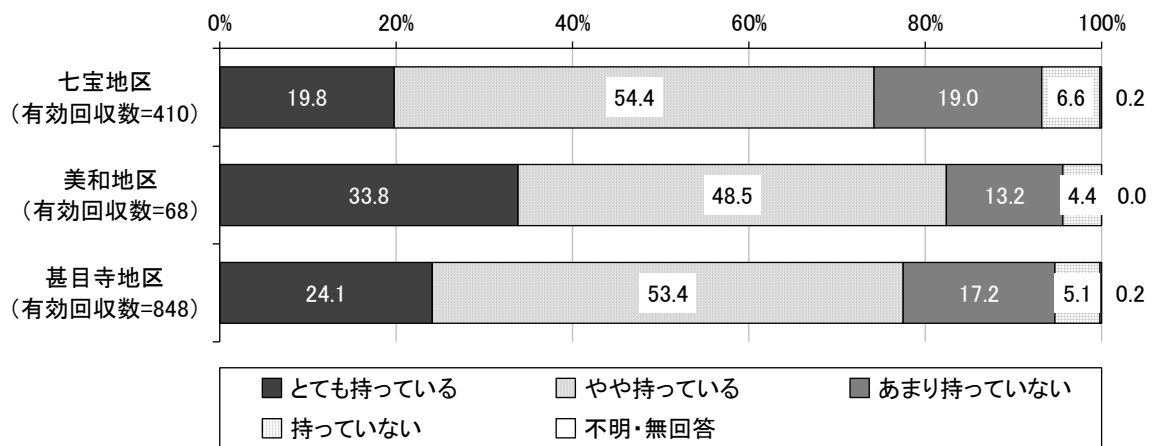
■ 年齢別クロス



■ 在住地別クロス



■ 地区別クロス



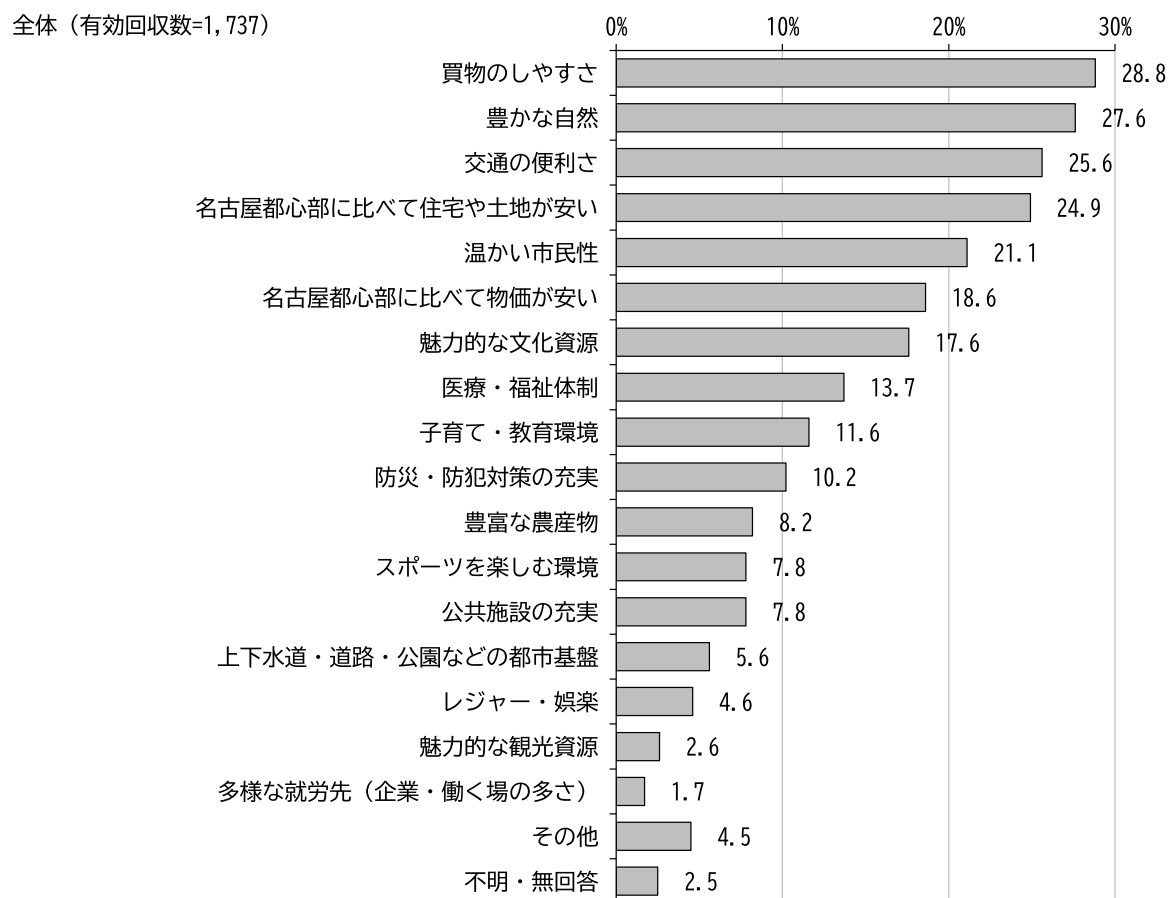
問8 あま市の魅力と思うところは何ですか。(〇は5つまで)

あま市の魅力についてみると、「買物のしやすさ」が28.8%と最も高く、次いで「豊かな自然」が27.6%、「交通の便利さ」が25.6%となっています。

年齢別にみると、〔12歳〕及び〔16歳〕以上で「豊かな自然」、〔13歳〕〔14歳〕で「買物のしやすさ」、〔15歳〕で「名古屋都心部に比べて住宅や土地が安い」が最も高くなっています。

在住地別にみると、〔市内在住〕で「買物のしやすさ」、〔市外在住〕で「豊かな自然」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔美和地区〕で「豊かな自然」、〔甚目寺地区〕で「買物のしやすさ」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
12歳（有効回収数=61）	18.0	16.4	14.8	24.6	31.1	11.5	27.9	1.6	4.9	4.9
13歳（有効回収数=382）	13.1	12.6	14.4	22.0	27.0	10.5	35.9	2.1	4.7	4.5
14歳（有効回収数=327）	12.2	14.7	17.1	22.0	23.2	10.1	39.4	1.2	6.4	2.4
15歳（有効回収数=386）	11.9	10.4	17.1	11.7	19.9	7.0	31.1	1.8	4.7	1.6
16歳（有効回収数=160）	10.6	7.5	10.0	15.0	37.5	5.0	21.3	1.9	5.0	1.9
17歳（有効回収数=213）	10.8	6.1	8.5	12.2	39.0	4.7	14.1	1.9	1.9	0.5
18歳以上（有効回収数=157）	5.1	4.5	7.0	20.4	29.3	7.0	13.4	0.6	3.8	3.2

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の利便さ	名古屋都市中心部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都市中心部に比べて物価が安い	都市基盤・下水道・道路・公園などの	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
12歳（有効回収数=61）	13.1	21.3	19.7	18.0	13.1	9.8	29.5	1.6	6.6
13歳（有効回収数=382）	12.8	25.1	21.2	19.1	6.8	8.9	30.4	6.3	1.6
14歳（有効回収数=327）	11.3	30.6	26.9	21.7	7.0	9.8	23.2	3.1	1.5
15歳（有効回収数=386）	4.1	33.4	34.2	22.8	6.5	6.2	19.7	3.6	1.6
16歳（有効回収数=160）	5.6	16.9	21.9	16.3	3.1	9.4	15.0	4.4	1.9
17歳（有効回収数=213）	3.8	16.9	18.3	13.6	1.9	6.1	11.3	7.5	6.1
18歳以上（有効回収数=157）	3.8	20.4	24.2	12.1	3.2	5.7	15.3	3.2	3.2

■ 在住地別クロス

単位: %	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
あま市内に住んでいる （有効回収数=1,336）	12.3	11.2	15.3	18.5	24.3	8.8	34.1	1.9	4.8	2.9
あま市外に住んでいる （有効回収数=395）	9.4	7.3	8.6	14.9	39.0	6.6	10.9	1.0	4.1	1.5

単位: %	スポーツを楽しむ環境	交通の便利さ	名古屋都市部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都市部に比べて物価が安い	市基盤 上下水道・道路・公園などの都	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる （有効回収数=1,336）	8.8	30.1	27.3	20.8	6.6	8.0	23.6	4.0	1.8
あま市外に住んでいる （有効回収数=395）	4.3	10.1	16.7	11.4	2.3	7.1	12.7	6.3	4.8

■ 地区別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
七宝地区（有効回収数=410）	11.7	9.0	11.0	24.6	28.5	9.5	25.6	1.0	1.7	2.7
美和地区（有効回収数=68）	10.3	5.9	2.9	11.8	39.7	8.8	26.5	2.9	2.9	4.4
甚目寺地区（有効回収数=848）	12.9	12.7	18.4	16.0	21.2	8.5	38.7	2.2	6.3	2.8

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の便利さ	名古屋都市部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都市部に比べて物価が安い	上下水道・道路・公園などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=410）	6.8	24.9	25.6	20.0	6.8	5.4	24.4	4.4	2.0
美和地区（有効回収数=68）	4.4	30.9	32.4	23.5	5.9	13.2	20.6	0.0	1.5
甚目寺地区（有効回収数=848）	10.3	32.5	27.8	21.1	6.6	9.0	23.3	3.9	1.8

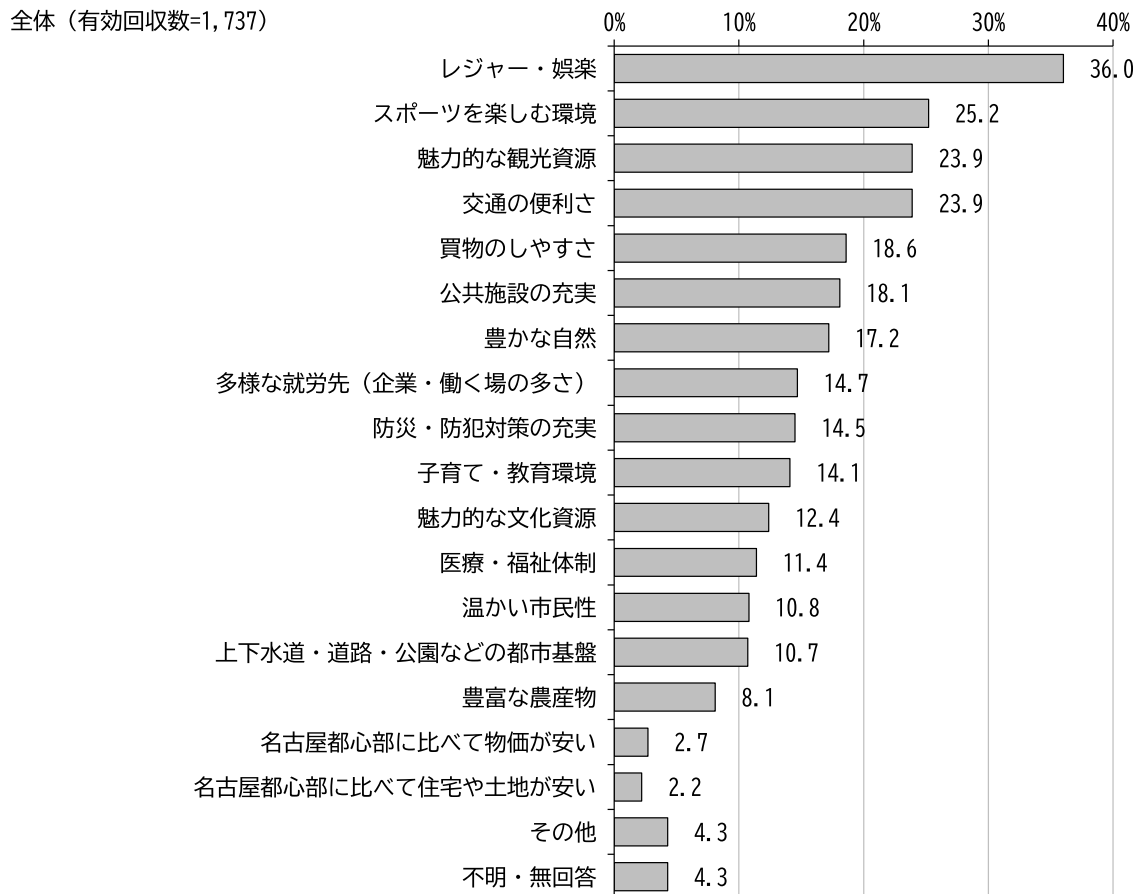
問9 あま市において不足していると思うところは何ですか。(〇は5つまで)

あま市に不足していることについてみると、「レジャー・娯楽」が 36.0%と最も高く、次いで「スポーツを楽しむ環境」が 25.2%、「魅力的な観光資源」「交通の便利さ」が 23.9%となっています。

年齢別についてみると、〔12 歳〕〔13 歳〕で「スポーツを楽しむ環境」、〔14 歳〕以上で「レジャー・娯楽」が最も高くなっています。

在住地別にみると、〔市内在住〕〔市外在住〕ともに「レジャー・娯楽」が最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「レジャー・娯楽」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位：%	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
12歳（有効回収数=61）	18.0	18.0	11.5	13.1	18.0	9.8	19.7	19.7	19.7	24.6
13歳（有効回収数=382）	12.0	16.5	12.3	11.0	20.9	10.2	17.8	19.1	27.7	24.6
14歳（有効回収数=327）	15.9	15.6	10.1	13.8	22.6	11.0	17.4	14.1	38.8	25.4
15歳（有効回収数=386）	13.5	14.0	10.9	16.3	19.4	11.1	19.4	16.3	40.7	23.6
16歳（有効回収数=160）	12.5	13.8	12.5	12.5	12.5	1.3	16.9	10.0	43.1	28.8
17歳（有効回収数=213）	15.5	14.1	13.1	8.0	8.9	3.3	20.7	10.3	33.8	20.2
18歳以上（有効回収数=157）	12.7	7.0	8.9	7.6	6.4	2.5	18.5	12.1	43.9	22.3

単位：%	スポーツを楽しむ環境	交通の便利さ	名古屋都心部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都心部に比べて物価が安い	都市基盤・下水道・道路・公園などの	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
12歳（有効回収数=61）	29.5	18.0	8.2	0.0	9.8	27.9	9.8	8.2	6.6
13歳（有効回収数=382）	29.1	20.2	2.1	4.7	12.3	14.4	7.6	6.3	5.5
14歳（有効回収数=327）	27.8	21.1	2.8	3.7	13.8	19.6	10.4	3.1	4.9
15歳（有効回収数=386）	31.6	22.3	1.6	1.6	13.0	23.6	10.9	2.8	2.3
16歳（有効回収数=160）	19.4	30.6	1.3	0.6	6.3	11.9	9.4	3.8	6.3
17歳（有効回収数=213）	12.7	31.9	2.3	1.9	7.5	16.4	20.2	4.7	3.3
18歳以上（有効回収数=157）	17.2	29.9	1.9	3.2	5.1	16.6	8.9	3.8	3.8

■ 在住地別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
あま市内に住んでいる （有効回収数=1,336）	14.4	15.2	11.8	13.2	20.0	9.8	17.9	16.7	35.3	24.6
あま市外に住んでいる （有効回収数=395）	13.2	12.4	9.9	9.6	8.1	2.3	21.0	7.8	38.5	21.5

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の便利さ	名古屋都市部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都市部に比べて物価が安い	都市基盤 上下水道・道路・公園などの	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる （有効回収数=1,336）	28.3	20.4	2.2	2.8	12.0	19.4	9.4	4.1	4.3
あま市外に住んでいる （有効回収数=395）	14.7	35.9	2.3	2.3	6.1	13.2	15.4	5.1	4.3

■ 地区別クロス

単位：％	子育て・教育環境	防災・防犯対策の充実	医療・福祉体制	魅力的な文化資源	豊かな自然	豊富な農産物	買物のしやすさ	多様な就労先（企業・働く場の多さ）	レジャー・娯楽	魅力的な観光資源
七宝地区（有効回収数=410）	14.6	14.6	13.7	11.5	16.1	9.8	19.5	21.2	34.1	26.3
美和地区（有効回収数=68）	19.1	16.2	19.1	7.4	13.2	5.9	19.1	11.8	47.1	27.9
甚目寺地区（有効回収数=848）	13.9	15.4	10.3	14.3	22.3	10.3	16.7	15.1	34.9	23.5

単位：％	スポーツを楽しむ環境	交通の便利さ	名古屋都心部に比べて住宅や土地が安い	名古屋都心部に比べて物価が安い	上下水道・道路・公園などの都市基盤	公共施設の充実	温かい市民性	その他	不明・無回答
七宝地区（有効回収数=410）	32.7	28.0	0.7	2.2	9.0	21.2	8.5	3.2	2.7
美和地区（有効回収数=68）	17.6	13.2	2.9	1.5	13.2	23.5	7.4	1.5	5.9
甚目寺地区（有効回収数=848）	27.2	17.5	2.7	3.2	13.3	18.2	9.9	4.8	5.0

4 あま市のまちづくりに望むことについて

問 10 あま市を若者にとってより良いまちにするためにしてほしいことは何ですか。

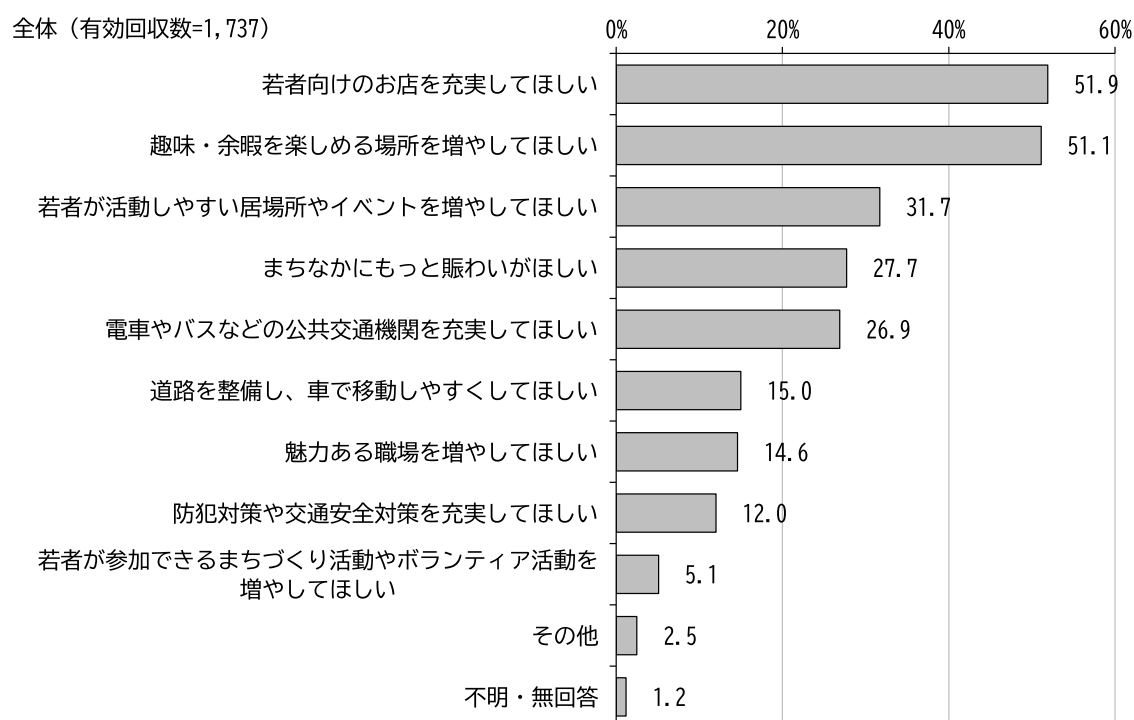
(〇は3つまで)

若者にとってより良いまちにしてほしいことについてみると、「若者向けのお店を充実してほしい」が51.9%と最も高く、次いで「趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい」が51.1%、「若者が活動しやすい居場所やイベントを増やしてほしい」が31.7%となっています。

年齢別にみると、〔12歳〕及び〔16歳〕以上で「若者向けのお店を充実してほしい」、〔13歳〕～〔15歳〕で「趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい」が最も高くなっています。

在住地別にみると、〔市内在住〕で「趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい」、〔市外在住〕で「若者向けのお店を充実してほしい」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔甚目寺地区〕で「趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい」、〔美和地区〕で「若者向けのお店を充実してほしい」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位: %	まちなかにもっと賑わいがほしい	若者が活動しやすい居場所やイベントを増やしてほしい	若者向けのお店を充実してほしい	防犯対策や交通安全対策を充実してほしい	道路を整備し、車で移動しやすくしてほしい	電車やバスなどの公共交通機関を充実してほしい	若者が参加できるまちづくり活動やボランティア活動を増やしてほしい	魅力ある職場を増やしてほしい	趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい	その他	不明・無回答
12歳(有効回収数=61)	26.2	32.8	45.9	24.6	13.1	16.4	6.6	13.1	44.3	6.6	3.3
13歳(有効回収数=382)	29.8	33.5	47.6	13.6	15.7	20.4	7.3	17.3	55.5	2.9	2.4
14歳(有効回収数=327)	28.1	34.9	56.3	9.2	14.7	26.9	4.9	17.7	58.7	0.9	0.0
15歳(有効回収数=386)	26.2	29.0	52.6	11.7	14.8	28.5	5.2	14.5	55.2	2.3	1.0
16歳(有効回収数=160)	26.9	33.1	56.9	9.4	11.3	34.4	5.6	11.3	48.8	1.9	0.0
17歳(有効回収数=213)	25.4	25.4	50.2	12.2	18.3	32.4	3.8	8.9	40.4	3.3	1.9
18歳以上(有効回収数=157)	29.3	35.0	52.9	10.2	13.4	31.8	1.9	14.0	38.2	1.9	0.6

■ 在住地別クロス

単位: %	まちなかにもっと賑わいがほしい	若者が活動しやすい居場所やイベントを増やしてほしい	若者向けのお店を充実してほしい	防犯対策や交通安全対策を充実してほしい	道路を整備し、車で移動しやすくしてほしい	電車やバスなどの公共交通機関を充実してほしい	若者が参加できるまちづくり活動やボランティア活動を増やしてほしい	魅力ある職場を増やしてほしい	趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる (有効回収数=1,336)	27.5	31.7	52.2	11.5	15.0	23.9	5.6	16.9	54.9	2.5	1.1
あま市外に住んでいる (有効回収数=395)	28.4	31.6	50.9	13.9	14.9	37.0	3.5	6.8	38.0	2.5	1.3

■ 地区別クロス

単位：%	まちなかにもつと賑わいがほしい	若者が活動しやすい居場所やイベントを増やしてほしい	若者向けのお店を充実してほしい	防犯対策や交通安全対策を充実してほしい	道路を整備し、車で移動しやすくしてほしい	電車やバスなどの公共交通機関を充実してほしい	若者が参加できるまちづくり活動やボランティア活動を増やしてほしい	魅力ある職場を増やしてほしい	趣味・余暇を楽しめる場所を増やしてほしい	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=410)	27.3	29.5	51.5	10.7	17.1	32.2	6.3	14.4	52.4	2.7	1.0
美和地区(有効回収数=68)	27.9	30.9	55.9	11.8	14.7	19.1	7.4	17.6	50.0	2.9	0.0
甚目寺地区(有効回収数=848)	27.6	32.9	52.2	11.9	14.0	20.2	5.1	18.0	56.4	2.5	1.3

5 地域活動について

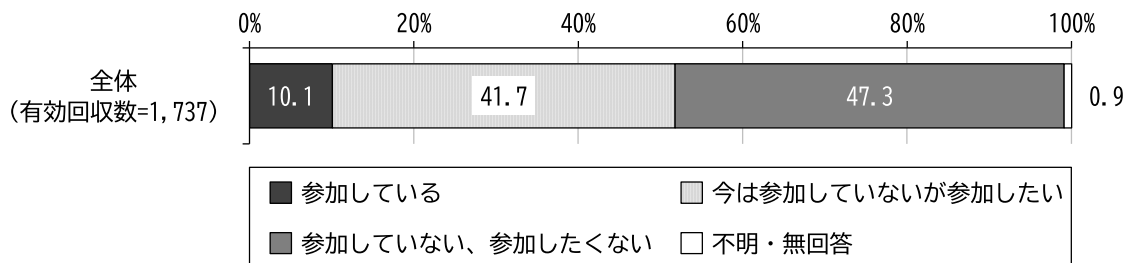
問 11 あなたは現在、何らかの地域活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

地域活動の参加についてみると、「参加していない、参加したくない」が47.3%と最も高く、次いで「今は参加していないが参加したい」が41.7%、「参加している」が10.1%となっています。

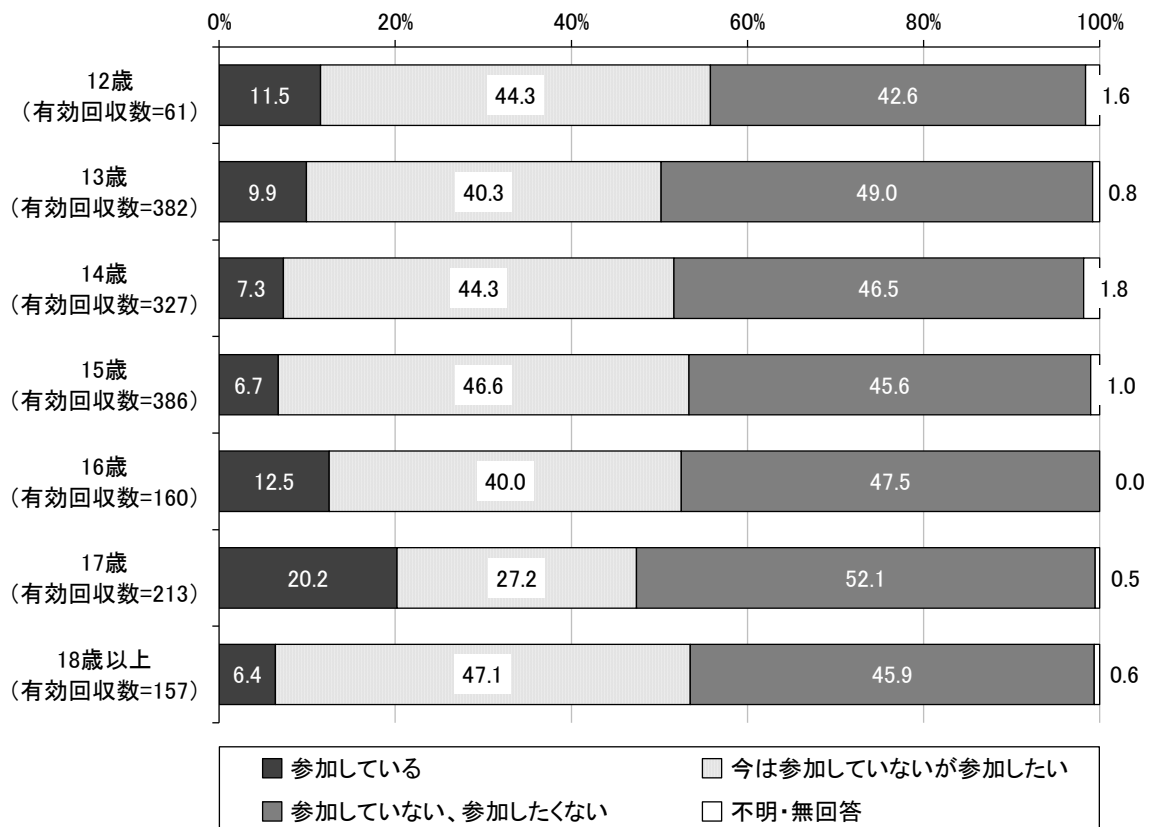
年齢別についてみると、〔12歳〕〔15歳〕〔18歳以上〕で「今は参加していないが参加したい」、その他の年代で「参加していない、参加したくない」が最も高くなっています。また、〔17歳〕は、「参加している」が2割を超え他の年齢と比べて高くなっています。

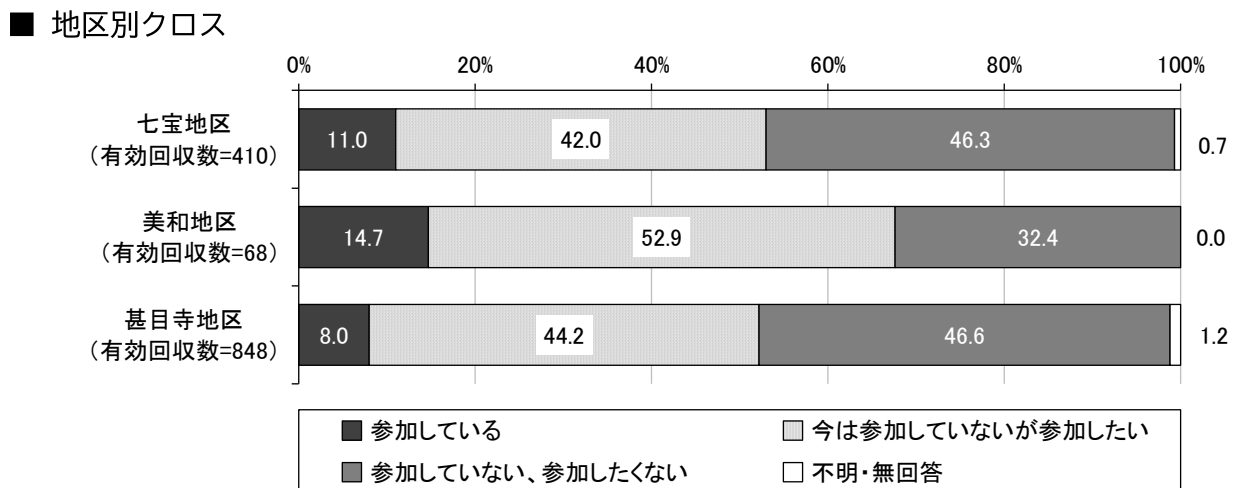
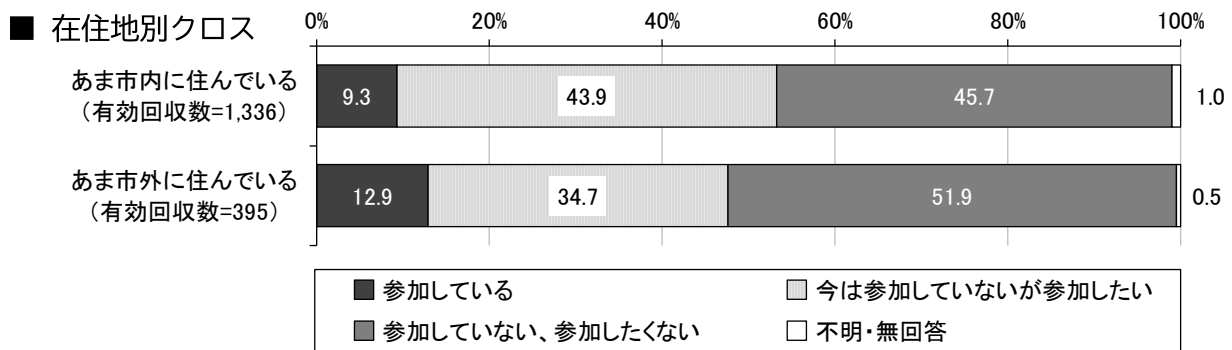
在住地別にみると、〔市内在住〕は、現在参加している人は〔市外在住〕に比べて低いものの、今後の参加意向は高くなっています。

地区別についてみると、〔七宝地区〕〔甚目寺地区〕で「参加していない、参加したくない」、〔美和地区〕で「今は参加していないが参加したい」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス





問 11 で「参加している」と答えた方

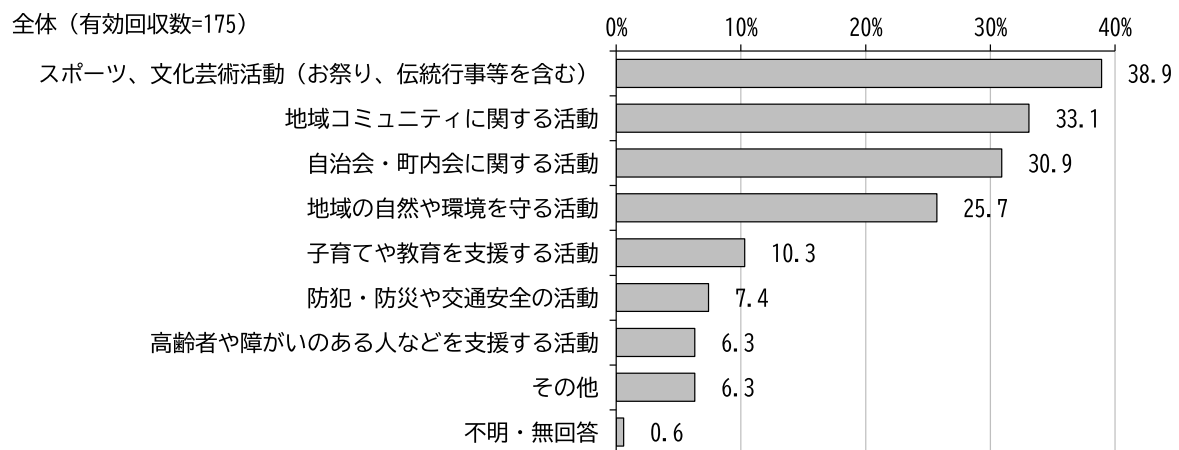
問 11-1 どのような地域活動に参加しておられますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している地域活動についてみると、「スポーツ、文化芸術活動」が 38.9%と最も高く、次いで「地域コミュニティに関する活動」が 33.1%、「自治会・町内会に関する活動」が 30.9%となっています。

年齢別についてみると、〔12 歳〕～〔14 歳〕で「スポーツ、文化芸術活動」、〔15 歳〕〔17 歳〕で「地域コミュニティに関する活動」、〔16 歳〕で「自治会・町内会に関する活動」、〔18 歳以上〕で「地域コミュニティに関する活動」「地域の自然や環境を守る活動」「スポーツ、文化芸術活動」が最も高くなっています。

在住地別にみると、〔市内在住〕で「スポーツ、文化芸術活動」、〔市外在住〕で「地域コミュニティに関する活動」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔七宝地区〕〔甚目寺地区〕で「スポーツ、文化芸術活動」、〔美和地区〕で「自治会・町内会に関する活動」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位: %	自治会・町内会に関する活動	地域コミュニティに関する活動	子育てや教育を支援する活動	高齢者や障がいのある人などを支援する活動	地域の自然や環境を守る活動	防犯・防災や交通安全の活動	（スポーツ、文化芸術活動等を含む）	その他	不明・無回答
12歳（有効回収数=7）	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	85.7	14.3	0.0
13歳（有効回収数=38）	31.6	15.8	7.9	2.6	23.7	7.9	55.3	5.3	0.0
14歳（有効回収数=24）	25.0	20.8	8.3	12.5	20.8	12.5	50.0	4.2	4.2
15歳（有効回収数=26）	34.6	42.3	11.5	0.0	26.9	0.0	23.1	0.0	0.0
16歳（有効回収数=20）	40.0	25.0	20.0	10.0	25.0	5.0	20.0	5.0	0.0
17歳（有効回収数=43）	27.9	53.5	7.0	7.0	27.9	9.3	25.6	11.6	0.0
18歳以上（有効回収数=10）	10.0	40.0	10.0	10.0	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0

■ 在住地別クロス

単位: %	自治会・町内会に関する活動	地域コミュニティに関する活動	子育てや教育を支援する活動	高齢者や障がいのある人などを支援する活動	地域の自然や環境を守る活動	防犯・防災や交通安全の活動	スポーツ、文化芸術活動（お祭り、伝統行事等を含む）	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる (有効回収数=124)	33.1	27.4	8.9	4.8	23.4	8.1	43.5	4.0	0.8
あま市外に住んでいる (有効回収数=51)	25.5	47.1	13.7	9.8	31.4	5.9	27.5	11.8	0.0

■ 地区別クロス

単位: %	自治会・町内会に関する活動	地域コミュニティに関する活動	子育てや教育を支援する活動	高齢者や障がいのある人などを支援する活動	地域の自然や環境を守る活動	防犯・防災や交通安全の活動	スポーツ、文化芸術活動（お祭り、伝統行事等を含む）	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=45)	24.4	31.1	2.2	0.0	15.6	13.3	57.8	8.9	0.0
美和地区(有効回収数=10)	50.0	40.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
甚目寺地区(有効回収数=68)	35.3	22.1	13.2	5.9	30.9	4.4	38.2	1.5	1.5

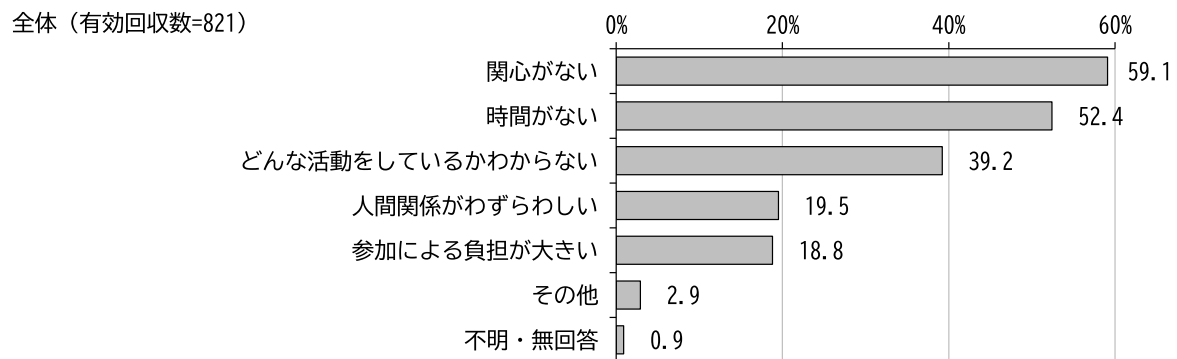
問 11 で「参加していない、参加したくない」と答えた方

問 11-2 参加したくない場合の理由（あてはまるものすべてに○）

参加したくない理由についてみると、「関心がない」が 59.1%と最も高く、次いで「時間がない」が 52.4%、「どんな活動をしているかわからない」が 39.2%となっています。

年齢別にみると、〔12 歳〕〔13 歳〕で「時間がない」、その他の年齢で「関心がない」が最も高くなっています。

在住地別・地区別では、すべての区分で「関心がない」が最も高くなっています。



■ 年齢別クロス

単位: %	関 心 が な い	時 間 が な い	人 間 関 係 が わ ず ら わ し い	参 加 に よ る 負 担 が 大 き い	わ ど ん な 活 動 を し て い る か	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
12歳(有効回収数=26)	46.2	61.5	15.4	19.2	34.6	3.8	0.0
13歳(有効回収数=187)	54.0	55.6	22.5	19.8	43.9	2.7	0.0
14歳(有効回収数=152)	53.9	48.7	17.8	19.7	48.7	2.0	2.6
15歳(有効回収数=176)	60.8	49.4	22.2	16.5	44.9	4.0	0.6
16歳(有効回収数=76)	64.5	59.2	21.1	26.3	32.9	2.6	0.0
17歳(有効回収数=111)	65.8	52.3	18.9	21.6	29.7	3.6	1.8
18歳以上(有効回収数=72)	65.3	47.2	12.5	8.3	26.4	2.8	0.0

■ 在住地別クロス

単位：%	関心がない	時間がない	人間関係がわずらわしい	参加による負担が大きい	わからない活動をしているか	その他	不明・無回答
あま市内に住んでいる (有効回収数=611)	57.0	51.9	20.3	17.3	41.6	2.5	0.8
あま市外に住んでいる (有効回収数=205)	64.9	53.2	16.6	22.4	31.7	4.4	1.0

■ 地区別クロス

単位：%	関心がない	時間がない	人間関係がわずらわしい	参加による負担が大きい	わからない活動をしているか	その他	不明・無回答
七宝地区(有効回収数=190)	55.8	54.2	20.5	18.9	41.6	2.6	0.5
美和地区(有効回収数=22)	59.1	45.5	22.7	9.1	31.8	0.0	0.0
甚目寺地区(有効回収数=395)	57.7	51.1	20.0	17.0	42.3	2.3	1.0

6 自由意見

問 12 今後のあま市がもっと良いまちになるためのアイデアや意見をお書きください。

1)安全・安心に関することについて

防災対策について
防災対策をしてほしい。
地域ぐるみの防災訓練を増やしてほしい。
ペットも一緒に避難できる避難所を設置してほしい。
防犯対策について
夜の街が暗いので、街灯を増やしてほしい。
深夜のバイクの音や暴走行為がうるさいので、注意や取締りをしてほしい。
未成年の飲酒・喫煙や不審者への対策を強化してほしい。
交通安全について
道が狭く、特に七宝駅周辺は車と歩行者の距離が近くて危ない。
歩道や自転車道、ガードレールを整備して、通学路を安全にしてほしい。
信号やカーブミラーを増やし、事故の起きやすい場所を改善してほしい。

2)都市基盤に関すること

道路・歩道の整備について
道が細く、田んぼに落ちそうになったことがあるので、道路を広くしてほしい。
歩道が狭かったり凹凸していたりするので、通りやすくしてほしい。
七宝駅周辺や木田駅・甚目寺駅に向かう道を安全で使いやすくしてほしい。
公共交通機関について
駅が少ない、駅が遠いので、駅や電車をもっと使いやすくしてほしい。
コミュニティバスの本数や運行日を増やしてほしい。
七宝駅の駐輪場を屋根付きにするなど、駅まわりを整備してほしい。
生活環境について
自然をもっと増やしてほしい。
川や道路、歩道のごみを減らして、きれいなまちにほしい。
田んぼの緑を守り、あま市らしい景観を残してほしい。
公園・遊び場について
もっと広い公園や、遊具のある公園がほしい。
ボール遊びができる公園や、バスケットゴールのある場所を増やしてほしい。

3)健康・福祉に関すること

医療費について
高校生まで医療費を無償化してほしい。
高校生まで医療費の負担を市が支えてくれているのはうれしい。
福祉全般について
どの年齢層の人も住みやすい町にほしい。

4)子育て・教育に関すること

子育てについて
将来もあま市に住み続けたいので、子育て支援をもっと充実してほしい。
児童館や子どもの居場所になる施設に、もう少しお金をかけてほしい。
教育環境について
学校の体育館にエアコンやカーテンをつけてほしい。
学校をきれいにし、安心して過ごせる環境にしてほしい。
大きな図書館や本屋、勉強できる場所をつくってほしい。
無料で使える自習室や、友達と勉強できる場所がほしい。
高等学校や専門学校をもっとほしい。
いじめがあったときに、学校がしっかり対応してほしい。
スポーツ環境について
バスケやサッカーなどの球技ができる施設を増やしてほしい。
テニスコートやサッカー場など、運動できる場所がほしい。

5)産業に関すること

商業施設・飲食店について
ショッピングモールやイオンのような大きな商業施設がほしい。
スタバやマック、サイゼなど、若者が行きやすい飲食店を増やしてほしい。
映画館、ゲームセンター、カラオケ、アニメイトなどの娯楽施設がほしい。
駅周辺の賑わいについて
甚目寺駅周辺や七宝駅周辺を、もっとにぎやかにしてほしい。
美和・七宝にも、気軽に遊べる場所や店がほしい。
観光振興について
甚目寺観音をもっと発信してほしい。
七宝焼をもっと大々的に宣伝して、若い人にも伝わる見せ方をしてほしい。
あま市が誇れるものや、外に出していける魅力をもっと増やしてほしい。
企業誘致について
企業誘致を進めて、若い世代が働ける場所や財源を増やしてほしい。

6)協働に関すること(まちづくりへの市民参画、交流など)

交流の場・イベントについて
若者が好きそうなイベントを増やしてほしい。
高齢者から幼児まで、だれでも参加できるイベントがあるとよい。
人とコミュニケーションをとれる場や、交流できる場所がほしい。
地域での助け合い・美化活動について
地域の人でゴミ拾いをして、きれいなまちにしていきたい。
学校と地域が協力して、防災や環境の活動ができるとよい。

7) 上記以外でまちづくりに関すること

あま市の魅力発信について
ホームページやパンフレットで、あま市の魅力や現状をもっと発信してほしい。
あま市の名前や知名度の出し方も含めて、まちの売り方を考えてほしい。
行財政運営について
利用者の少ない無料バスなどは見直して、税金の使い方を考えてほしい。
無駄な公共事業を減らし、本当に必要なところにお金を使ってほしい。
高校生まで医療費負担を支えてくれている点はうれしい。
若者にとって暮らしやすいまちづくりにについて
若者が集まれる場所や、気軽に過ごせる場所がほしい。
名古屋まで行かなくても、あま市内で楽しめるようにしてほしい。
住み続けたいと思えるような、誇れるまちになってほしい。
市民や若者の意見が、もっと通りやすいようにしてほしい。
今のあま市でも十分住みやすいと思う。
今のままでいいと思うが、もう少し建物や施設が増えとうれしい。
交通が便利で、名古屋が近く、飲食店も多いところは良いと思う。
誰にとっても住みたくなるまち、誇れるまちになってほしい。

第2次あま市総合計画
後期基本計画策定等に関する
アンケート調査
結果報告書

発行：あま市

発行年月：令和8年3月